



ES400

ユーザーガイド



ES400
ユーザーガイド

72E-136310-01JA

改訂版 A

2010 年 9 月

© 2010 by Motorola, Inc. All rights reserved.

Motorola の書面による許可なしに、本書の内容をいかなる形式でも、または電気的あるいは機械的な手段により、複製または使用することを禁じます。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的な手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。本契約 (ライセンス プログラム) に基づいて提供される各ソフトウェアまたはファームウェアに対して、ユーザーに移譲不可で非排他的なライセンスを付与します。下記の場合を除き、事前に書面による Motorola の同意がなければ、ユーザーがライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲することはできません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの一部または全体をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Motorola の書面による許可なしにネットワークで使用するのを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Motorola の著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Motorola は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えることができるものとします。

Motorola は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言、または Motorola, Inc. の知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Motorola 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

MOTOROLA、Stylized M ロゴ、Symbol、Symbol ロゴは、米国特許商標局に登録されています。Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。Microsoft、Windows、および ActiveSync は、Microsoft Corporation の登録商標または商標です。その他すべての製品名とサービス名は、該当する各所有者が権利を有しています。

Motorola, Inc.
One Motorola Plaza
Holtsville, New York 11742-1300
<http://www.motorola.com/enterprisemobility>

改訂版履歴

元のマニュアルに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2010 年 08 月	初期リリース

目次

このガイドについて

はじめに.....	xv
マニュアル セット	xv
構成.....	xv
ソフトウェア バージョン	xvi
章の説明.....	xvi
表記規則.....	xvii
関連文書.....	xviii
サービスに関する情報.....	xviii

第 1 章: ご使用前に

パッケージを開く	1-1
ES400 をセットアップする	1-2
バッテリー カバーの取り外し	1-2
microSD カードの取り付け	1-2
SIM カードの取り付け (GSM の場合のみ)	1-4
バッテリーの取り付け	1-5
ES400 の初回起動	1-6
ネットワーク アクティベーション	1-7
電源オフ	1-8
サスペンド	1-8
microSD カードを取り外す	1-9
SIM カードを取り外す	1-9
ストラップを取り付ける	1-10

第 2 章: ES400 の使用方法

はじめに	2-1
特徴	2-1
キーパッド	2-2
特殊文字	2-2
キーパッドのリマップ	2-2
データの入力	2-2
スクリーン上の移動	2-3
指のスクロール	2-4

Motorola ホーム画面	2-5
ステータス バー	2-5
カード	2-7
Simple Home カード	2-7
Full Home カード	2-8
Weather カード	2-9
Time Tracker カード	2-9
プログラムのショートカット	2-9
[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウ	2-10
タイトルバー	2-10
デバイス管理	2-13
Programs (プログラム)	2-14
Memory Manager (メモリ マネージャ)	2-14
Sound Profiles (サウンド プロファイル)	2-15
Power & Radio (電源/無線)	2-16
Alarms (アラーム)	2-17
Fusion	2-17
Status (ステータス)	2-18
Settings (設定)	2-18
音量を調節する	2-19
ES400 を充電する	2-19
充電温度	2-20
バッテリー ステータス表示	2-20
印刷する	2-20
ES400 をリセットする	2-21
ES400 をロックする	2-21
パスワード ロックの解除	2-21
指のスイープによるロックの解除	2-22
ES400 のロック時の通知	2-23

第 3 章: 電話をかける

はじめに	3-1
電話をかける	3-1
電話キーパッドの使用	3-1
スマート ダイヤル	3-2
連絡先の使用	3-3
コール ログの使用	3-4
電話に応答する	3-4
着信機能	3-4
不在着信通知	3-4
緊急通話	3-5
音声モード	3-5
Bluetooth ヘッドセットの使用	3-5
音量の調節	3-5
通話をミュートする	3-5
コール ログを使用する	3-6
コール ログの管理	3-6
[Call Log] (コール ログ) メニューの使用	3-6
Conference Calling (会議通話)	3-7

3 者通話を行う	3-10
ボイス コマンダー	3-10
Call (通話)	3-11
Find (検索)	3-11
Redial (再ダイヤル)	3-12
Callback (コールバック)	3-12
Start (スタート)	3-12
Appointments (予定)	3-13
Read (読み取り)	3-13
What time is it? (今何時ですか?)	3-13
Call History (通話履歴)	3-13
Play Music (音楽の再生)	3-13
What can I say (ヘルプを表示する)	3-14
Goodbye (さようなら)	3-14

第 4 章: Phone Network Setup (電話ネットワークのセットアップ)

はじめに	4-1
ネットワークの自動セットアップ	4-1
ネットワークの手動セットアップ	4-1
CDMA ネットワークのセットアップ	4-1
GSM ネットワークのセットアップ	4-2
デュアル ネットワークの使用	4-3
海外での使用	4-4
GSM データ接続を設定する	4-4
電話の設定	4-5
サウンド	4-5
セキュリティ	4-6
PIN の有効化	4-6
PIN の変更	4-6
PIN の無効化	4-6
GSM サービス	4-6
[Call Barring] (発着信制限) ([Call Blocking] (発着信制限))	4-7
Caller ID (発信者番号通知)	4-7
Call Forwarding (自動転送)	4-7
Call Waiting (割込通話)	4-7
ボイス メールとテキスト メッセージ	4-7
Fixed Dialing (発信先固定)	4-7
インターネット	4-8
ブロードキャスト チャネル	4-8
TTY	4-8
HAC	4-8

第 5 章: WLAN の使用

はじめに	5-1
Fusion の概要	5-1
Wireless Zero Config の概要	5-2
Fusion と WZC を切り替える	5-2
サポートしているアプリケーション	5-2

Fusion のセットアップ	5-3
Wireless Zero Config のセットアップ	5-6
WZC の詳細情報	5-8
第 6 章: Messaging (メッセージ)	
はじめに	6-1
電子メール	6-1
電子メール メッセージの作成	6-1
電子メール メッセージの表示	6-1
メッセージの返信または転送	6-2
SMS メッセージング	6-2
テキスト メッセージの送信	6-2
テキスト メッセージの表示	6-2
SMS メッセージへの返信	6-3
MMS メッセージング	6-4
MMS メッセージの作成と送信	6-4
MMS メッセージの表示	6-5
MMS メッセージへの返信	6-5
MMS メッセージ着信のブロック	6-5
第 7 章: データ収集	
はじめに	7-1
デジタル カメラによるスキャン	7-1
DataWedge	7-2
第 8 章: カメラの使用	
はじめに	8-1
写真を撮る	8-1
カメラの設定	8-3
[Camera] (カメラ) メニューのオプション	8-3
Size/Quality (サイズ/品質) 設定	8-3
Panorama (パノラマ)	8-4
Timer (タイマ)	8-4
Advanced (詳細)	8-4
バージョン情報	8-5
ビデオの録画	8-5
ビデオの設定	8-5
[Video] (ビデオ) メニューのオプション	8-6
Quality (品質)	8-6
Format (形式)	8-6
Time/Date stamp (時刻/日付スタンプ)	8-6
Storage (ストレージ)	8-6
バージョン情報	8-6
画像とビデオを表示する	8-7
Albums (アルバム)	8-7
モードの選択	8-8
[Thumbnail] (サムネイル) メニュー	8-8
[Gallery] (ギャラリー) メニュー	8-8

Image Viewer (画像ビューアー)	8-8
画像への注釈の追加	8-9
オーディオ コメント	8-10
画像情報の表示または編集	8-10
[Image] (画像) メニュー	8-10
Video Viewer (ビデオ ビューアー)	8-11
ビデオ情報の表示または編集	8-11
[Video] (ビデオ) メニュー	8-11

第 9 章: Bluetooth

はじめに	9-1
適応型周波数ホッピング	9-1
セキュリティ	9-2
Bluetooth の設定	9-2
Bluetooth の電源の状態	9-3
サスペンド	9-3
再開	9-3
Bluetooth オン/オフの切り替え	9-3
Bluetooth の有効化	9-3
Bluetooth の無効化	9-4
Bluetooth デバイスの検出	9-4
使用可能なサービス	9-5
Object Push Services via Beam (ビームによるオブジェクト プッシュ) サービス	9-5
Internet Sharing (インターネット共有)	9-6
Hands-free (ハンズフリー) サービス	9-7
Serial Port (シリアル ポート) サービス	9-8
Bluetooth を使用した ActiveSync	9-8
Phone Book Access Profile サービス	9-10
Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク) サービス	9-11
HID デバイスの接続	9-11
A2DP/AVRCP サービス	9-11

第 10 章: GPS ナビゲーションの使用

はじめに	10-1
ソフトウェアのインストール	10-1
ES400 GPS のセットアップ	10-1
操作	10-2
microSD カード上の GPS マップ	10-2
GPS 使用中の電話への応答	10-2
車両に乗っているときに GPS 信号が失われた場合	10-2
アシスト GPS	10-2

第 11 章: Settings (設定)

はじめに	11-1
Settings (設定) フォルダ	11-1
ES400 をロックする	11-3
Microsoft Lock と Lock Plus の切り替え	11-4

Lock Plus のセットアップ	11-4
パスワード ロック	11-4
指のスワイプ ロック	11-5
指紋スワイプの編集	11-5
ロック画面ディスプレイの編集	11-6
オーディオ フィードバック	11-6
Microsoft Lock	11-6
パスワード ロックのセットアップ	11-7
ダイヤラを切り替える	11-8
デバイス管理ウィンドウ	11-8
サウンド プロファイル	11-8
電源プロファイル	11-9
アラーム	11-10
バックライトとキーライトの設定	11-10
加速度計	11-11
[Display] (ディスプレイ) タブ	11-11
[About] (バージョン情報) タブ	11-11
光学ナビゲーション パッド	11-11
キーのリマップ	11-12
プログラムへのキーのリマップ	11-12
文字へのキーのリマップ	11-13
機能へのキーのリマップ	11-13
ソフト キーパッドを使用する文字へのキーのリマップ	11-13
同時キーのリマップ	11-14
リマップ キーの編集	11-14
マスタのリセット	11-15
プログラムのショートカットのセットアップ	11-16
[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウのセットアップ	11-17
カードのセットアップ	11-18
カードの並べ替え	11-18
カードの設定	11-18
Weather カードのセットアップ	11-19
新しい場所の追加	11-19
場所の変更	11-19
場所の削除	11-19
Time Tracker のセットアップ	11-20
電子メールのセットアップ	11-21
IMAP または POP アカウントのセットアップ	11-21
自動の電子メール セットアップ	11-21
手動の電子メール セットアップ	11-22
電子メール設定の手動入力	11-23
電子メール アカウントの編集	11-24
電子メール署名の設定	11-25
企業 Outlook アカウントでの Microsoft ActiveSync の使用	11-26
MMS メッセージング	11-27
ボイス コマンダー	11-28
連絡先の設定	11-28
再生	11-28
音声タグ	11-28

アプリケーションの設定	11-29
再生	11-29
音声タグ	11-29
音楽の設定	11-29
再生	11-29
音声タグ	11-29
ディジット トレーナーの設定	11-30
ディジットの設定	11-30
詳細設定	11-30

第 12 章: アクセサリ

はじめに	12-1
USB 急速充電ケーブル	12-2
シングル スロット USB クレードル	12-3
ES400 バッテリーの充電	12-3
ホスト コンピュータとの通信	12-3
車載用ホルダー	12-5
フロントガラスへの取り付け	12-5
ES400 の取り付け	12-6
電源への接続	12-7
ES400 の取り外し	12-8
ホスト アダプタ	12-9
ホルスタ	12-10
ActiveSync	12-11
ActiveSync のインストール	12-11
ES400 の設定	12-11
ホスト コンピュータでの ActiveSync 接続のセットアップ	12-12
ES400 との同期	12-12

第 13 章: メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに	13-1
ES400 のメンテナンス	13-1
バッテリーの安全に関するガイドライン	13-1
クリーニング	13-2
必要な材料	13-2
ES400 のクリーニング	13-3
筐体	13-3
ディスプレイ	13-3
カメラ ウィンドウ	13-3
インタフェース コネクタ	13-3
バッテリー端子	13-3
クレードルのコネクタのクリーニング	13-4
クリーニングの頻度	13-4
トラブルシューティング	13-5
ES400	13-5
Bluetooth の接続	13-7
シングル スロット USB クレードル	13-7
車載用ホルダー	13-8

付録 A: 技術仕様

ES400 の技術仕様	A-1
ES400	A-1
ヘッドセット	A-5
ES400 アクセサリの仕様	A-6
シングル スロット USB クレードル	A-6

付録 B: キーパッド

はじめに	B-1
特殊文字キー	B-4

付録 C: Windows Mobile のホーム画面と Dialer

はじめに	C-1
Windows Mobile のホーム画面	C-1
クラシック [Today] (今日) 画面	C-3
[Start] (スタート) 画面	C-4
Windows Mobile Dialer	C-5
電話をかける	C-5
電話キーパッドの使用	C-5
スマート ダイヤル	C-5
連絡先の使用	C-6
通話履歴の使用	C-7
短縮ダイヤルの使用	C-8
電話に応答する	C-8
着信機能	C-9
不在着信通知	C-9
緊急通話	C-9
通話をミュートする	C-9
短縮ダイヤルを使用する	C-10
短縮ダイヤル エントリの追加	C-10
短縮ダイヤル エントリの編集	C-11
短縮ダイヤル エントリの削除	C-11
通話履歴を使用する	C-11
通話履歴の管理	C-12
[Call History] (通話履歴) の表示の変更	C-12
通話カウンタのリセット	C-12
すべての通話履歴項目の削除	C-13
通話ステータスの表示	C-13
[Call History] (通話履歴) メニューの使用	C-13
通話を切り替える (GSM)	C-14
通話を切り替える (CDMA)	C-15
会議通話 (GSM)	C-16
3 者通話 (CDMA)	C-16

付録 D: ソフトウェアのインストール

ActiveSync を使用したインストール	D-1
ストレージ カードを使用したインストール	D-1
AirBEAM を使用したインストール	D-2
MSP	D-2
更新ローダー イメージ	D-2
更新ローダー パッケージのダウンロード	D-2
ActiveSync	D-2
microSD カード	D-3

用語集**索引**

このガイドについて

はじめに

このガイドでは、ES400 エンタープライズ PDA (EDA) とアクセサリの使用方法について説明します。

- ✓ **注** このガイドで示しているスクリーンとウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際のスクリーンと異なることがあります。

マニュアルセット

ES400 のマニュアル セットは、ユーザーの個々のニーズに応じた情報を提供していて、次のマニュアルで構成されています。

- **ES400 クイック スタート ガイド** - ES400 の主な機能の使用方法について説明しています。
- **ES400 ユーザー ガイド** - ES400 の使用方法について説明しています。
- **Enterprise Mobility Developer Kit (EMDK) Help File** - アプリケーション開発用の API 情報について説明しています。

構成

このガイドは、以下のモデルを対象としています。

構成	無線通信	ディスプレイ	メモリ	データ収集オプション	オペレーティングシステム	キーパッド
ES400	WLAN: 802.11a/b/g WPAN: Bluetooth v2.0 WWAN: CDMA または GSM/UMTS GPS: スタンドアロン GPS または A-GPS	3.0 インチ VGA カ ラー	256MB RAM/1GB フラッシュ	320 万画素カ ラー カメラ	Windows Mobile® 6.5 Professional	英数字キー パッド

ソフトウェアバージョン

このガイドでは、さまざまなソフトウェア構成について取り上げ、次のオペレーティング システムまたはソフトウェアのバージョンについて言及しています。

- Adaptation Kit Update (AKU) バージョン
- OEM バージョン
- Fusion ソフトウェア
- Phone ソフトウェア

AKU バージョン

Adaptation Kit Update (AKU) のバージョンを確認するには、[Start](スタート) > [Settings](設定) > [System](システム) > [About](バージョン情報) > [Version](バージョン) をタップします。

2 行目に、オペレーティング システムのバージョン番号とビルド番号が表示されます。ビルド番号の最後の部分が AKU 番号を表しています。たとえば、「Build 23103.5.3.6」は、デバイスで AKU バージョン 5.3.6 が実行されていることを示しています。

OEM バージョン

OEM ソフトウェアのバージョンを確認するには、[Start](スタート) > [Settings](設定) > [System](システム) > [System Info](システム情報) > [System](システム) をタップします。

プラットフォームバージョン

仮想プラットフォームのバージョンを確認するには、[Start](スタート) > [Settings](設定) > [System](システム) > [System Info](システム情報) > [Package](パッケージ) をタップします。

Fusion ソフトウェア

Fusion ソフトウェアのバージョンを確認するには、[Start](スタート) > [Wireless Companion] > [Wireless Status](無線ステータス) > [Versions](バージョン) をタップします。

Phone ソフトウェア

Phone ソフトウェアのバージョンについて確認するには、 >  > [Phone information](電話情報) を押します。

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- **第 1 章の「ご使用前に」** ES400 を初めて使用する際の手順について説明します。
- **第 2 章の「ES400 の使用方法」** ES400 の使用方法について説明します。
- **第 3 章の「電話をかける」** ES400 の電話機能の基本的な使用方法について説明します。
- **第 4 章の「Phone Network Setup (電話ネットワークのセットアップ)」** ES400 をネットワーク上に設定する方法について説明します。
- **第 5 章の「WLAN の使用」** ES400 を無線ネットワーク上に設定する方法について説明します。

- **第 6 章の「Messaging (メッセージ)」** テキストおよび MMS メッセージを送信する方法について説明します。
- **第 7 章の「データ収集」** ES400 でレーザ スキャナ、イメージャーおよびカメラを使用してデータを収集する手順について説明します。
- **第 8 章の「カメラの使用」** 写真およびビデオを撮影する方法について説明します。
- **第 9 章の「Bluetooth」** ES400 の Bluetooth 機能について説明します。
- **第 10 章の「GPS ナビゲーションの使用」** ES400 の GPS ナビゲーション機能について説明します。
- **第 11 章の「Settings (設定)」** ES400 の設定方法について説明します。
- **第 12 章の「アクセサリ」** 取り付け可能なアクセサリと、アクセサリを ES400 で使用する方法について説明します。
- **第 13 章の「メンテナンスとトラブルシューティング」** ES400 のクリーニングと保管方法、および ES400 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。
- **付録 A 「技術仕様」** ES400 の技術仕様について説明します。
- **付録 B 「キーパッド」** キーパッドのレイアウトと操作について説明します。
- **付録 C 「Windows Mobile のホーム画面と Dialer」** Windows Mobile のホーム画面とダイヤラの使用方法について説明します。
- **付録 D 「ソフトウェアのインストール」** アプリケーションやオペレーティング システムの更新をインストールする方法について説明します。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- "エンタープライズ デジタル アシスタント" とは、Motorola ES400 を指します。
- 太字は、次の項目の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
 - スクリーン上のアイコン
 - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - キーパッド上のキー名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (・) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要はあるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要のある手順 (順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

関連文書

- ES400 クイック スタート ガイド (p/n 72-134310-xx)
- ES400 Regulatory Guide (p/n 72-134312-xx)
- Mobility Services Platform User Guide (p/n 72E-100158-xx)
- Wireless Fusion Enterprise Mobility Suite User Guide for Version 3.20 (p/n 72E-135868-xx)
- AirBEAMSmart Windows CE Client Product Reference Guide (p/n 72-63060-xx)
- MSP Software User Guide (p/n 72E-100158-xx)
- Enterprise Mobility Developer Kits (EMDKs) <http://supportcentral.motorola.com> から入手可能。
- 最新の ActiveSync ソフトウェアは、<http://www.microsoft.com> から入手可能です。

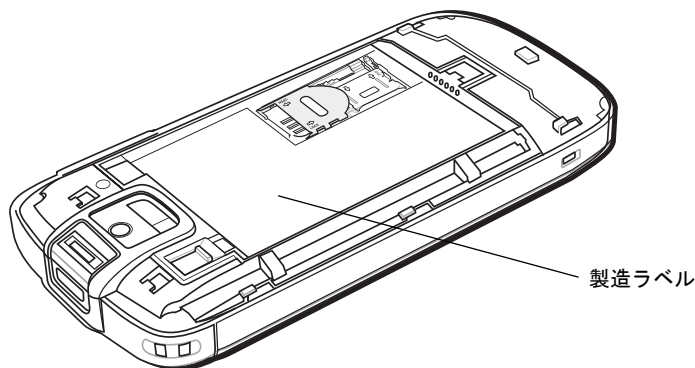
本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、<http://supportcentral.motorola.com> から入手可能です。

サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、地域担当の Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) にお問い合わせください。お問い合わせ先は、<http://www.motorola.com/enterprisemobility/contactsupport> に記載されています。

Enterprise Mobility Support (エンタープライズ モビリティ サポート) へのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号 (製造ラベルに記載)
- モデル番号または製品名 (製造ラベルに記載)
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号



Motorola では、サポート契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) が問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。Motorola は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した輸送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切に輸送すると、保証が無効になる場合があります。輸送前に、microSD カードや SIM カードを取り外してください。

ご使用のエンタープライズ モビリティ ビジネス製品を Motorola ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

第1章 ご使用前に

パッケージを開く

ES400 を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。

次のものが含まれていることを確認します。

- ES400 Enterprise Digital Assistant (バッテリー カバーとスタイラス付属)
- リチウム イオン バッテリー (1540 mAh または 3080 mAh)
- USB 急速充電ケーブル
- 電源アダプタ
- 各国対応のプラグ
- ストラップ
- 規制ガイド
- クイック スタート ガイド

破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、直ちに Motorola Enterprise Mobility Support Center (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート センター) にお問い合わせください。連絡先については、[xviii ページ](#)を参照してください。

ES400 を初めて使用する前に、ディスプレイとカメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムをはがしてください。

ES400 をセットアップする

ES400 を初めて使用する際には、次のことを行います。

- バッテリー カバーの取り外し
- microSD カードの取り付け (オプション)
- SIM カードの取り付け (GSM の場合のみ)
- バッテリーの取り付け
- ES400 の初回起動
- ES400 の充電

バッテリー カバーの取り外し

バッテリー カバーを取り外すには、次の手順に従います。

1. ES400 を図のように両手でしっかりと持ちます。
2. 親指でバッテリー カバーを ES400 の底面に向かって押します。
3. バッテリー カバーを ES400 本体から持ち上げます。

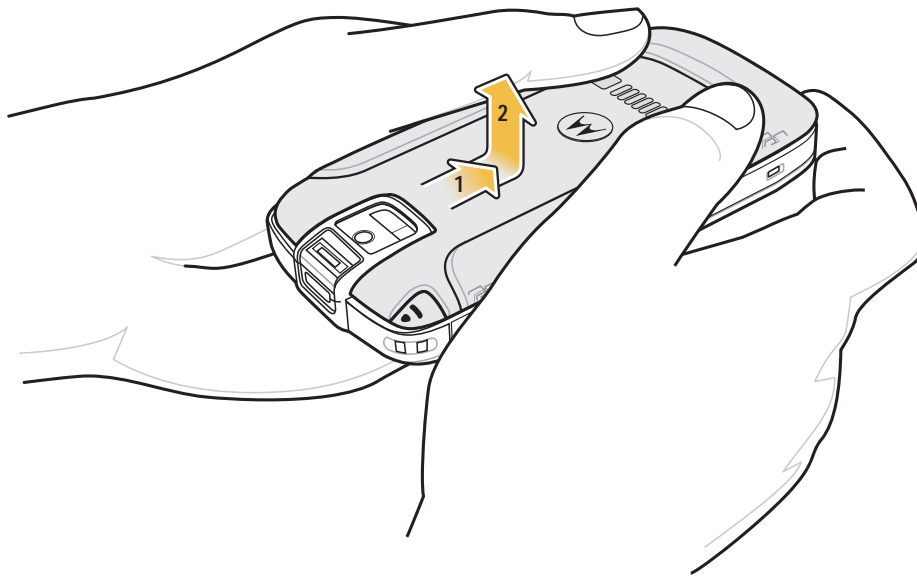


図 1-1 バッテリー カバーの取り外し

microSD カードの取り付け

microSD カード スロットは、バッテリーの下にあり、不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。詳細については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカーの推奨使用方法に従ってください。



注意 microSD カードを損傷しないように、ESD に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することや作業者を適切に接地することなどが含まれます。

microSD カードを取り付けるには、次の手順に従います。

1. SIM カードホルダーをスライドさせてロックを解除します。
2. SIM カードホルダーを持ち上げます。

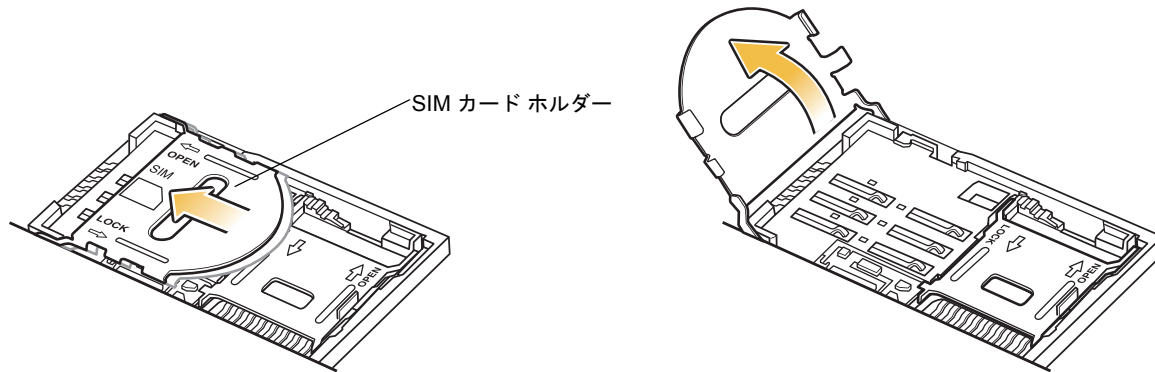


図 1-2 SIM ホルダーを開く

3. microSD カードホルダーを右にスライドさせてロックを解除します。
4. microSD カードホルダーを持ち上げます。

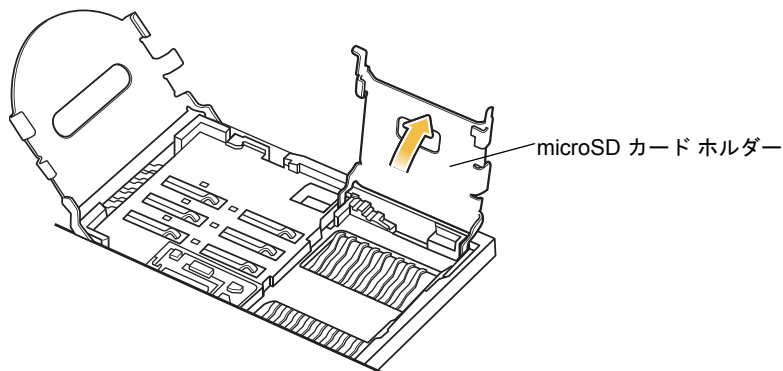


図 1-3 microSD カードホルダーを開く

5. microSD カードをホルダーに挿入します。

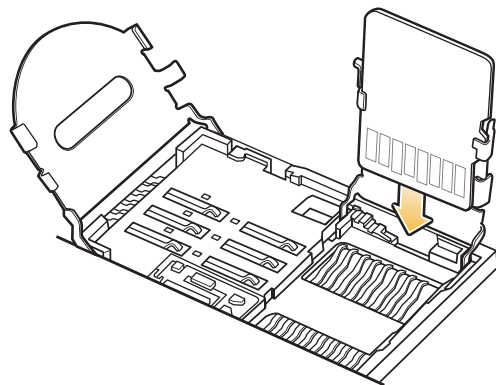


図 1-4 microSD カードの挿入

6. microSD カードホルダーを閉じます。

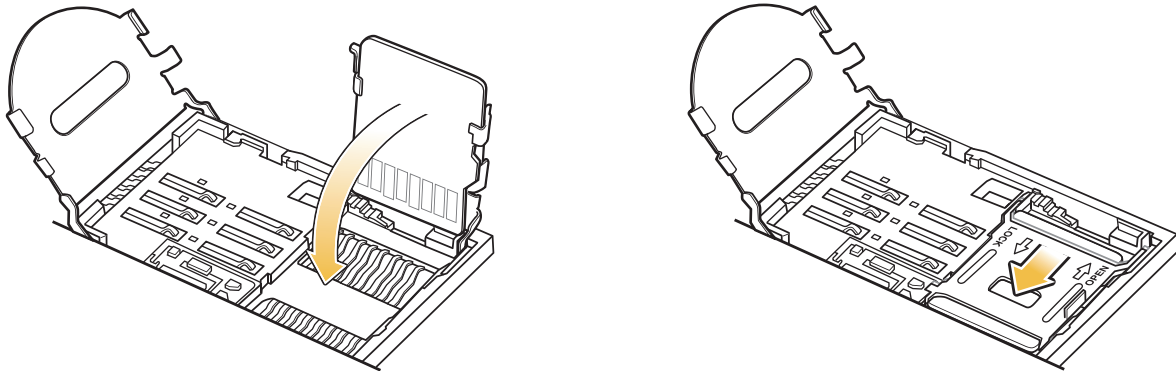


図 1-5 microSD カードホルダーを閉じてロックする

7. microSD カードホルダーを左にスライドさせてロックします。
8. SIM カードを取り付ける場合は、次の項に記載されている指示に従ってください。
9. SIM カードを取り付けない場合は、SIM ホルダーを閉じて所定の位置にロックされるまでスライドさせて押し込んだ後、バッテリーを取り付けます。

SIM カードの取り付け (GSM の場合のみ)

GSM 方式の回線を使用するには、SIM (Subscriber Identification Module: 加入者識別モジュール) カードを取り付ける必要があります。このカードはサービス プロバイダから入手します。カードには次の情報を保存できます。

- サービス プロバイダのアカウントの詳細
- サービスへのアクセス方法と設定に関する情報
- 連絡先の情報。この情報は ES400 の連絡先に移動させることができます。
- その他の契約済みのサービス

✓ **注** SIM カードの詳細については、サービス プロバイダのマニュアルを参照してください。

SIM カードを取り付けるには、次の手順に従います。

1. 端子を外側向き、カードの切れ込みを上向きにして、SIM カードを SIM カードホルダーに挿入します。

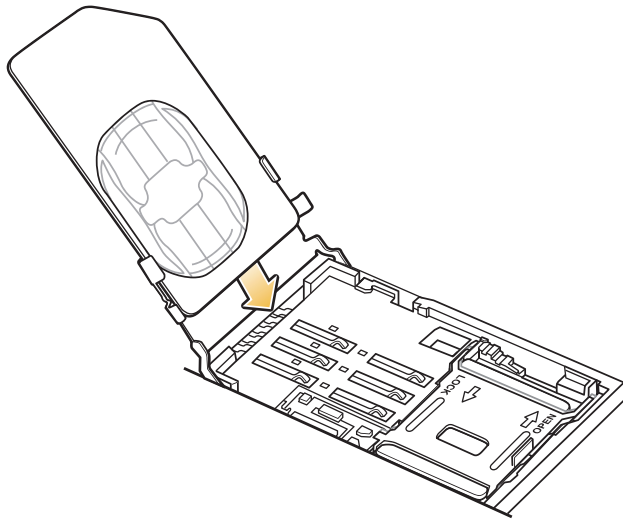


図 1-6 SIM カードの挿入

2. SIM カードホルダーを閉じて、所定の位置にロックされるまでスライドさせて押し込みます。SIM カードが正しく固定され平らに装着されていることを確認します。さらに、カードの終端が [SIM Card] (SIM カード) タブの上にあることを確認します。

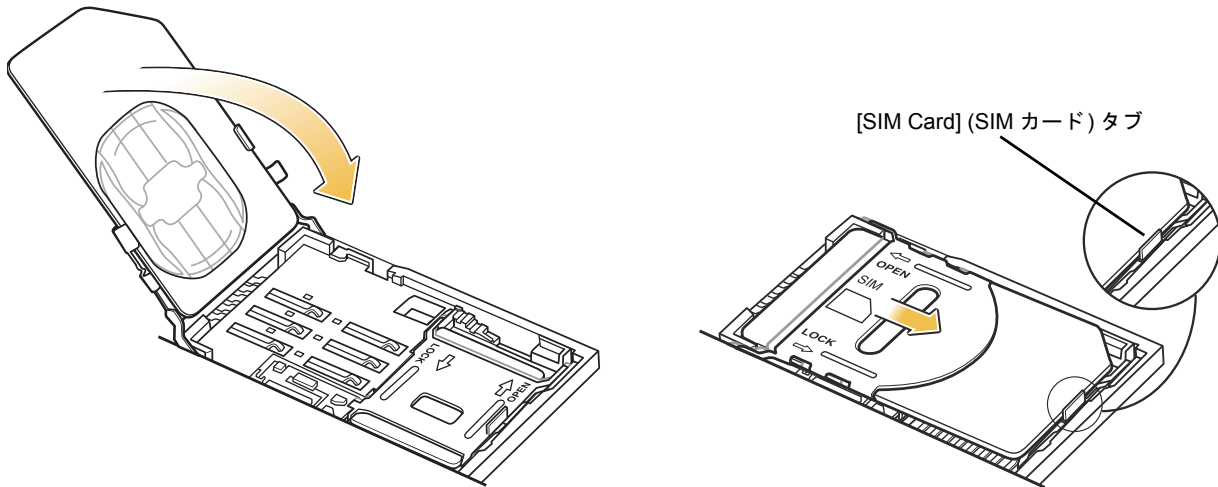


図 1-7 SIM カードホルダーを閉じてロックする

バッテリーの取り付け

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

1. バッテリーの端子の位置を確認します。
2. バッテリーを底面から先にバッテリーボックスに挿入します。
3. バッテリーをバッテリーボックスに押し込みます。
4. バッテリーのロック部のラッチを下の方にスライドさせ、バッテリーを固定します。

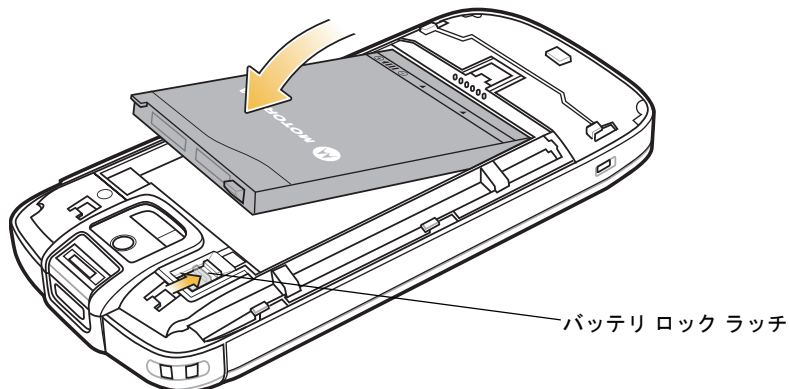


図 1-8 バッテリーの取り付け

5. バッテリー カバーとデバイスの位置を合わせます。

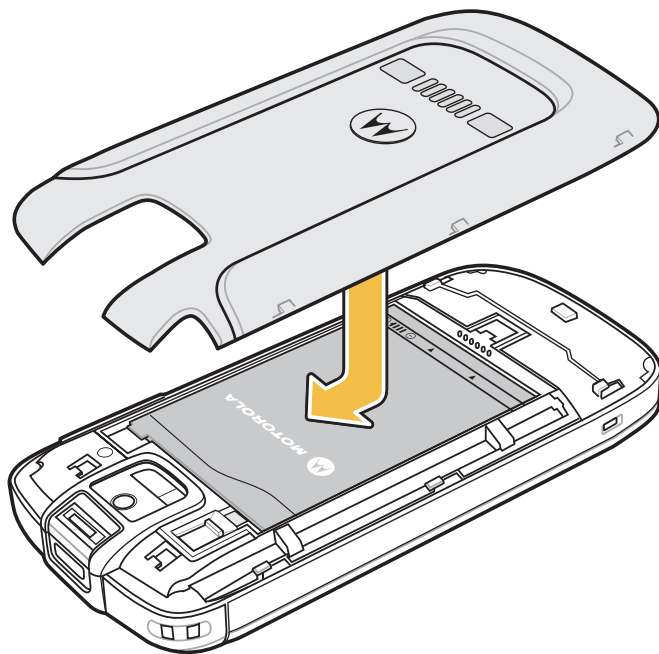


図 1-9 バッテリー カバーの交換

6. バッテリー カバーをスライドさせて所定の位置にロックします。

ES400 の初回起動

電源ボタンを押して、ES400 の電源をオンにします。ES400 を起動すると起動画面が表示され、その後調整ウィンドウが表示されます。

- ✓ 注 調整画面にアクセスするには、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[Screen]** (画面) > **[Align Screen]** (スクリーンの調整) ボタンをタップします。

1. ES400 の背面からスタイラスを外します。
2. 画面をタップすると調整が開始されます。
3. スタイラスの先端で、スクリーンに表示される各ターゲットの中央を短時間押し続けます。

4. ターゲットが移動したら、この動作を繰り返し行います。
5. 画面に表示される指示に従って、日付と時刻を設定した後、電子メールとパスワードを設定します。設定が完了すると、ES400 のホーム画面が表示されます。

ネットワーク アクティベーション

GSM/UMTS ネットワークでアクティベートするには、次の手順に従います。

1. アクティブな SIM カードが ES400 にインストールされている場合、ES400 はアクティベーション プロセスを実行します。
2. **[Phone Network - GSM/UMTS Setup]** (電話ネットワーク - GSM/UMTS セットアップ) ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **[Yes]** (はい)、**[OK]** の順にタップします。キャリアによっては、ES400 がリセットされます。
4. 起動中に、接続の設定のアップデートがないというメッセージが表示された場合は、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Connection]** (接続) > **[Phone Network Setup]** (電話ネットワークのセットアップ) の順にタップしてから、**[Update Connection Settings]** (接続の設定のアップデート) ボタンをタップします。
5. ネットワークがサポートされていない場合は、手動でデータ接続と MMS 接続を設定するためのリンクを含んだメッセージが表示されます。

CDMA ネットワークでアクティベートするには、次の手順に従います。

1. CDMA 方式のキャリアのアカウントを作成します。MEID 番号 (ES400 の背面か、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System Info]** (システム情報) で確認) をカスタマ サービス担当者にご連絡ください。
2. SIM カードが取り付けられていない場合、**[No SIM card found]** (SIM カードがありません) ダイアログ ボックスが表示されます。
3. **[OK]** をタップします。**[Phone Network - CDMA Activation]** (電話ネットワーク - CDMA アクティベーション) ダイアログ ボックスが表示されます。
4. **[はい]** をタップすると、CDMA ネットワークでアクティベートされます。
5. **[CDMA Setup]** (CDMA のセットアップ) タブの **[優先ネットワーク]** オプションをタップして、ネットワークを選択します。
6. **[Yes]** (はい) をタップします。
7. **[Start Activation]** (アクティベーションの開始) ボタンをタップします。
8. **[Yes]** (はい) をタップしてアクティベートします。
9. **[Activate Now]** (今すぐアクティベートする) ボタンを押します。

別のネットワークでの電話の設定とアクティベーションの詳細については、[第 4 章の「Phone Network Setup \(電話ネットワークのセットアップ\)」](#)を参照してください。

電源オフ

ES400 の電源をオフにするには、電源ボタンを 5 秒以上押し続けます。

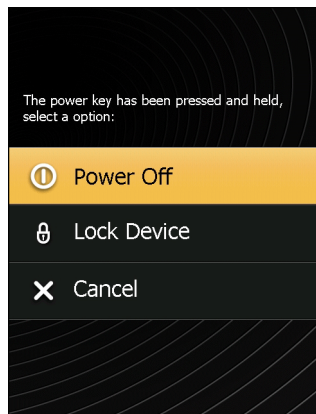


図 1-10 終了ウィンドウ

[Power Off] (電源オフ) を選択して、ES400 をシャットダウンします。

サスペンド

次のいずれかが発生した場合、ES400 はサスペンド モードになります。

- ユーザーが電源ボタンを押して放した
- ユーザーが ES400 をオプションのホルスタに設置した
- 電源がタイムアウトした
- バッテリーの残量値が非常に少なくなった

次のいずれかが発生した場合、ES400 はサスペンド モードから復帰します。

- ユーザーが電源ボタンを押した
- ES400 が着信またはデータを受信した
- Bluetooth イベントが発生した
- ユーザーが USB デバイスを microUSB ポートに差し込んだ
- ユーザーが ES400 をクレードルに設置した
- ユーザーがヘッドセットをオーディオ ポートに接続または取り外した
- ユーザーが ES400 をオプションのホルスタから取り外した

microSD カードを取り外す

microSD カードを取り外すには、次の手順に従います。



注意 バッテリーを取り外す前に、すべてのデータを保存します。この手順を正しく実行しないと、データが損失する恐れがあります。

1. **[Power] (電源)** ボタンを押して、ES400 をサスペンド状態にします。
2. バッテリー カバーをデバイスの底面に向かってスライドさせます。
3. バッテリー カバーを取り外します。
4. バッテリー ロック ラッチを上スライドさせます。
5. バッテリーを ES400 から取り出します。
6. SIM カードホルダーをスライドさせてロックを解除します。
7. SIM カードホルダーを持ち上げます。
8. microSD カードホルダーを右にスライドさせてロックを解除します。
9. microSD カードホルダーを持ち上げます。
10. microSD カードをホルダーから取り外します。
11. microSD カードホルダーを閉じます。
12. microSD カードホルダー ドアを左にスライドさせてロックします。
13. SIM カードホルダーを閉じます。
14. SIM カードホルダーを下方にスライドさせてロックします。
15. バッテリーを交換します。
16. バッテリー ロック ラッチを下方にスライドさせ、バッテリーを所定の位置に固定します。
17. バッテリー カバーを取り付けます。

SIM カードを取り外す

SIM カードを取り外すには、次の手順に従います。



注意 バッテリーを取り外す前に、すべてのデータを保存します。この手順を正しく実行しないと、データが損失する恐れがあります。

1. **[Power] (電源)** ボタンを押して、ES400 をサスペンド状態にします。
2. バッテリー カバーをデバイスの底面に向かってスライドさせます。
3. バッテリー カバーを取り外します。
4. バッテリー ロック ラッチを上スライドさせます。
5. バッテリーを ES400 から取り出します。

6. SIM カードホルダーをスライドさせてロックを解除します。
7. SIM カードホルダーを持ち上げます。
8. SIM カードをホルダーから取り外します。
9. SIM カードホルダーを閉じます。
10. SIM カードホルダーを下方にスライドさせて所定の位置にロックします。
11. バッテリーロックラッチを下方にスライドさせ、バッテリーを所定の位置に固定します。
12. バッテリーカバーを取り付けます。

ストラップを取り付ける

ES400 には、スタイラスを ES400 に固定するためのオプションのストラップが付属しています。

1. デバイスの背面からスタイラスを取り外します。
2. ストラップの片方のループをスタイラスに通して (1)、それをもう片方のループに通します (2)。
3. スタイラスがストラップに固定されたら、結ばれていない方のループをストラップアンカーに通して (3) 取り付けます。

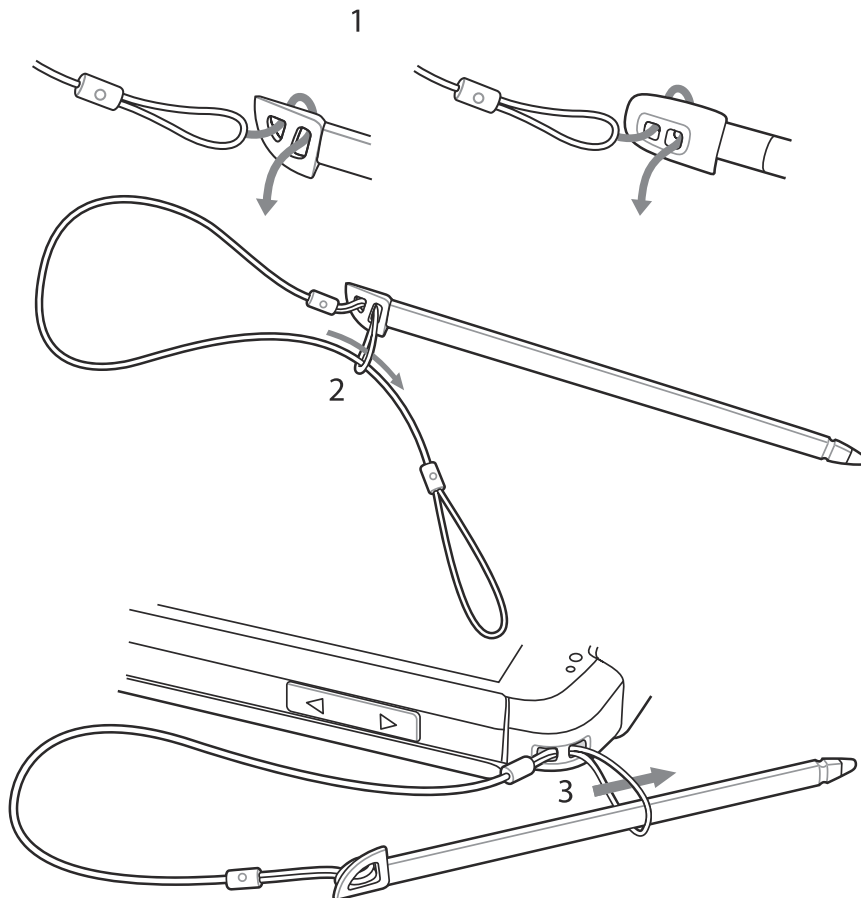


図 1-11 ストラップをスタイラスと ES400 に取り付ける

第2章 ES400 の使用方法

はじめに

ここでは、ES400 のインジケータ、ボタン、ステータス アイコン、コントロールについて紹介し、基本的な使用方法を説明します。

特徴

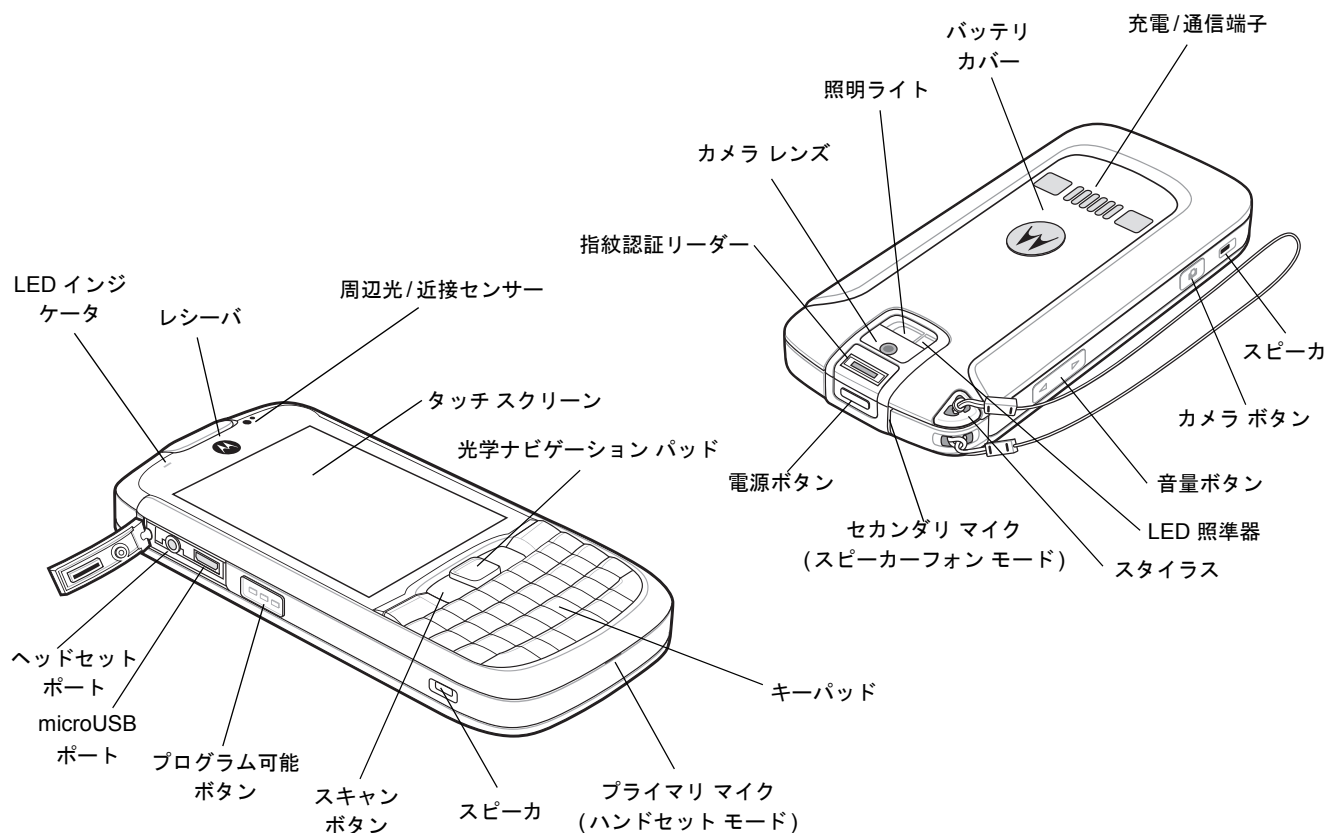


図 2-1 ES400 の機能

キーパッド

ES400 には、QWERTY、QWERTZ、AZERTY という 3 種類のキーパッド設定があります。キーパッドの設定方法については、[付録 B 「キーパッド」](#) を参照してください。



図 2-2 QWERTY キーパッド

特殊文字

特殊文字を追加するには、目的の文字がディスプレイに表示されるまで、キーを押し続け、特殊文字をタップします。[B-4 ページの表 B-2](#) は、使用可能な特殊文字の一覧です。

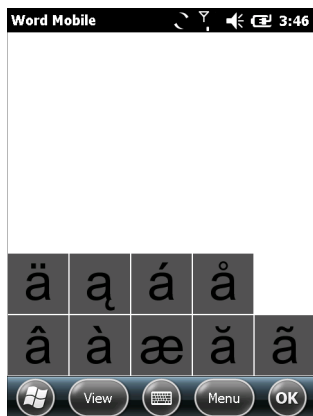




図 2-3 ディスプレイに表示された特殊文字

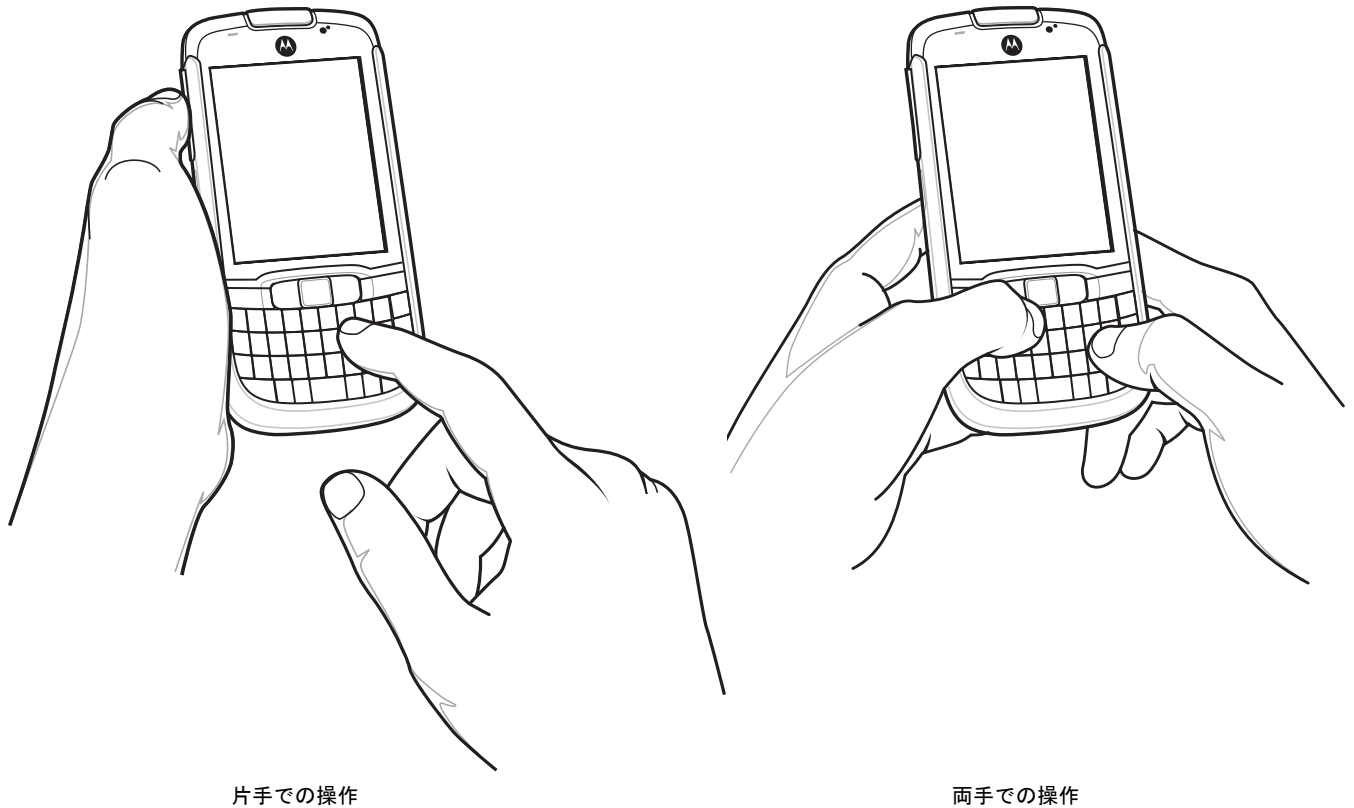
また、 +  を押すと、さらに文字が表示されます。特殊文字をタップして選択します。

キーパッドのリマップ

キーパッドのキーに文字またはアプリケーションを使用することができます。キーパッドのキーのリマップの詳細については、[第 11 章の「Settings \(設定\)」](#) を参照してください。

データの入力

キーパッドでデータを入力する際には、片手または両手で入力します ([図 2-4](#) を参照)。



片手での操作




両手での操作



図 2-4 キーボードでのデータの入力

スクリーン上の移動

- ✓ 注 デフォルトの光学ナビゲーションパッド設定と感度を変更するには、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Personal]** (パーソナル) > **[Nav pad]** (ナビゲーションパッド) をタップします。

キーボードの光学ナビゲーションパッドを使用すると、4方向ナビゲーションまたはマウスカーソルを使用してスクリーン上を移動できます。

4方向ナビゲーションとマウスカーソルを切り替えるには、 +  を押すか、 を3秒間押し続けます。

4方向ナビゲーションが有効になると、 が短時間表示されます。マウスカーソルが有効になると、 が短時間表示されます。

4方向ナビゲーションを使用すると、光学ナビゲーションパッド上で親指を動かして、スクリーン上の強調オブジェクトを移動させることができます。

マウスカーソルを使用すると、PCと同様にスクリーン上でカーソルを動かすことができます。

マウスクリックと同様に、光学ナビゲーションパッドを押してスクリーン上の項目を選択できます。



図 2-5 光学ナビゲーションパッドの使用方法

指のスクロール

指をスクロールさせると、Web ページ、ドキュメント、一覧（連絡先、ファイル、メッセージ、予定表など）を上下にスクロールさせることができます。

指でスクロールする場合は、スクリーンを指でスワイプするか、軽くはじきます。

下方方向にスクロールするには、指でスクリーンを上方向にスワイプします。上方方向にスクロールするには、指でスクリーンを下方方向にスワイプします。

Motorola ホーム画面

カスタマイズ可能な Motorola ホーム画面で、機能やアプリケーションに簡単かつすばやくアクセスできます。また、インタフェースを好みに合わせて変更し、自分用にワークフローを改善したり、現場での業務効率を最大限に向上させたりすることができます。

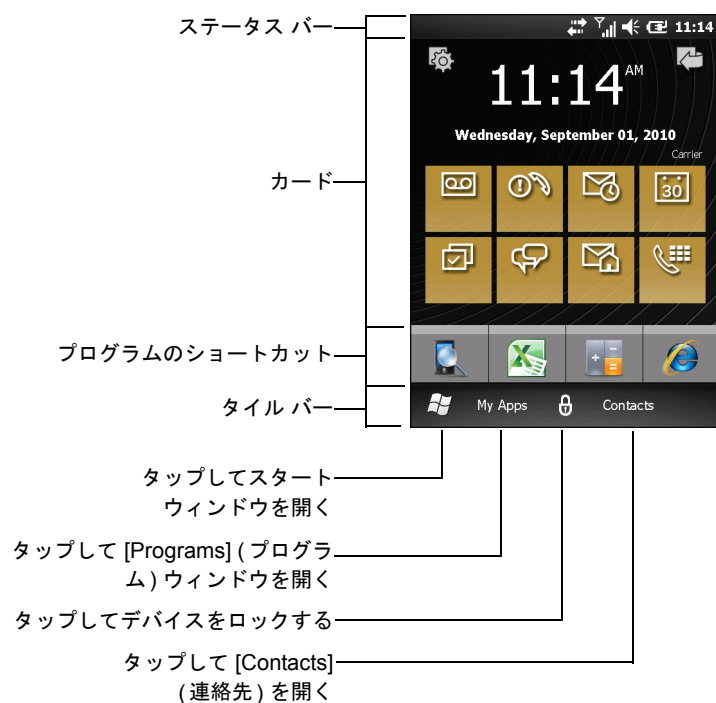


図 2-6 Motorola ホーム画面

ステータス バー

スクリーンの一番上にあるステータス バーには、表 2-1 に示されているステータス アイコンが表示されています。ステータス バーの任意の場所をタップすると、デバイス管理ウィンドウが開きます。詳細については、2-13 ページの「[デバイス管理](#)」を参照してください。

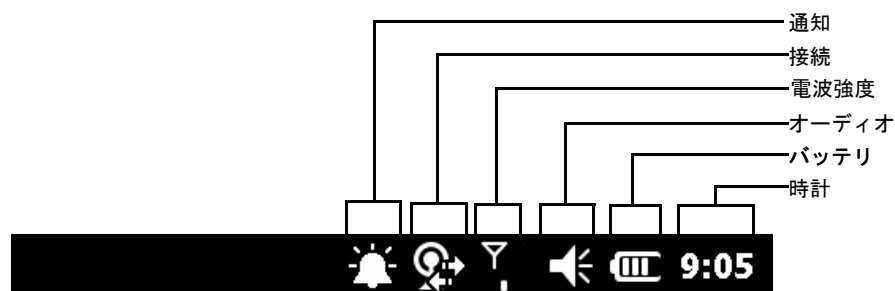


図 2-7 ステータス バーのアイコン


通知を表示するには、ステータス バーをタップし、 を選択します。詳細については、2-18 ページの「[Status \(ステータス\)](#)」を参照してください。

表 2-1 ステータス バーのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
通知			
	間近に迫ったカレンダーのイベントのリマインダです。		インスタントメッセージが届いています。
	テキストメッセージが届いています。		ボイスメッセージが届いています。
	表示しきれない通知アイコンがあります。		Bluetooth が有効になっています。
	電子メールメッセージが届いています。		MMS メッセージを受信しています。
	MMS メッセージを送信しています。		MMS メッセージは問題なく送信されました。
	MMS メッセージは問題なく受信されました。		TTY ヘッドセットが有効になっています。
	TTY HCO が有効になっています。		TTY VCO が有効になっています。
	Microsoft カスタマ フィードバック アラーです。		
接続			
	接続がアクティブです。		接続が非アクティブです。
	同期中です。		Wi-Fi を使用できます。
	Wi-Fi 使用中です。		HSDPA を使用できます (GSM のみ)。
	3G を使用できます (GSM のみ)。		GPRS を使用できます (GSM のみ)。
	EGPRS を使用できます (GSM のみ)。		1xRTT を使用できます (CDMA only)。
	EVDO Rev. 0 を使用できます (CDMA のみ)。		EVDO Rev. A を使用できます (CDMA のみ)。
	休止状態 - 1x または EVDO 接続中にデータ転送が行われていません (CDMA のみ)。		ローミング中です。
WAN			
	不在着信です。		SIM カードが装着されていない状態でダイヤルしました。
	音声通話中です。		通話を転送しました。
	通話保留中です。		スピーカがオンになっています。
	WAN がオンで、電波強度が良好です。		電話がオフになっています。
	WAN サービスがありません。		WAN サービスを検索しています
	HSDPA は使用中です (GSM のみ)。		HSDPA に接続中 (GSM のみ)。
	3G は使用中です (GSM のみ)。		3G に接続中 (GSM のみ)。

表 2-1 ステータス バーのアイコン (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	GPRS は使用中です (GSM のみ)。		GPRS に接続中 (GSM のみ)。
	EGPRS は使用中です (GSM のみ)。		EGPRS に接続中 (GSM のみ)。
	EVDO は使用中です (GSM のみ)。		EVDO に接続中 (GSM のみ)。
	SIM カードが装着されていません (GSM のみ)。		
オーディオ			
	すべてのサウンドがオンになっています。		すべてのサウンドがオフになっています。
	バイブがオンになっています。		
バッテリー			
	バッテリーが充電中です。		バッテリーがフル充電されています。
	バッテリーの充電残量は十分あります。		メインバッテリーの充電残量が中程度です。
	メインバッテリーの充電残量が少なくなっています。		メインバッテリーの充電残量が非常に少なくなっています。

カード

カードを使用すると、一般的なのタスクをすばやく完了することができます。1人のエンドユーザーが使用できるカードの数と種類は、システム管理者またはエンドユーザー自身が設定できます。デフォルト設定では、ES400には4枚のカードが付属しています。

スクリーンを指で右または左にスワイプすると、隣接するカードが表示されます。

カードは、ホーム画面で順番の変更、削除、追加ができます。詳細については、[第 11 章の「Settings \(設定\)」](#)を参照してください。

Simple Home カード

Simple Home カードには、現在の現在の日付と時間、通知が表示されます。

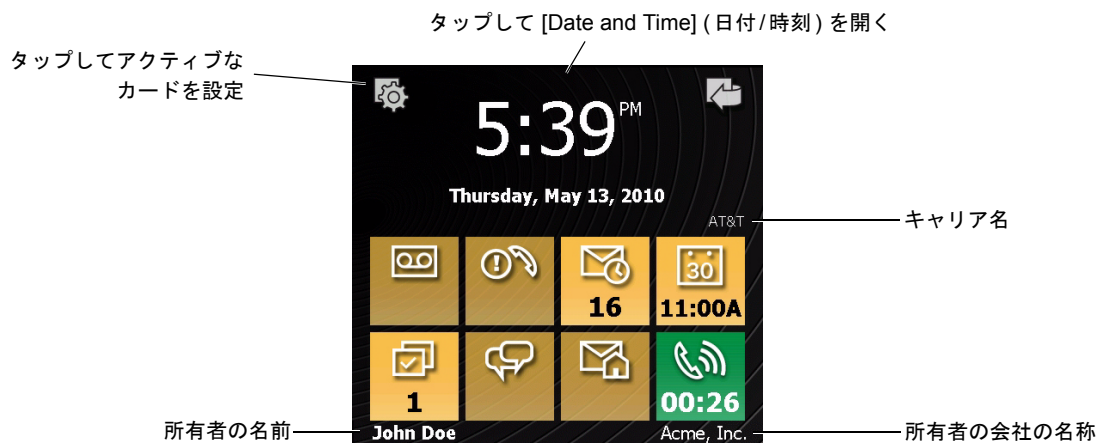


図 2-8 Simple Home カード

Full Home カード

Full Home カードには、現在の日付と時刻、通知機能 (拡張情報付き) が表示されます。

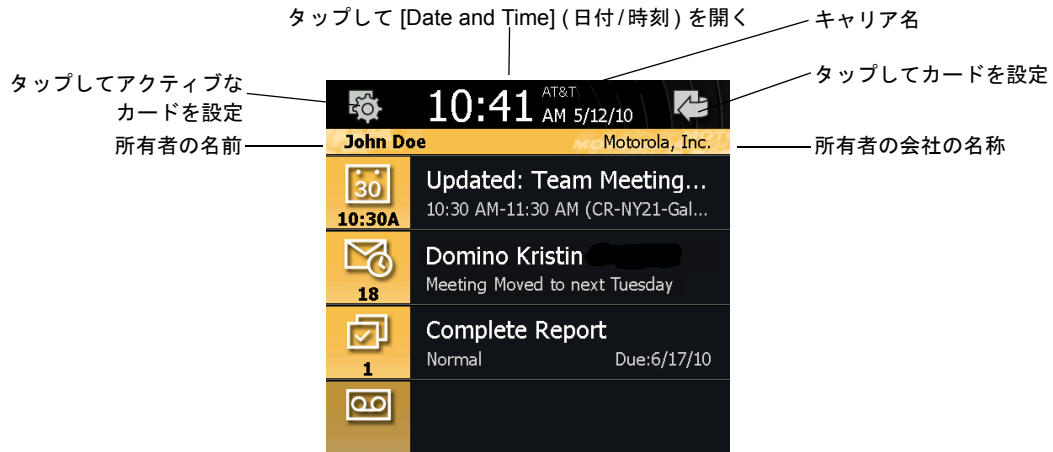


図 2-9 Full Home カード

表 2-2 は、Home カードのショートカット アイコンのリストです。

表 2-2 Home カード アイコン

アイコン	説明
	カレンダー: カレンダーに登録されている次の予定を示します。タップすると、 Calendar (カレンダー) アプリケーションが開きます。
	企業の電子メール: Outlook メール内の未読の電子メールの数を示します。タップすると、 Outlook アプリケーションが開きます。
	タスク: 未完のタスクの数を示します。タップすると、 Task (タスク) アプリケーションが開きます。
	メッセージ: 未読の SMS メッセージと MMS メッセージの数を示します。タップすると、 Messaging (メッセージング) アプリケーションが開きます。
	ボイスメール: ボイスメール ボックス内のボイス メッセージの数を示します。
	不在着信: 不在着信の数を示します。
	自宅の電子メール: 個人の電子メール アカウント内の未読電子メールの数を示します。タップすると、 Messaging (メッセージング) アプリケーションが開きます。
	通話中ステータス: 通話ステータスを示します。タップすると、[Phone] (電話) ダイアログが開きます。

Weather カード

Weather カードには、選択した都市の天気が表示されます。



図 2-10 Weather カード

Weather カードの設定方法については、[11-19 ページの「Weather カードのセットアップ」](#)を参照してください。

Time Tracker カード

Time Tracker カードを使用すると、簡単に作業に費やした時間を記録し、使いやすい形式で情報を出力することができます。

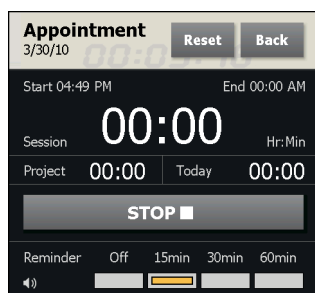


図 2-11 Time Tracker カード

Time Tracker カードの設定方法については、[11-20 ページの「Time Tracker のセットアップ」](#)を参照してください。

プログラムのショートカット

プログラム ショートカット ボタンを使用すると、使用頻度の高い 4 つのアプリケーションに簡単にアクセスできます。アイコンをタップすれば、アプリケーションが起動します。プログラム ショートカットの設定方法については、[11-16 ページの「プログラムのショートカットのセットアップ」](#)を参照してください。

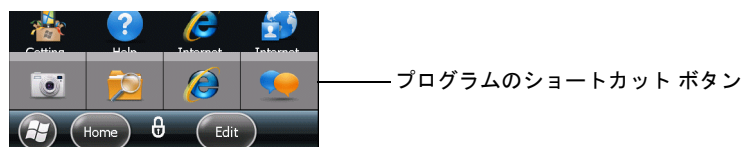


図 2-12 [My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウ

[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウ

[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウから、ES400 上のすべてのアプリケーションにアクセスできます。ウィンドウは設定可能ため、希望のアプリケーションを表示させることができます。[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウの設定方法については、[11-17 ページの「\[My Apps\] \(マイ アプリケーション\) ウィンドウのセットアップ」](#)を参照してください。

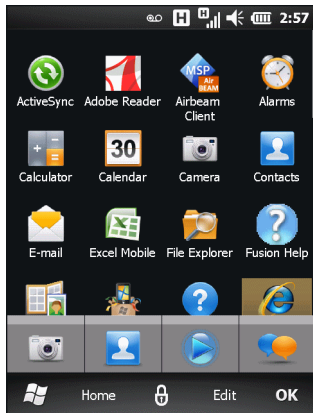


図 2-13 [My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウ

[My Apps] (マイ アプリケーション) スクリーンは設定可能です。詳細については、[11-17 ページの「\[My Apps\] \(マイ アプリケーション\) ウィンドウのセットアップ」](#)を参照してください。

タイルバー


スクリーンの一番下にあるタイルバーには [Start] (スタート) タイル  があり、ここで [Start] (スタート) メニューを開きます。また、開いているアプリケーションにより、異なるタイルが表示されます。



図 2-14 タイルバーの例










表 2-3 [Start] (スタート) メニューで使用できるプログラム

アイコン	説明	アイコン	説明
	ActiveSync - ES400 とホストコンピュータまたは Exchange Server 間で情報を同期します。		AirBEAM Client - これによって従来のお客様はデバイスに AirBEAM Smart™ パッケージを導入できます。
	Alarms - 時計を自分の地域の日時に設定します。また、指定した曜日の時間にアラームを設定します。		Bing - インターネットを検索します。
	Calculator (電卓) - 加算、減算、乗算、除算などの基本的な演算と計算を行います。		Calendar (カレンダー) - 予定を管理したり、会議出席依頼を作成します。

表 2-3 [Start] (スタート) メニューで使用できるプログラム (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	Contacts (連絡先) - 友人および同僚の連絡先を管理します。		E-mail (電子メール) - 電子メールを送信します。
	File Explorer (ファイル エクスプローラ) - デバイス上のファイルを整理および管理します。		Games (ゲーム) - ゲームをします。
	Getting Started (お使いになる前に) - Getting Started (お使いになる前に) アプリケーションを起動します。		Help (ヘルプ) - オンライン ヘルプ トピックにアクセスします。
	ホーム: ホーム スクリーンを表示します。		Internet Explorer - Web サイトや WAP サイトを参照したり、インターネットから新しいプログラムやファイルをダウンロードします。
	Internet Sharing (インターネット共有) - ES400 のデータ 接続を使用して、ノートブック コンピュータをインターネットに接続します。		Marketplace (マーケットプレイス) - マーケットプレイスからアプリケーションを購入します。
	Messenger - モバイル バージョンの Windows Live Messenger を使用します。		Microsoft My Phone - ES400 の連絡先、カレンダー、タスク、テキスト メッセージ、音楽、写真、ビデオ、ドキュメントを Microsoft My Phone アカウントと同期します。
	MSN Money (MSN マネー) - ファイナンスを管理します。		MSN Weather (MSN 天気予報) - 地域の天気予報を確認します。
	MSP Agent - MSP Server から ES400 を管理できます。必要なレベルの管理機能を使用するには、デバイスごとに適切な MSP ライセンスを購入する必要があります。		Notes (メモ) - 手書きのメモやタイプしたメモ、図、音声録音を作成します。
	Office Mobile 2010 - Excel Mobile、PowerPoint Mobile、OneNote Mobile、SharePoint WorkSpace Mobile、Word Mobile アプリケーションにアクセスできます。		Phone (電話) - 電話をかけます。
	Pictures & Videos (画像とビデオ) - 画像、アニメーション GIF、ビデオ ファイルを表示および管理します。		Rapid Deployment Client - ES400 で MSP を使用可能にするために、使用前に設定、ファームウェア、ソフトウェアを展開します。デバイスごとに MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。
	Remote Desktop Mobile - Windows NT サーバー環境のコンピュータにログオンして、そのコンピュータで使用可能なすべてのプログラムを ES400 から使用します。		Search Phone (電話の検索) - ES400 上の連絡先、データ、その他の情報を検索します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。

表 2-3 [Start] (スタート) メニューで使用できるプログラム (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	Settings (設定) - [Settings] (設定) フォルダを開きます。詳細については、 11-1 ページの「Settings (設定) フォルダ」 を参照してください。		SMS Staging - MSP Server から SMS メッセージを受信して処理し、それらを基に ES400 でステージングできます。デバイスごとに MSP クライアントライセンスを購入する必要があります。
	Task Manager (タスク マネージャ) - メモリと CPU の割り当てを表示し、実行中のプロセスを停止します。		Tasks (タスク) - タスクを管理します。
	Text (テキスト) - SMS メッセージまたは MMS メッセージを送信します。		Toolbox (ツールボックス) - Adobe Reader とボイス コマンドが入っています。
	Wireless Companion - [Wireless Companion] フォルダを開きます。		Windows Live - モバイルバージョンの Windows Live™ を使用して、Web で情報を検索します。
	Windows Media - オーディオ ファイルとビデオ ファイルを再生します。		

デバイス管理

デバイス管理ウィンドウを使用すると、S400 の情報と設定にすばやくアクセスできます。

ステータスバーをタップすると、デバイス管理ウィンドウが開きます。

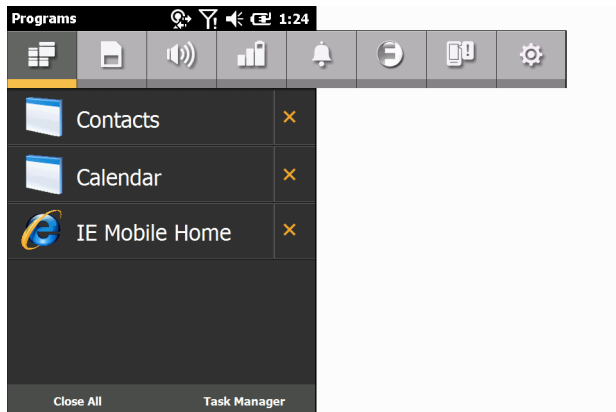


図 2-15 デバイス管理ウィンドウ

ナビゲーションバーには 8 個のタブがあります。

- Programs (プログラム) 
- Memory Manager (メモリ マネージャ) 
- Sound Profiles (サウンド プロファイル) 
- Power & Radio (電源 / 無線) 
- Alarms (アラーム) 
- Fusion 
- Status (ステータス) 
- Settings  (設定)

アイコンをタップすると、関連付けられたタブが開きます。左方向または右方向にスクロールすると、その他のアイコンが表示されます。

Programs (プログラム)

[Programs] (プログラム) タブには、ES400 で現在実行中のプログラムのリストが表示され、簡単にプログラムを切り替えたり、プロセスをすばやく終了したりできます。

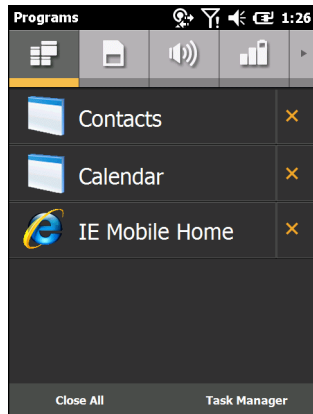


図 2-16 **[Programs]** (プログラム) タブ

- プログラムを切り替えるには、プログラム名をタップします。
- 実行中のプログラムを終了するには、プログラム名の隣の X をタップします。
- 実行中のプログラムをすべて閉じるには、**[Close All]** (すべて閉じる) をタップします。
- **Task Manager** (タスク マネージャ) アプリケーションに移動するには、**[Task Manager]** (タスク マネージャ) をタップします。

Memory Manager (メモリ マネージャ)

[Memory Manager] (メモリ マネージャ) タブにはメモリの使用状況の概要が表示されるので、メモリ解放が必要かどうか簡単に知ることができます。

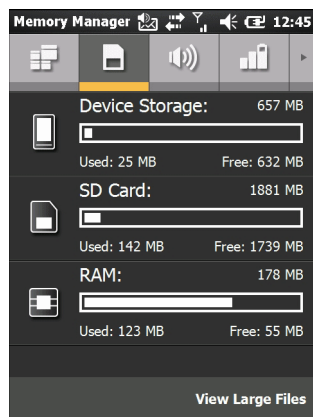


図 2-17 **[Memory Manager]** (メモリ マネージャ) タブ

- Device Storage (デバイス ストレージ) - 使用可能なフラッシュメモリの総量と現在使用中のフラッシュメモリの総量を示します。
- SD Card (SD カード) - 使用可能なメモリの総量と現在使用中のメモリの総量を示します。
- RAM - 使用可能な RAM の総量と現在使用中の RAM の総量を示します。

[View Large Files] (大きなファイルの表示) をタップすると、ES400 で特定のバイト数を超過しているのファイルが表示されます。

Sound Profiles (サウンドプロファイル)

[Sound Profiles] (サウンドプロファイル) タブを使用すると、サウンド関連のプロファイルに直接アクセスできます。

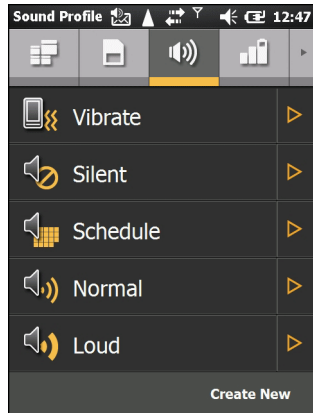


図 2-18 [Sound Profiles] (サウンドプロファイル) タブ

プロファイルを選択するには、プロファイル名をタップします。

- **Vibrate (バイブ)** - 着信音のタイプ、リマインダ、通知は [Vibrate](バイブ) に設定されています。着信音とシステムの音量は 0 (オフ) に設定されています。
- **Silent (サイレント)** - 着信音のタイプ、リマインダ、通知は [None](なし) に設定されています。着信音とシステムの音量は 0 (オフ) に設定されています。
- **Schedule (スケジュール)** - 予定表の会議が行われている時は、着信音のタイプ、リマインダ、通知は [Vibrate](バイブ) に設定されます。
- **Normal (ノーマル)** - 着信音のタイプは [Ring] (着信音) に、リマインダは [Vibrate & Sound] (バイブとサウンド) に、通知は [Play Sound] (サウンドの再生) に設定されています。着信音とシステムの音量はレベル 4 に設定されています。
- **Loud (大音量)** - 着信音のタイプは [Vibrate & Ring] (バイブと着信音) に、リマインダと通知は [Vibrate & Sound] (バイブとサウンド) に設定されています。着信音とシステムの音量はレベル 5 に設定されています。
- **Ambient (アンビエント)** - プロファイルの設定は、周囲の環境の音量レベルに基づいて設定されます。

ユーザーが音量ボタンで音量を調節するなど、システム側で変更が行われると、一時プロファイルが作成されます。

サウンドプロファイルの新規作成については、[11-8 ページの「サウンドプロファイル」](#)を参照してください。

Power & Radio (電源/無線)

[Power & Radio] (電源/無線) タブには、現在のバッテリー状態が表示されます。このタブから、電源プロファイルと電源/無線関連のオプションに直接アクセスできます。

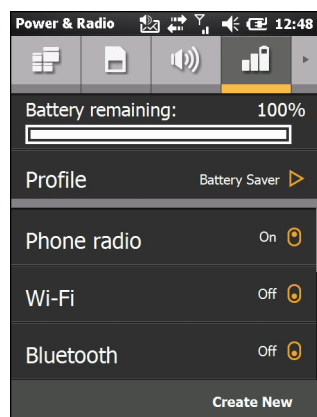


図 2-19 **[Power & Radio]** (電源/無線) タブ

[Battery remaining] (バッテリー残量) グラフには、バッテリーの残量が棒グラフとパーセンテージで表示されます。

[Profile] (プロファイル) 行には、現在使用中のプロファイルが表示されます。定義済みプロファイルを設定するには、**[Profile]** (プロファイル) をタップします。プロファイルのリストが表示されます。選択したプロファイルの横にラジオ ボタンが表示されます。リスト内のプロファイルのプロパティを見るには、プロファイル横の ▶ をタップします。

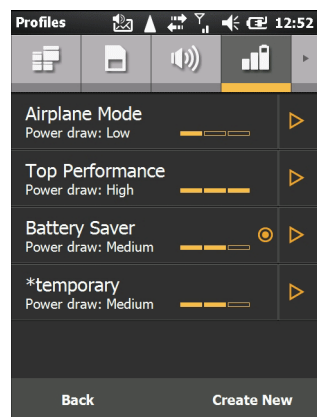


図 2-20 電源プロファイル ページ

[Back] (戻る) をタップすると、**[Profile]** (プロファイル) タブに戻ります。

ユーザーは、次の設定を手動で変更できます (ディスプレイをスライドさせると、他のオプションも表示されます)。

- **Phone radio** (電話無線) - 電話無線のオンとオフを切り替えます。
- **Wi-Fi** - Wi-Fi ラジオのオンとオフを切り替えます。
- **Bluetooth** - Bluetooth ラジオのオンとオフを切り替えます。
- **Device timeout** (デバイスのタイムアウト) - ES400 がサスペンド モードになる、非アクティブの時間を設定します。
- **Backlight** (バックライト) - ES400 バックライトがオフになる、非アクティブの時間を設定します。
- **Brightness** (輝度) - ディスプレイの明るさを設定します。

- **ActiveSync Peak time (ActiveSync ピーク時)** - ES400 がピーク時に電子メールと予定表のイベントをチェックする頻度を設定します。
- **ActiveSync Off-Peak time (ActiveSync オフピーク時)** - ES400 がオフピーク時に電子メールと予定表のイベントをチェックする頻度を設定します。

プロファイルの新規作成については、[11-9 ページの「電源プロファイル」](#)を参照してください。

Alarms (アラーム)

[Alarms] (アラーム) タブで、Windows Mobile のアラームを制御します。

ステータス バー >  をタップします。

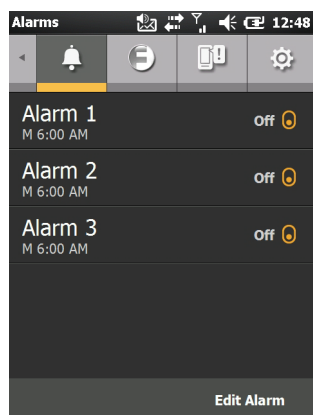


図 2-21 **[Alarms]** (アラーム) タブ

アラームのオンとオフを切り替えるには、アラームの名前をタップします。

アラームの設定を変更するには、**[Edit Alarm]** (アラームの編集) をタップします。

アラームの設定については、[11-10 ページの「アラーム」](#)を参照してください。

Fusion

[Fusion] タブで、Fusion インタフェースにアクセスできます。

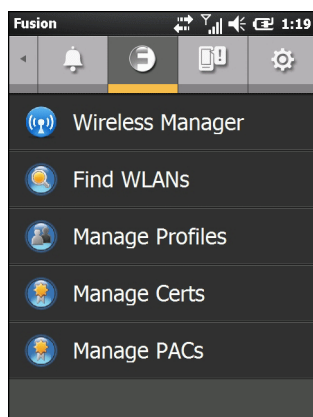



図 2-22 **[Fusion]** タブ

WLAN の使用方法とセットアップについては、[第 5 章の「WLAN の使用」](#)を参照してください。

Status (ステータス)

[Status] (ステータス) タブには、システムのすべての通知機能が表示されます。ES400 は、ステータス バーにアイコンを表示することによって、ユーザーにシステム情報を通知します。[2-6 ページの表 2-1](#) に通知アイコンのリストがあります。ステータス バーをタップして、 を選択します。

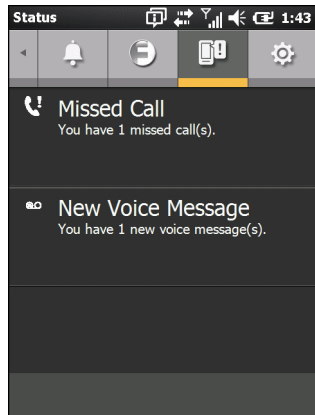


図 2-23 [Status] (ステータス) タブ

通知機能をタップすると、関連情報が読み込まれます。

Settings (設定)

[Settings] (設定) タブには、ES400 に搭載されている Settings (設定) アプリケーションのリストが表示されます。リストの項目をタップすると、関連付けられた Settings (設定) アプリケーションまたはフォルダが開きます。リストをスライドさせると、それ以外の設定アイコンが表示されます。

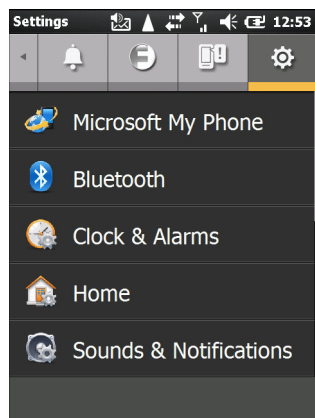


図 2-24 [Settings] (設定) タブ

Settings (設定) アプリケーションのアイコンとその他の説明については、[11-1 ページの表 11-1](#) を参照してください。

音量を調節する

システムの音量を調節するには、次の手順に従います。

1. システムの音量を調節するには、ES400 の右側にある音量ボタンを押します。**[Volume]** (音量) ダイアログ ボックスが表示されます。
2. 音量を上げたり下げたりすると、それに応じてスライダが動きます。スライダを動かして音量を調節することもできます。
3. **[Vibrate]** (バイブ) ラジオ ボタンを選択して、システムの音声をオフにすると、システムからの通知に対して ES 400 がバイブするようになります。
4. **[Off]** (オフ) ラジオ ボタンを選択すると、システムの音声通知機能はすべてオフになります。

ES400 を充電する



注意 13-1 ページの「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

ES400 を初めて使用する場合は、USB 急速充電ケーブル (25-128458-01R) またはオプションのシングル スロット USB 充電クレードルを使用して、バッテリーを充電します。ケーブルとクレードルのセットアップと充電の手順については、[第 12 章の「アクセサリ」](#)を参照してください。

ES400 をクレードルにセットするか、ケーブルに接続すると、バッテリーは自動的に充電を開始します。充電中の LED 表示については、[表 2-4](#)を参照してください。1540 mAh バッテリーは 3 時間以内、3080 mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。

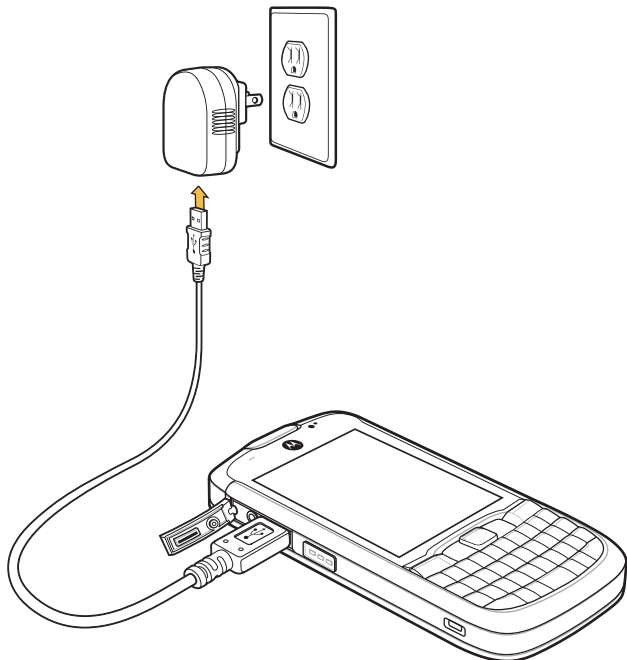


図 2-25 ES400 の充電

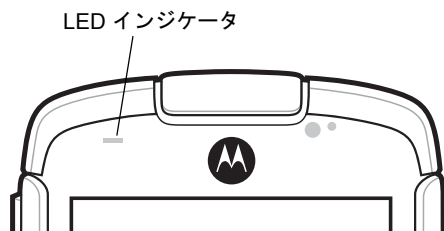


図 2-26 LED インジケータ

表 2-4 充電の状態を表す表示

LED 表示	説明
オフ	次を意味します。 <ul style="list-style-type: none"> 電源に接続されていない バッテリーが充電されない
緑色でゆっくり点滅 (2 秒に 1 回点滅)	バッテリーが充電中であることを示します。
緑色の点灯	バッテリーが完全に充電された状態であることを示します。
赤で速く点滅 (1 秒に 2 回)	充電エラーを示します。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> 温度が低すぎる、または高すぎる。 充電完了までの時間が長すぎる。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、ES400 によって精密に制御されています。

ES400 は、温度制御を実現するため、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、LED にエラーが示されます。表 2-4 を参照してください。

バッテリー ステータス表示

[Battery] (バッテリー) アイコンは、ステータス バーに表示され、バッテリー電力の残量を示します。バッテリー電力の残量が定義済みのレベルを下回ると、アイコンによりステータスが示され、バッテリー電力のステータスを示すバッテリー ダイアログ ボックスが表示されます。

メッセージは、[Dismiss] (消去) をタップするまで表示されます。ステータス バーをタップして、デバイス管理ウィンドウを表示することもできます。🔋 をタップします。

印刷する

ES400 は、サードパーティ製のプリンタでの印刷に対応しています。Support Central Web サイト (<http://supportcentral.motorola.com>) から入手できる Motorola Print Manager を使用すると、Bluetooth 対応のプリンタに出力することができます。ES400 は、USB ホスト アダプタと USB ケーブルを使用する印刷にも対応しています。詳細については、第 12 章の「アクセサリ」を参照してください。

ES400 をリセットする

リブートするには、電源ボタン、[1] キー、[9] キーを同時に押します。

ES400 をロックする

キーやスクリーン タップを無効にするか、パスワードまたは指紋スワイプを要求することで ES400 をロックし、データのセキュリティを確保できます。デバイスのロックのセットアップについては、[11-3 ページの「ES400 をロックする」](#)を参照してください。

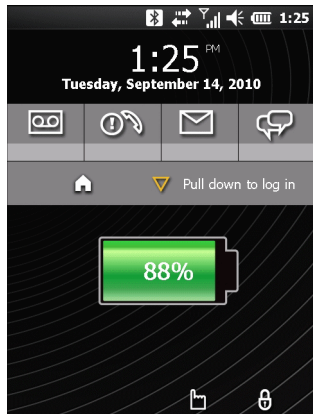
✓ 注 ES400 がロックされている場合でも、緊急通話は可能です。

ES400 をロックすると、必ずロック画面が表示されます。ES400 のロック中でも、新着メッセージ、不在着信のメッセージ、間近に迫った予定に関する通知は受信できます。タイムアウトに達したり、手動で ES400 をロックした場合も、ES400 はロックされます。

ES400 を手動でロックするには、ホーム画面のタイル バーの中央にある [Lock] (ロック) アイコンをタップします。

パスワードロックの解除

一定時間使用されていなかった ES400 にアクセスしようすると、[Lock] (ロック) 画面が表示されます。



PIN パスワードが有効であることを示しています

指紋が登録済みであることを示しています

図 2-27 [Lock] (ロック) 画面

1. ES400 がロックされていない時にアイコンの 1 つを選択すると開きます。
2. グレーのバーにタッチしてプルダウンし、ログインします。

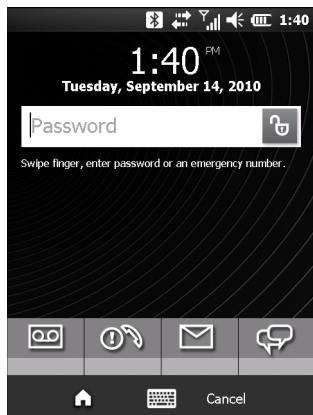


図 2-28 [Enter Password] (パスワード入力) ウィンドウ

3. テキストフィールドに自分の PIN を入力し、[Unlock] (ロック解除) アイコンをタップします。

指のスイープによるロックの解除

一定時間使用されていなかった ES400 にアクセスしようとする時、[Lock] (ロック) 画面が表示されます。指紋認証リーダー上で登録時に使用した方向に指をスイープします。指紋センサーが指紋を正しく読み取らない場合は、PIN を入力して ES400 のロックを解除します。指紋読み取りのセットアップについては、[11-3 ページの「ES400 をロックする」](#)を参照してください。

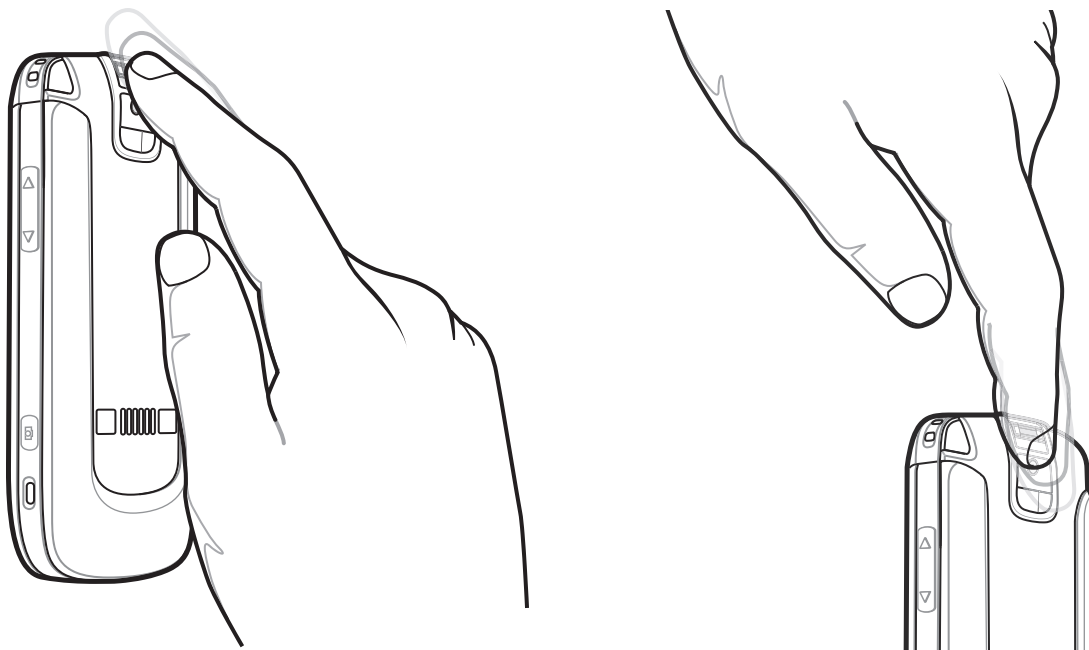


図 2-29 指紋リーダーを指でスイープ

ES400 のロック時の通知

[Lock] (ロック) 画面に次のような通知が表示されます。

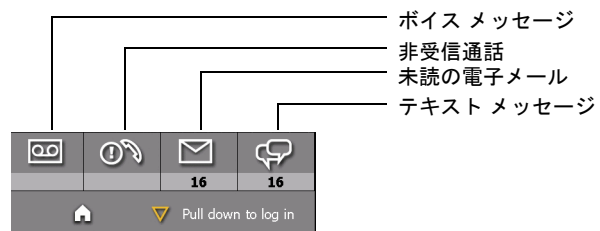


図 2-30 [Lock] (ロック) 画面での通知

第3章 電話をかける

はじめに

- ✓ 注 Windows Mobile Dialer を使用している場合、ダイヤラの詳細については [C-5 ページの「Windows Mobile Dialer」](#) を参照してください。

ES400 では、電話をかけたり、通話履歴を管理したり、テキストメッセージを送信したりすることができます。また、無線サービスプロバイダによっては、音声メール、通話転送、発信者 ID などのサービスが提供されていることもあります。

また、セルラー回線を使用して High-Speed Packet Access (HSPA) または Evolution Data-Optimized (EvDO) を経由し、電話から ISP や企業ネットワークに接続して、Web を閲覧したり電子メールを読んだりすることもできます。

電話をかける

- ✓ 注 ES400 がロックされていたり、無効になっている場合でも、緊急通話は可能です。詳細については、[3-5 ページの「緊急通話」](#) を参照してください。

ES400 では、電話キーパッド、連絡先、およびコールログから電話をかけることができます。

電話キーパッドの使用

電話をかけるには、次の手順に従います。


1.  を押します。



図 3-1 エンタープライズダイヤラ

- ✓ 注 電話番号を間違えて入力した場合は、[Delete] (削除) キーをタップして、カーソルの後ろにある数字を 1 つずつ消去できます。電話番号全体を消去するには、[Delete] (削除) キーをタップして押したままにします。









- ダイヤラまたはキーパッドで電話番号を入力します。入力した電話番号は、電話番号欄に表示されます。
- 緑色の電話番号欄をタップし、 を押します。
- 通話をキャンセルするには **[Cancel]** (キャンセル) をタップし、ES400 をスピーカ モードにするには **[Speaker]** (スピーカ) をタップします。
- 電話がつながると、電話番号欄に名前と電話番号が表示されます。保留にするには、電話番号欄をタップします。通話に戻るには、再度電話番号欄をタップします。
-  をタップするか、 を押して、通話を終了します。

表 3-1 は、ステータス バーの下および電話番号欄の上に表示される [Phone] (電話) ダイヤラ アイコンの一覧です。アイコンは、キャリアやネットワークに応じて変化します。

表 3-1 [Phone] (電話) ダイヤラのステータス アイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	Bluetooth ヘッドセットが接続されています。		場所が無効になっています。
	自動転送が有効になっています。		電話のロックが解除されています。
	電話の音声ミュートになっています。		

スマートダイヤル

スマートダイヤルにより、電話番号を容易に入力することができます。数字または文字を入力するときに、スマートダイヤル機能によって自動的に SIM カード上の [Contacts] (連絡先) 内の連絡先エントリ、および [Call Log] (コールログ) (着信、発信、不在着信など) の電話番号が検索され、並び替えられます。その後、その検索結果から、目的の電話番号または連絡先を選択して、ダイヤルすることができます。

発信する電話番号または連絡先に対応する ES400 キーパッドのキーを押します。連絡先パネルに、入力した内容に一致する連絡先が表示されます。

スマートダイヤル機能によって、入力した内容に一致する番号または連絡先の検索が開始されます。

電話番号を検索するには、次の手順に従います。

- [Call History] (通話履歴) で電話番号を探すには、最初の 1 桁または 2 桁を入力します。
- 保存されている [Contacts] (連絡先) および SIM カードから電話番号を探すには、最初の 3 桁以上を入力します。

連絡先名を検索するには、次の手順に従います。

- 連絡先の姓または名前の最初の 1 文字を入力します。スマートダイヤル機能では、その文字を、連絡先名の先頭文字だけではなく、連絡先名に含まれるスペース、ハイフン、アンダースコアに続く文字から検索します。
- 検索結果が多い場合は、別の文字を入力して結果を絞り込みます。

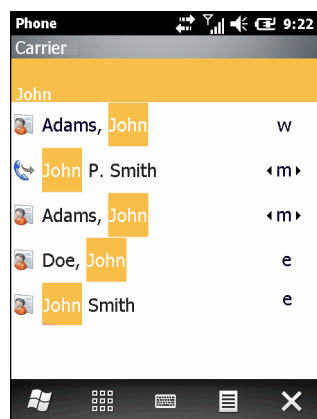





図 3-2 連絡先の検索


スマートダイヤル機能を使用して、電話をかけたり、メッセージを送信するには、次の手順に従います。


1. 目的の番号または文字の先頭から数文字を入力します。
2. **[Smart Dialing]** (スマートダイヤル) パネルで、画面をタッチするか、キーパッドの光学ナビゲーションパッドを使用して、目的の連絡先または電話番号に移動します。
3. 目的の連絡先が選択されたら、 を押して音声通話を開始します。
4. 選択されている連絡先にメッセージを送信するには、 > **[Send Text Message]** (SMS メッセージの送信) をタップしてテキストメッセージを送信するか、 > **[Send MMS]** (MMS の送信) をタップして MMS メッセージを送信します。
5. 選択されている連絡先に関連付けられている異なる電話番号に電話をかけるには、連絡先名をタップして、電話番号を選択します。

連絡先の使用

連絡先を使用することで、電話番号を探したり入力したりすることなく電話をかけることができます。





連絡先から電話をかけるには、次の手順に従います。

1.  を押します。

2. 電話のショートカットで、 をタップします。
3. 連絡先のリストで、連絡先の名前をタップして押し続けます。
4. **[Call Work]** (仕事)、**[Call Home]** (自宅)、または **[Call Mobile]** (携帯電話) をタップします。


コール ログの使用

コール ログを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1.  を押します。
2. 電話のショートカットで、 をタップします。
3. 連絡先または電話番号をタップします。
4. **[SEND]** (送信) をタップするか、 を押します。
5. ダイアル操作や通話を終了するには、**[Cancel]** (キャンセル) をタップするか、 を押します。

電話に応答する



着信すると、ES400 にダイアログ ボックスが表示されます。呼び出し音が鳴るように設定されている場合は、呼び出し音が鳴ります。着信に応答するか、着信を無視します。

着信に応答するには、**[Answer]** (応答) をタップするか、 を押します。

着信を無視するには、**[Ignore]** (無視) をタップします。サービス プロバイダによっては、この操作により、発信者が音声メールに接続されます。それ以外の場合は、発信者に話中音が流れます。


 をタップするか、 を押して、通話を終了します。

着信機能

- 通話中に ES400 で他のプログラムを使用することができます。**[Phone]** (電話) に戻るには、 を押します。通話を終了するには、 を押します。
- 現在の通話を保留にして、待機中の着信に応答するには、**[Answer]** (応答) をタップします。
- 通話を保留にして、別の番号に発信するには、**[Hold]** (保留) をタップします。
- 通話を切り替えるには、**[Swap]** (切り替え) をタップします。

不在着信通知

着信に応答しなかった場合、ホーム画面に **[Missed Call]** (不在着信) アイコンが表示されます。

不在着信エントリを表示するには、ホーム画面で  をタップします。

緊急通話

サービス プロバイダは、あらゆる状況下で通話することが可能な 1 つまたは複数の緊急電話番号 (911 や 999 など) を用意しています。この番号には、電話がロックされている場合や SIM カードが装着されていない場合、電話が有効でない場合でも通話することができます。サービス プロバイダは、追加の緊急番号を SIM カードに設定することができます。ただし、SIM カードに保存されている番号を使用するには、ES400 に SIM カードが装着されている必要があります。詳細については、サービス プロバイダにお問い合わせください。

キーパッドがロックされている場合は、オレンジ fn キーを 2 回押して、キーパッドを数字モードに切り替えて、緊急番号を入力します。

音声モード

ES400 は、3 つの通話音声モードを備えています。

- ハンドセット モード: ES400 の前面上部にあるレシーバから音声が出力され、ES400 をハンドセットとして使用できます。これはデフォルトのモードです。
- スピーカ モード: ES400 をスピーカ フォンのように使用できます。このモードにするには、**[Speaker]** (スピーカ) をタップします。ハンドセット モードに戻すには、再度 **[Speaker]** (スピーカ) をタップします。
- ヘッドセット モード: Bluetooth ヘッドセットまたは有線ヘッドセットを接続すると、自動的に音声出力がヘッドセットに切り替わります。

ES400 のデフォルトのモードは、ハンドセット モードです。有線ヘッドセットを ES400 のヘッドセット ポートに差し込むか、ES400 で Bluetooth ヘッドセットを使用できるように構成されている場合、イヤホンとスピーカがミュートになり、音声はヘッドセットから出力されます。

Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。Bluetooth ヘッドセットを ES400 に接続する方法については、[第 9 章の「Bluetooth」](#)を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、ES400 の音量を適切に調節します。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカはミュートになります。

音量の調節

通話していないときの呼び出し音、および通話中の音声の音量を調節するには、音量ボタンを使用します。



注 通話音量は、通話中に調節してください。通話していないときに音量を調節すると、呼び出し音および通知音の音量が変わります。

通話をミュートする

通話中にマイクをミュートにして、相手の声は聞こえるが、こちらの声は聞こえないようにすることができます。この機能は、会話しているときや騒音が激しい場合に便利です。

通話のミュート/ミュート解除を切り替えるには、ダイヤラで **[Mute]** (ミュート) をタップして、音声をミュートにします。**[Mute]** (ミュート) ボタンは黄色になります。

コール ログを使用する

[Call Log] (コール ログ) を使用して、最近通話を行った相手に電話をかけることができます。[Call Log] (コール ログ) には、すべての通話 (着信、発信、不在着信) の発着信時間が表示されます。表 4-1 に、[Call Log] (コール ログ) ウィンドウに表示されるコール ログ アイコンを示します。







[Call Log] (コール ログ) ウィンドウを開くには、 を押してから  をタップします。



図 3-3 [Call Log] (コール ログ) ウィンドウ

表 3-2 コール ログ アイコン




アイコン	説明
	すべての発信の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての着信の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての未接続の発信の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての不在着信の連絡先情報の横に表示されます。

コール ログの管理

表示を変更したり、通話タイマーをリセットしたり、通話を削除するなど、[Call Log] (コール ログ) に保存されている通話を管理することができます。

[Call Log] (コール ログ) メニューの使用

[Call Log] (コール ログ) メニューでは、通話、SMS の送信、ログの削除を行います。

-  を押し、 をタップします。
- 項目をタップしてその番号に電話をかけるか、 をタップして [Options] (オプション) ウィンドウを開きます。

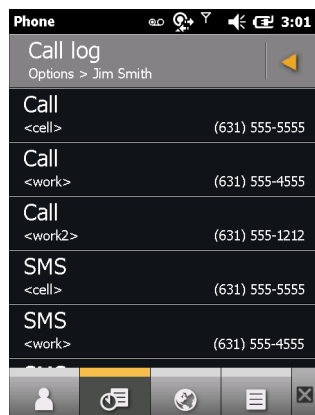


図 3-4 [Call Log] (コール ログ) オプション

3. 一覧から該当するオプションを選択します。
4. 選択したオプションに応じて、適切なウィンドウが表示されます。たとえば、[SMS] を選択すると、[Text Messages] (テキスト メッセージ) ウィンドウが表示されます。
5. ◀ をタップして [Options] (オプション) ウィンドウを閉じます。




Conference Calling (会議通話)



注 GSM/UMTS ネットワーク向けです。

一部のサービスでは、Conference Calling (会議通話) 機能を利用できないことがあります。また、最大会議通話数が異なることがあります。Conference Calling (会議通話) を利用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。

1.  を押して、ダイヤラを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、電話番号欄をタップします。電話がつながると、電話番号欄に名前と電話番号が表示されます。
3.  をタップします。
4.  をタップします。ダイヤラが再表示されます。
5. 2 番目の番号を入力して、[Send] (送信) をタップします。
6. 電話がつながると、最初の通話が保留になり、2 番目の通話が有効になります。

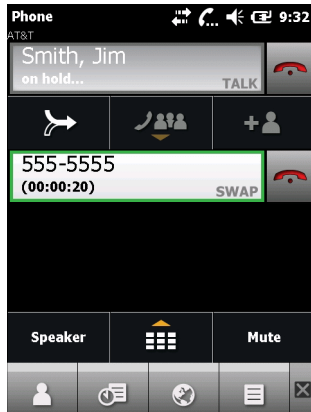



図 3-5 2つの通話

7. 電話番号欄 1 をタップして、最初の通話を有効にします。2 番目の通話が保留になります。
8.  をタップして、会議通話 (3 者通話) を確立します。

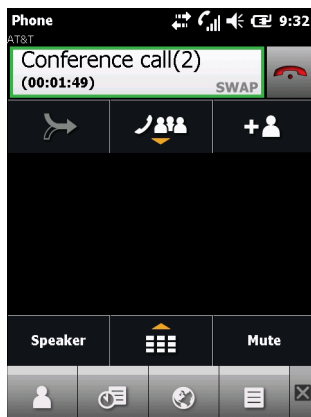



図 3-6 2つの通話の結合

9. 3 番目の相手を追加するには、 をタップします。ダイヤラが表示されます。電話がつながると、新しい通話が有効になり、会議が保留になります。

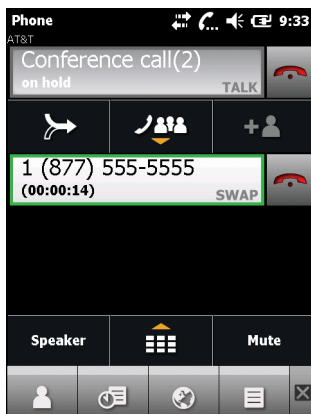



図 3-7 3 番目の通話の追加

10. 新しい通話先相手を会議に追加するには、 をタップします。

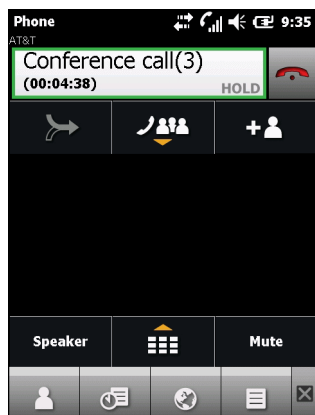



図 3-8 3 者通話

11.  をタップして、すべての通話先相手を表示します。

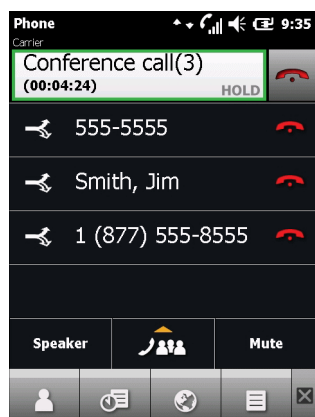






図 3-9 通話の結合解除

12.  をタップして、通話先相手を会議から削除します。
13. 会議通話を終了するには、電話番号欄の横の  をタップします。

[Calls Complete] (通話終了) ダイアログが表示され、ダイヤラが表示されます。


- ✓ 注 会議通話で 1 人の相手と 2 人だけで話すには、 をタップし、通話先相手の横の  をタップします。すべての通話先相手を再度参加させるには、 をタップします。

3 者通話を行う

✓ 注 CDMA ネットワーク向けです。

一部のサービスでは、3 者通話機能を利用できないことがあります。利用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

3 者通話では、同時に 2 人に話すことができます。この機能の使用中は、2 つの通話それぞれに通常の通信料金がかかります。

1. 電話番号を入力し、 を押します。
2. 接続が確立されたら、電話番号を入力または選択し、**[Flash]** (フラッシュ) をタップします。
3. 2 番目の相手に接続したら、**[Flash]** (フラッシュ) をタップして、3 者通話を開始します。

通話中に 1 人が電話を切った場合、残りの 2 人が接続された状態になります。通話を開始した発信者が最初に電話を切ると、すべての通話先相手が切断されます。

ボイス コマンダー

ボイス コマンダーは、ES400 とシームレスに通信を行うための自然なヒューマン インタフェースを提供する音声ダイアログシステムであり、通話、連絡先情報の検索、プログラムの起動、予定表の確認を行うことができます。ボイス コマンダーの機能は、以下のとおりです。

- 視覚的および身体的な障害に対応する音声による命令および制御
- トレーニング不要で、話し手に依存しない音声認識技術
- 使いやすい対話型のユーザー インタフェース
- Personal Voice Tag (個人用音声タグ) と Digit Model Adaptation (ディジット モデルの適合) でユーザビリティを強化

ボイス コマンダーを開始するには、**[Start]** (スタート) > **[Toolbox]** (ツールボックス) > **[Voice Commander]** (ボイス コマンダー) の順にタップするか、Bluetooth ヘッドセットの通話ボタンを押します。「**Say a Command**」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されたら、次のいずれかのコマンドを伝えます。

- Call (通話)
- Find (検索)
- Redial/Callback (再ダイヤル/コールバック)
- Play Music (音楽の再生)
- Play (再生)
- Next/Previous (次へ/前に戻る)
- Start (スタート)
- Appointments (予定)
- Read/Call History (読み取り/通話履歴)
- What time is it? (今何時ですか?)
- What can I say? (ヘルプを表示する)
- Goodbye (さようなら)

Call (通話)

通話先相手を名前で呼び出すには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Call Michael Archer**」(Michael Archer に電話をかける)と伝えると、「**Call Michael Archer work, is it correct?**」(Michael Archer の職場に電話をかけます。よろしいですか?)と尋ねられます。
3. 「**Yes**」(はい)と答えると、「**Dialing**」(ダイヤルしています)という応答があります。

通話先相手を場所で呼び出すには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Call Mary Smith at home**」(Mary Smith の自宅に電話をかける)と伝えると、「**Call Mary Smith home, is it correct?**」(Mary Smith の自宅に電話をかけます。よろしいですか?)と尋ねられます。
3. 「**Yes**」(はい)と答えると、「**Dialing**」(ダイヤルしています)という応答があります。

複数の電話番号で通話先相手に電話をかけるには、次の手順を実行します。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Call Alex Jordan**」(Alex Jordan に電話をかける)と伝えると、「**Call Alex Jordan, home, work, mobile or cancel?**」(Alex Jordan に電話をかけます。自宅、職場、携帯電話、またはキャンセルを選択してください)と指示されます。
3. 「**Home**」(自宅)と答えると、「**Dialing**」(ダイヤルしています)という応答があります。

2 人の名前が似ている場合、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Call Halley Johnson**」(Halley Johnson に電話をかける)と伝えると、「**More than one Halley Johnson, please select**」(複数の Halley Johnson がいます。選択してください)と指示されます。
3. 電話をかけたい通話先相手を選択します。



注 ボイス コマンダーでは、自動的に最大 2000 件の連絡先が認識データベースに保存されます。この設定を変更するには、[11-28 ページの「連絡先の設定」](#)を参照してください。

ボイス コマンダーでコマンドを認識できない場合、「**Please say again**」(もう一度言ってください)と指示されます。これは、騒音の多い環境やボイス コマンダーで録音が始まる前にコマンドを伝えた場合によく起こります。「Say Command」(コマンドを音声で伝えてください)と指示された後、1 ~ 2 秒経ってからコマンドを伝えるようにしてください。

認識可能な連絡先の長さは 48 文字です。48 文字を超える連絡先は無視されます。

Find (検索)

連絡先の情報を検索するには、次の手順を実行します。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Find Mary Smith**」(Mary Smith を探す)と伝えると、「**Mary Smith home 5555551212**」(Mary Smith の自宅は 5555551212 です)という答が返ってきます。

特定の電話番号を検索するには、次の手順を実行します。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Find Michael Archer at work**」(Michael Archer の職場を探す)と伝えると、「**Michael Archer, work, 5555551212**」(Michael Archer の職場は 5555551212 です)という答が返ってきます。

連絡先の 2 人の名前が似ている場合、次の手順を実行します。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Find Halley Johnson at work**」(Halley Johnson の職場を探す)と伝えると、「**More than one Halley Johnson, please select**」(複数の Halley Johnson がいます。選択してください)と指示されます。ボイス コマンダーのウィンドウに 2 人の連絡先が表示されます(選択可能な連絡先には、Halley Johnson と Haley Johnson の 2 人が表示されます)。

連絡先が見つからない場合、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Find Michael Archer at home**」(Michael Archer の自宅を探す)と伝えます。
3. 「**Michael Archer has no home number**」(Michael Archer の自宅の電話番号はありません)という答が返ってきます。

Redial (再ダイヤル)

以前かけた番号に再ダイヤルするには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Redial**」(再ダイヤルする)と伝えると、「**Call Mary Smith at home, is it correct?**」(Mary Smith の自宅に電話します。よろしいですか?)と尋ねられます。
3. 「**Yes**」(はい)と答えると、「**Dialing**」(ダイヤルしています)という応答があります。

Callback (コールバック)

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Callback**」(コールバック)と伝えると、「**Call Mary Smith at home, is it correct?**」(Mary Smith の自宅に電話します。よろしいですか?)と尋ねられます。
3. 「**Yes**」(はい)と答えると、「**Dialing**」(ダイヤルしています)という応答があります。

Start (スタート)

アプリケーションを開始するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Start calendar**」(カレンダーを開始する)と伝えると、「**Go to Calendar**」(カレンダーに移動します)という応答があります。**Calendar**(カレンダー)アプリケーションが開始します。

Appointments (予定)

今日、明日、または今週の予定を把握するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Today's appointment**」(今日の予定)と伝えると、「**You have 3 appointments**」(3つの予定があります)という応答があります。
3. ボイス コマンダーにプログラム可能ボタンをリマップした場合、読み取り中にプログラム可能ボタンを押します。すると、「**Please say Previous, Next, Repeat, or Abort**」(前へ、次へ、繰り返し、または中止を選択してください)と指示されます。
4. 「**Next**」(次へ)と伝えると、次の予定を読み取ります。

Read (読み取り)

テキストメッセージまたは電子メールメッセージを読み取るには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Read SMS**」(SMSを読み取る)と伝えると、「**You have 3 SMS**」(3つのSMSがあります)という応答があります。
3. ボイス コマンダーにプログラム可能ボタンをリマップした場合、SMS読み取り中にプログラム可能ボタンを押します。すると、「**Please say Previous, Next, Repeat, or Abort**」(前へ、次へ、繰り返し、または中止を選択してください)と指示されます。
4. 「**Next**」(次へ)と伝えると、次のSMSメッセージを読み取ります。



注 「**Previous**」(前へ)、「**Next**」(次へ)、「**Repeat**」(繰り返し)、「**Abort**」(中止)などのコマンドを使うと、SMSの読み取りを制御することができます。

What time is it? (今何時ですか?)

時間を調べるには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**What time is it?**」(今何時ですか?)と伝えると、「**The time is 3 p.m.**」(今は午後3時です)という応答があります。

Call History (通話履歴)

[**Call History**] (通話履歴) ウィンドウを表示するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Call History**」(通話履歴)と伝えると、「**Dialing**」(ダイヤルしています)という応答があります。
3. [**Call History**] (通話履歴) ページが表示されます。

Play Music (音楽の再生)

特定の音楽ファイルを再生するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Play The Moment**」(The Momentを再生する)と伝えると、「**The Moment**」という応答があります。

3. Windows Media で The Moment が再生されます。

すべての音楽ファイルを再生するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Play music**」(音楽を再生する)と伝えると、「**Play music**」(音楽を再生します)という応答があります。
3. Windows Media ですべての音楽ファイルが再生されます。

再生中に別の音楽ファイルを再生するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Next**」(次へ)と伝えると、「**Next**」(次を再生します)という応答があります。
3. Windows Media で次の音楽ファイルが再生されます。

再生中の音楽ファイルを一時停止したり、再開したりするには、次の手順を実行します。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**Pause**」(一時停止)または「**Resume**」(再開)と伝えると、再生中の音楽が一時停止または再開されます。

✓ **注** 「**Pause**」(一時停止)や「**Resume**」(再開)などのコマンドを使うと、音楽の再生を制御できます。「**Resume**」(再開)は Windows Media の実行時のみに使用できます。「**Previous**」(前へ)と「**Next**」(次へ)は、すべての音楽ファイルの再生時のみに使用できます。

ボイス コマンダーでは、.mp3 形式および .wma 形式のメディア ファイルのみがサポートされます。ボイス コマンダーでは、再生リスト内の音楽ファイルや、**[My Documents]** とそのサブフォルダ、または microSD カードとそのサブフォルダにある、Active Sync で同期されたメディア ファイルがサポートされます。

What can I say (ヘルプを表示する)

ヘルプ情報を表示するには、次の手順を実行します。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「**Say command**」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「**What can I say**」(ヘルプを表示する)と伝えると、ヘルプ ファイルが表示されます。

または、**[Menu]**(メニュー) > **[Help]**(ヘルプ)をタップして、ヘルプ ファイルを開きます。

Goodbye (さようなら)

ボイス コマンダー アプリケーションを終了するには、「**Goodbye**」(さようなら)と伝えます。「**Goodbye**」(さようなら)という応答があり、アプリケーションが終了します。

ボイス コマンダーは、**[Menu]**(メニュー) > **[Exit]**(終了)の順にタップして、手動で終了することもできます。音声数字ダイヤル操作中は、「**Goodbye**」(さようなら)コマンドは使用できません。

✓ **注** 10 秒間無音状態が続いた後、ボイス コマンダーは終了します。

第4章 Phone Network Setup (電話ネットワークのセットアップ)

はじめに

お使いの携帯電話サービスが、AT&T、Telcel、Bell Mobility、Telstra などの SIM カードを供給するオペレータの場合は、SIM カードを ES400 に取り付けます。詳細については、[1-4 ページの「SIM カードの取り付け \(GSM の場合のみ\)」](#)を参照してください。ES400 がキャリアに合わせて自動的に設定を行うため、最初の電源投入時には 5 分程度かかる場合があります。

お使いの携帯電話サービスが、Verizon、Sprint などの、アクティベーション時に電話をかける必要があるキャリアの場合は、**Phone Network Setup** (電話ネットワークのセットアップ) アプリケーションを使用してアクティベートします。最初にアクティベーションを完了するには、10 ~ 15 分かかる場合があります。お使いの無線オペレータの顧客サービス部門に電話をかけるために、電話がもう 1 台必要です。また、アクティベーション プロセスを完了するためには、お使いの無線オペレータのサポート範囲内 (サービス エリアなど) で ES400 を使用する必要があります。

Verizon または Sprint の Global Phone サービスを利用しており、サービスの一部として SIM カードを所有している場合は、SIM カードを挿入せずに、ES400 の電源を投入し、アクティベーションを完了します。その後、SIM カードを挿入してください。

[Phone Network Setup] (電話ネットワークのセットアップ) アプリケーションは、ES400 あるいは手動によりネットワークの変更を検出したとき、およびユーザーがネットワークを変更しようとしたときに、ネットワークを変更できます。

ネットワークの自動セットアップ

ES400 起動時のアクティベーションの詳細については、[1-7 ページの「ネットワーク アクティベーション」](#)を参照してください。

ネットワークの手動セットアップ

- ✓ **注** ES400 に AT&T の SIM カードが取り付けられている場合、CDMA 設定のユーザー インタフェースは非表示になっていません。設定インタフェースにアクセスできるようにするには、Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) にお問い合わせください。

CDMA ネットワークのセットアップ

- ✓ **注** マスタのリセットまたはソフトウェアのアップグレード時には、CDMA ユーザーはデータ サービスと MMS の設定を戻す必要があります。**[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[Phone Network Setup]** (電話ネットワークのセットアップ) をタップします。**[Band]** (周波数帯) タブで、**[Network Type]** (ネットワーク タイプ) をタップし、**[CDMA Only]** (CDMA のみ) または **[CDMA First]** (CDMA 優先) のどちらかを選択します。

CDMA ネットワーク用に ES400 を手動で設定するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[Phone Network Setup]** (電話ネットワークのセットアップ) をタップします。
2. **[Band]** (周波数帯) タブで、次のネットワーク タイプから選択します。
 - **[CDMA Only]** (CDMA のみ) - CDMA ネットワークのみを検索し、GSM/UMTS ネットワークは無視します。
 - **[CDMA First]** (CDMA 優先) - 最初に CDMA ネットワークを検索し、見つからない場合、GSM/UMTS ネットワークを検索します。
3. **[CDMA Setup]** (CDMA のセットアップ) タブで、**[Preferred network]** (優先ネットワーク) をタップして、お使いのキャリアを選択します。
4. **[Start Activation]** (アクティベーションの開始) ボタンをタップします。
5. **[Phone Network - CDMA Activation]** (電話ネットワーク - CDMA アクティベーション) ダイアログ ボックスで、**[Yes]** (はい) をタップします。
6. アクティブな電話回線でお使いのキャリアに電話をかけて、ES400 をアクティブにします。顧客担当者向けに MEID 番号を画面に入力します。
7. 要求されたら、**[Activate Now]** (今すぐアクティベートする) をタップして、ES400 をアクティベートします。

GSM ネットワークのセットアップ

GSM/UMTS ネットワーク用に ES400 を手動で設定するには、次の手順に従います。

1. アクティブな SIM カードを ES400 に取り付けます。1-2 ページの「[ES400 をセットアップする](#)」を参照してください。
2. **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[Phone Network Setup]** (電話ネットワークのセットアップ) をタップします。
3. **[Band]** (周波数帯) タブで、次のネットワーク タイプから選択します。
 - **GSM/UMTS Only** (GSM/UMTS のみ) - GSM/UMTS ネットワークのみを検索し、CDMA ネットワークは無視します。
 - **GSM/UMTS First** (GSM/UMTS 優先) - 最初に GSM/UMTS ネットワークを検索し、見つからない場合、CDMA ネットワークを検索します。
4. **GSM/UMTS Preferred** (GSM/UMTS 優先) を選択し、次から選択します。
 - **Auto (GSM & UMTS)** (自動 (GSM と UMTS)) - GSM または UMTS のネットワークを検索します。
 - **GSM Only** (GSM のみ) - GSM ネットワークのみを検索します。
 - **UMTS Only** (UMTS のみ) - UMTS ネットワークのみを検索します。
5. **Band** (周波数帯) をタップし、次から選択します。
 - **All** (すべて) - すべての周波数帯を使用するように ES400 を設定します。
 - **NA & CA** (NA と CA) - 北米とカナダで使用される周波数帯を使用するように ES400 を設定します。
 - **EMEA/APAC/Brazil** (EMEA/APAC/ ブラジル) - ヨーロッパ、中東、アフリカ地域 (EMEA)、アジア太平洋地域 (APAC) およびブラジル地域で使用される周波数帯を使用するように ES400 を設定します。
6. **[GSM/UMTS]** タブで、**[Preferred network]** (優先ネットワーク) をタップして、お使いのキャリアを選択します。
7. **[Update Connection Settings]** (接続の設定のアップデート) ボタンをタップします。

- ✓ **注** サポートされているキャリアの SIM カードは、アクティベーション時にデータ接続と MMS の設定を自動的に行います。サポートされていないキャリアのデータ接続と MMS の設定は、手動で行う必要があります。セットアップ情報については、[4-4 ページの「GSM データ接続を設定する」](#) および [11-27 ページの「MMS メッセージング」](#) を参照してください。

[Public Land Mobile Network] (PLMN) タブは、**[Network Type] (ネットワーク タイプ)** が **[GSM/UMTS Only] (GSM/UMTS のみ)** に設定されている場合のみ表示されます。

[Show List] (リストの表示) をタップして、PLMN リストを表示します。

デュアルネットワークの使用

ES400 は、CDMA および GSM/UMTS の両方のネットワークで使用するよう設定でき、両者を切り替えて使用することができます。

- ✓ **注** アクティブなネットワーク アカウントは、各々固有の電話番号を持っています。

ES400 に AT&T の SIM カードが取り付けられている場合、CDMA 設定のユーザー インタフェースは非表示になっています。設定インタフェースにアクセスできるようにするには、Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) にお問い合わせください。

1. アクティブな GSM/UMTS の SIM カードを入手します。
2. ES400 を CDMA ネットワークでアクティベートします。詳細については、[4-1 ページの「CDMA ネットワークのセットアップ」](#) を参照してください。
3. SIM カードを取り付けます。詳細については、[1-4 ページの「SIM カードの取り付け \(GSM の場合のみ\)」](#) を参照してください。

CDMA ネットワークを使用するように ES400 を設定するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート)** > **[Setting] (設定)** > **[Connections] (接続)** > **[Phone network Setup] (電話ネットワークのセットアップ)** をタップします。
2. **[Band] (周波数帯)** タブで、**[Network type] (ネットワーク タイプ)** をタップして、**[CDMA First] (CDMA 優先)** または **[CDMA Only] (CDMA のみ)** を選択します。
3. **[OK]** をタップします。

GSM/UMTS ネットワークを使用するように ES400 を設定するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート)** > **[Setting] (設定)** > **[Connections] (接続)** > **[Phone network Setup] (電話ネットワークのセットアップ)** をタップします。
2. **[Band] (周波数帯)** タブで、**[Network type] (ネットワーク タイプ)** をタップして、**[GSM/UMTS First] (GSM/UMTS 優先)** を選択します。
3. **[GSM/UMTS]** タブで、**[Update Connection Settings] (接続の設定のアップデート)** ボタンをタップします。
4. **[OK]** をタップします。

海外での使用

CDMA ネットワークにプロビジョニングされた ES400 デバイスは、CDMA キャリアから供給されたグローバル SIM カードを使用して、世界各国で使用することができます。現地到着後、グローバル SIM カードを ES400 に取り付けます。詳細については、[1-4 ページの「SIM カードの取り付け \(GSM の場合のみ\)」](#)を参照してください。

グローバル SIM カードを使用するように ES400 を設定するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[Phone network Setup]** (電話ネットワークのセットアップ) をタップします。
2. **[Band]** (周波数帯) タブで、**[Network type]** (ネットワーク タイプ) をタップして、**[GSM/UMTS First]** (GSM/UMTS 優先) を選択します。
3. **[GSM/UMTS Preferred]** (GSM/UMTS 優先) をタップして、**[Auto (GSM & UMTS)]** (自動 (GSM と UMTS))、**[GSM Only]** (GSM のみ) または **[UMTS Only]** (UMTS のみ) を選択します。
4. **[Band]** (周波数帯) をタップして、**[All]** (すべて)、**[NA & CA]** (NA と CA)、**[EMEA/APAC]** または **[Brazil]** (ブラジル) を選択します。
5. **[GSM/UMTS]** タブで、**[Update Connection Settings]** (接続の設定のアップデート) ボタンをタップします。

✓ **注** サポートされていないネットワークを使用する場合は、データ接続と MMS の設定を手動で行う必要があります。セットアップ情報については、[4-4 ページの「GSM データ接続を設定する」](#) および [11-27 ページの「MMS メッセージング」](#)を参照してください。

6. **[OK]** をタップします。
7. 帰国後、グローバル SIM カードを取り外します。
8. **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[Phone network Setup]** (電話ネットワークのセットアップ) をタップします。
9. **[Band]** (周波数帯) タブで、**[Network type]** (ネットワーク タイプ) をタップして、**[CDMA First]** (CDMA 優先) または **[CDMA Only]** (CDMA のみ) を選択します。
10. **[OK]** をタップします。

GSM データ接続を設定する

✓ **注** サポートされているキャリアの SIM カードでは、アクティベーション時にデータ接続が自動的に設定されます。サポートされていないキャリアのデータ接続は手動で設定する必要があります。

データ接続を設定すると、無線ネットワークでインターネットにアクセスできます。

新しいデータ接続を設定するには、次の手順に従います。

1. サービス プロバイダから、アクセス ポイント名 (APN) を取得します。
2. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[Connections]** (接続) > **[Tasks]** (タスク) をタップします。
3. **[My ISP]** (マイ ISP) で **[Add a new modem connection]** (新しいモデム接続を追加) を選択します。
4. **[Enter a name for the connection]** (接続の名前を入力) テキスト ボックスに接続の名前を入力します。

5. **[Select a modem:]** (モデムを選択) ドロップダウン リストから、**[Cellular Line (GPRS)]** (携帯電話回線 (GPRS)) を選択します。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。
7. **[Access point name]** (アクセス ポイント名) テキスト ボックスに、サービス プロバイダの APN を入力します。
8. **[Next]** (次へ) をタップします。
9. サービス プロバイダから要求された場合、**[User name]** (ユーザー名) テキスト ボックスにユーザー名を入力します。
10. サービス プロバイダから要求された場合、**[Password]** (パスワード) テキスト ボックスにパスワードを入力します。
11. サービス プロバイダから要求された場合、**[Domain]** (ドメイン) テキスト ボックスにドメイン名を入力します。
12. **[Finish]** (完了) をタップします。
13. **[OK]** をタップして、**[Connections]** (接続) を終了します。



電話の設定

[Phone Settings] (電話の設定) ウィンドウで設定をカスタマイズします。たとえば、サービスの種類に応じて、着信音のタイプや着信音、セキュリティ オプションなどを設定します。

サウンド

[Sounds] (サウンド) タブで、着信音のタイプ、着信音、キーパッド音をカスタマイズできます。

[Start] (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Personal]** (パーソナル) > **[Phone]** (電話) > **[Sounds]** (サウンド) をタップします。

1. **[Ring type:]** (着信音のタイプ) ドロップダウン リストから、着信音のタイプを選択します。**[Ring type:]** (着信音のタイプ) では、ES400 の着信音の種類を変更できます。選択した着信音のタイプにかかわらず、着信時には ES400 のディスプレイにダイアログ ボックスが表示されます。
2. **[Ring tone]** (着信音) ドロップダウン リストから、着信音を選択します。選択した着信音のサンプルを聞くには、 をタップします。着信音を終了するには、 をタップします。

✓ **注** カスタムの .wav、.mid または .wma ファイルを着信音として使用するには、ホスト コンピュータの ActiveSync を使用して、ファイルを ES400 の /Windows/Rings フォルダにコピーします。次に、着信音リストからサウンドを選択します。

3. **[Keypad:]** (キーパッド) ドロップダウン リストから、キーパッド音を選択します。ここでは、キーパッドに電話番号を入力するときに鳴る音を選択できます。

[Short tones] (短いトーン) または **[Long tones]** (長いトーン) を選択して、キーパッドで数字を押すときの音の長さを指定します。消音する場合には、**[Off]** (オフ) を選択します。

✓ **注** 消音することにより、電力を節約し、バッテリーの寿命を伸ばすことができます。

セキュリティ

PIN の有効化

[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Personal] (パーソナル) > [Phone] (電話) > [Security] (セキュリティ) をタップします。

✓ 注 緊急通話は、PIN や SIM カードを要求されることなく、常にかけることができます。

電話を使用するときに、PIN を要求するには、次の手順に従います。

1. [Require PIN when phone is used] (電話を使用するときに PIN を要求) チェック ボックスをオンにします。
2. ダイアラ キーパッドを使用して、4 ~ 8 桁の PIN を入力します。
3. Enter をタップして PIN を有効にしてから、[Security] (セキュリティ) タブに戻ります。

PIN の変更



注意 誤った PIN を入力すると、「SIM PIN incorrect: Try again」(SIM PIN が正しくありません。もう一度やり直してください) というメッセージが表示されます。3 回連続して誤って入力すると、SIM カードがブロックされます。PIN を再入力できなくなるため、サービス プロバイダから PIN ブロック解除キーを入手する必要があります。

1. [Change PIN] (PIN の変更) をタップします。
2. ダイアラ キーパッドを使用して、現在の PIN を入力します。
3. Enter をタップします。
4. ダイアラ キーパッドを使用して、4 ~ 8 桁の新しい PIN を入力します。
5. Enter をタップします。
6. 確認のために新しい PIN を再度入力して、Enter をタップします。
7. [OK] をタップして、変更を確認します。

PIN の無効化

1. [Require PIN when phone is used] (電話を使用するときに PIN を要求) チェック ボックスをオフにします。
2. ダイアラ キーパッドを使用して、現在の PIN を入力します。
3. Enter をタップします。
4. [OK] をタップして、設定の変更と終了を確認します。

GSM サービス

[GSM Services] (GSM サービス) タブで、契約した電話サービスを設定します。たとえば、特定のタイプの着信および発信をブロックする (4-7 ページ)、発信時に発信者の情報を開示する (4-7 ページ)、着信した電話を別の電話番号に転送する (4-7 ページ)、通話中に着信した電話の通知を受ける (4-7 ページ)、ボイス メールおよびショート メッセージ サービスを設定する (4-7 ページ) などです。

1. [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Personal] (パーソナル) > [Phone] (電話) > [GSM Services] (GSM サービス) をタップします。

2. リストからサービスを選択して、**[Get Settings]** (設定を取得) をタップします。
3. サービスの設定は以下のように変更します。

[Call Barring] (発着信制限) ([Call Blocking] (発着信制限))

[Call Barring] (発着信制限) では、特定のタイプの着信および発信をブロックします。ブロックする着信および発信のタイプを選択します。

Caller ID (発信者番号通知)

[Caller ID] (発信者番号通知) では、発信を行ったユーザーの識別番号を公開します。**[Everyone]** (全員) ラジオ ボタンを選択すると、発信者番号は常に表示されます。**[No one]** (公開しない) ラジオ ボタンを選択すると、発信者番号は他者に表示されなくなります。

Call Forwarding (自動転送)

- ✓ **注** Call Forwarding (自動転送) は、すべてのネットワークで利用できるわけではありません。利用できるかどうかについては、サービス プロバイダに確認してください。

Call Forwarding (自動転送) を使用すると、着信通話を別の電話番号に転送することができます。

- すべての通話を別の電話番号に転送するには、次の手順に従います。
 - **[Forward all incoming phone calls]** (すべての着信通話を転送する) チェック ボックスをオンにします。
 - 転送する通話の受信先電話番号を、**[To:]** (受信者:) テキスト ボックスに入力します。
- 特定の状況に応じて着信を別の電話番号に転送するには、**[Forward phone calls only if:]** (次の場合のみ電話を転送する) の下にあるチェック ボックスを 1 つ以上オンにします。
 - **No answer** (応答なし): 電話に応答できない場合のみ着信を転送します。**[Forward after:]** (転送待ち時間:) ドロップダウン リストから時間を選択します。オプションは、5、10、15、20、25、30 秒です。
 - **Unavailable** (利用不可): 電話の電源がオフになっているか、電波の届かない場所にいる場合のみ着信を転送します。
 - **Busy** (ビジー): 回線がビジーな場合のみ着信を転送します。

Call Waiting (割込通話)

- ✓ **注** Call Waiting (割込通話) はすべてのネットワークで利用できるわけではありません。利用できるかどうかについては、サービス プロバイダに確認してください。

Call Waiting (割込通話) では、通話中の着信を通知します。**[Notify me]** (通知する) ラジオ ボタンを選択すると、割込通話が有効になります。**[Do not notify me]** (通知なし) ラジオ ボタンを選択すると、割込通話が無効になります。

ボイス メールとテキスト メッセージ

ボイス メールを使用してショート メッセージを送信するには、対応するテキスト ボックスにボイス メールおよびテキスト メッセージの電話番号を入力します。

Fixed Dialing (発信先固定)

Fixed Dialing (発信先固定) では、[Fixed Dialing] (発信先固定) リストに指定された電話番号または市外局番以外をダイヤルできないように電話を制限することができます。

1. **[Fixed Dialing]** (発信先固定) を選択して、**[Get Settings]** (設定を取得) をタップします。

2. **[Enable fixed dialing]** (発信先固定を有効にする) チェック ボックスをオンにします。
3. 番号をリストに追加するには、**[Menu]** (メニュー) > **[Add]** (追加) をタップします。
4. 制限する電話番号または市外局番を入力して、**[Done]** (終了) をタップします。
5. 手順 3 および 4 を繰り返して番号を追加し、**[Done]** (終了) を 2 回タップして完了します。
6. **[PIN2]** を入力して、**[Done]** (終了) をタップします。

✓ **注** PIN2 は入力後 ES400 にそのままバッファされ、ES400 をリポートするまで要求されることはありません。PIN2 を要求された場合は、ES400 をリポートする必要があります。

インターネット

[Internet] (インターネット) タブでインターネット通話を設定します。

ドロップダウン リストからオプションを選択します。

[OK] をタップします。

ブロードキャストチャネル

ローカルの携帯電話サイトからのブロードキャストメッセージを有効にします。このメッセージには、緊急通知や情報サービスなどがあります。

TTY

ES400 に付属するオプションの TTY デバイスを使用して、通話の送受信を行います。TTY デバイスを ES400 のヘッドセットジャックに接続して、ES400 が 3 つの TTY モードの 1 つで動作するように設定します。

✓ **注** TSB-121 準拠ケーブル (TTY メーカー製) を使用して、TTY デバイスを ES400 に接続します。

正しく動作させるためには、ES400 の音量を中間レベルに設定します。誤った文字の数が多い場合は、エラー率を最小限にするために音量を必要に応じて調整してください。

最適なパフォーマンスを得るためには、ES400 を TTY デバイスから 30cm (12 インチ) 以上離す必要があります。ES400 と TTY デバイスの距離が近すぎると、エラー率が高くなる場合があります。

ES400 を TTY モードに設定しているとき、ES400 は TTY デバイスが接続されている場合は常にそのモードで動作します。

- **Headset** (ヘッドセット) - ヘッドセットを使用して、TTY 文字を送受信します。
- **VCO** - TTY 文字を受信しますが、送信はマイクで話すことによって行います。
- **HCO** - TTY 文字を送信しますが、受信はイヤークラスで聞くことによって行います。
- **Off** (オフ) - TTY 機能を無効にします。

HAC

[Turn Hearing Aide Compatibility] (補聴器互換性) (HAC) をオンおよびオフにします。

第5章 WLAN の使用

はじめに


WLAN を使用すると、ES400 で屋内でも無線で通信できるようになります。WLAN で ES400 を使用するには、WLAN を実行するために必要なハードウェア (インフラストラクチャとも呼ばれる) を施設に設定する必要があります。この通信を有効にするには、インフラストラクチャと ES400 を正しく設定する必要があります。

インフラストラクチャの設定方法については、インフラストラクチャ (アクセス ポイント (AP)、アクセス ポート、スイッチ、Radius サーバーなど) に付属しているマニュアルを参照してください。

インフラストラクチャを設定し、選択した WLAN セキュリティ方式を適用したら、Fusion ソフトウェアまたは Wireless Zero Config (WZC) ソフトウェアを使用して、有効な WLAN を検索できるように ES400 を設定してください。

Fusion の概要

Fusion ソフトウェアには、無線プロファイルを作成するアプリケーションが含まれています。各プロファイルでは、ESSID で識別された特定の WLAN に接続するためのセキュリティ パラメータを指定します。また、Fusion ソフトウェアでは、一連のプロファイルの中から接続に使用するプロファイルを管理することもできます。その他の Fusion アプリケーションでは、現在の WLAN の接続ステータスを監視し、トラブルシューティングのための診断ツールを起動することができます。

Fusion にアクセスするには、ステータス バーの  をタップします。

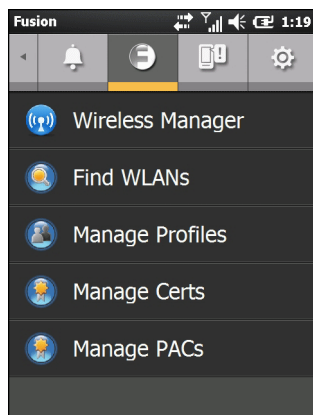



図 5-1 ステータス - Fusion タブ

Fusion の使用方法と設定の詳細については、『Wireless Fusion Enterprise Mobility Suite User Guide for Version 3.20』を参照してください。


オンデバイスの Fusion ヘルプにアクセスするには、ステータス バー >  > [Help] (ヘルプ) の順にタップします。

Wireless Zero Config の概要


WZC は、ユーザーの設定やさまざまなデフォルト設定に基づいて、接続先の無線ネットワークを動的に選択する、Microsoft の無線接続管理ユーティリティです。

Fusion と WZC を切り替える

Fusion から WZC に切り替えるには、次の操作を行います。

1. ステータス バー >  > [Options] (オプション) の順にタップします。
2. ドロップダウン リストから [WLAN Management] (WLAN 管理) を選択します。
3. [Windows Manages WLAN] (Windows で WLAN を管理する) ラジオ ボタンを選択します。
4. [Save] (保存) をタップします。
5. [OK] をタップします。
6. リポートします。

WZC から Fusion に切り替えるには、次の操作を行います。

1. ステータス バー >  > [Options] (オプション) の順にタップします。
2. ドロップダウン リストから [WLAN Management] (WLAN 管理) を選択します。
3. [Fusion Manages WLAN] (Fusion で WLAN を管理する) ラジオ ボタンを選択します。
4. [Save] (保存) をタップしてから [OK] をタップします。
5. リポートします。

サポートしているアプリケーション

表 5-1 は、Fusion のメニュー項目と対応するアプリケーションについてまとめたものです。

表 5-1 サポートしているアプリケーション

アプリケーション	説明	Fusion サポート	WZC サポート
Wireless Manager (無線マネージャ)	Wireless Manager (無線マネージャ) アプリケーションを開きます。	はい	はい
Find WLANs (WLAN の検出)	通信圏内で有効な WLAN の一覧を表示する Find WLAN (WLAN の検出) アプリケーションを起動します。	はい	いいえ

表 5-1 サポートしているアプリケーション (続き)

アプリケーション	説明	Fusion サポート	WZC サポート
Manage Profiles (プロファイルの管理)	WLAN プロファイルの管理および編集を行う Manage Profiles (プロファイルの管理) アプリケーション (プロファイル編集ウィザードを含む) を起動します。	はい	いいえ
Wireless Zero Config	WLAN を設定する Wireless Zero Config アプリケーションを起動します。	いいえ	はい
Manage Certs (証明書管理)	認証に使用する証明書を管理できる Manage Certs (証明書の管理) アプリケーションを起動します。	はい	はい
Manage PACs (PAC の管理)	EAP-FAST 認証に使用する Protected Access Credentials の一覧を管理できる PAC Manager (PAC マネージャ) アプリケーションを起動します。	はい	いいえ
Options (オプション)	Fusion のオプションを設定できる Options (オプション) アプリケーションを起動します。	はい	はい
Wireless Status (無線ステータス)	現在の無線接続のステータスを表示できる Wireless Status (無線ステータス) アプリケーションを起動します。	はい	はい
Wireless Diagnostics (無線の診断)	無線接続時の問題を診断するツールを提供する Wireless Diagnostics (無線の診断) アプリケーションを起動します。	はい	はい
Log On/Off (ログオン/オフ)	特定のプロファイルにログオンしたり、現在アクティブになっているプロファイルからログオフしたりできる [Network Login] (ネットワーク ログイン) ダイアログを表示します。	はい	いいえ


Fusion のセットアップ

Fusion を使用して WLAN を詳細にセットアップする場合、Fusion の使用と設定の方法について、『Wireless Fusion Enterprise Mobility Suite User Guide for Version 3.20』を参照してください。

Fusion を使用して WLAN をセットアップするには、次の操作を行います。

✓ **注** システム管理者から適切な WLAN の設定情報を入手してから、Fusion のセットアップ手順を実行してください。

次のセットアップ手順は、WEP 暗号化を使用した WLAN のセットアップの一例です。

1. ステータス バー >  > **[Manage Profiles]** (プロファイルの管理) の順にタップします。**[Manage Profiles]** (プロファイルの管理) ウィンドウが表示されます。
2. ウィンドウをタップしたままにして、ポップアップメニューから **[Add]** (追加) を選択します。**[Wireless LAN Profile Entry]** (無線 LAN プロファイル エントリ) ウィンドウが表示されます。
3. **[Profile Name]** (プロファイル名) テキスト ボックスにプロファイルの名前を入力します。
4. **[ESSID]** テキスト ボックスに該当する ESSID を入力します。

Wireless LAN Profile Entry

Profile Name:

ESSID:

1 of 6

図 5-2 プロファイル ID を設定するダイアログ ボックス

5. **[Next]** (次へ) をタップします。動作モードを設定するダイアログ ボックスが表示されます。
6. **[Operating Mode]** (動作モード) ドロップダウン リストから、**[Infrastructure]** (インフラストラクチャ) または **[Ad-hoc]** (アドホック) を選択します。

Wireless LAN Profile Entry

Operating Mode:

2 of 6

図 5-3 動作モードを設定するダイアログ ボックス

7. **[Next]** (次へ) をタップします。セキュリティ モードを設定するダイアログ ボックスが表示されます。
8. **[Security Mode]** (セキュリティ モード) ドロップダウン リストから **[Legacy (Pre-WPA)]** (従来式 (Pre-WPA)) を選択します。

Wireless LAN Profile Entry

Security Mode:

Authentication Type:

3 of 6

図 5-4 セキュリティと認証を設定するダイアログ ボックス

9. **[Authentication Type]** (認証の種類) ドロップダウン リストから **[None]** (なし) を選択します。
10. **[Next]** (次へ) をタップします。暗号化を設定するダイアログ ボックスが表示されます。
11. **[Encryption Type]** (暗号化の種類) ドロップダウン リストから **[WEP-40 (40/24)]** を選択します。

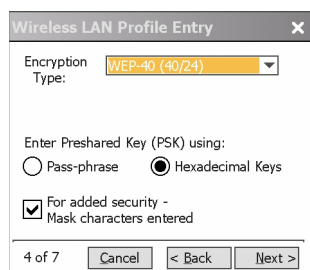


図 5-5 暗号化を設定するダイアログ ボックス

12. **[Pass-phrase]** (パスフレーズ) または **[Hexadecimal Keys]** (16 進キー) ラジオ ボタンを選択して、パスフレーズや 16 進キーを次のページに入力するかどうかを指定します。
13. **[For added security - Mask characters entered]** (追加したセキュリティの場合 - 入力した文字を非表示にする) チェック ボックスをオンにして、入力した文字を非表示にします。入力した文字を表示するには、このチェック ボックスをオフにします。
14. **[Next]** (次へ) をタップします。

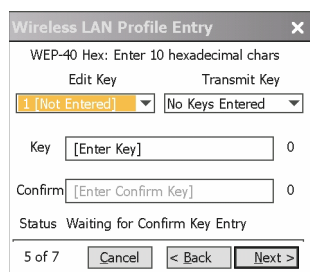


図 5-6 WEP-40 WEP キーを設定するダイアログ ボックス

15. **[Edit Key]** (キーの編集) ドロップダウン リストから、入力するキーを選択します。
16. **[Key]** (キー) フィールドに 10 桁の 16 進文字列を入力します。
17. **[Confirm]** (確認) フィールドに文字列を再入力します。キーが一致すると、一致したことを示すメッセージが表示されます。
18. WEP キーごとに手順を繰り返します。
19. **[Transmit Key]** (キーの送信) ドロップダウン リストから送信するキーを選択します。
20. **[Next]** (次へ) をタップします。IPv4 アドレス エントリを設定するダイアログ ボックスが表示されます。

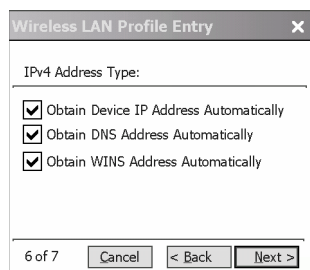


図 5-7 IP アドレス エントリを設定するダイアログ ボックス

21. 3 つのチェック ボックスがすべてオンになっていることを確認します。

22. **[Next]** (次へ) をタップします。バッテリーの使用を設定するダイアログ ボックスが表示されます。

23. **[Battery Usage Mode]** (バッテリーの使用モード) ダイアログ ボックスで、いずれかの消費電力のオプションを選択します。

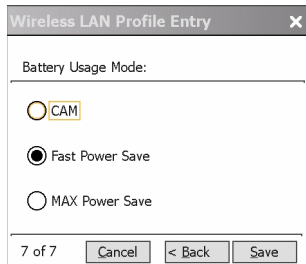


図 5-8 バッテリーの使用を設定するダイアログ ボックス

24. **[Save]** (保存) をタップします。

Wireless Zero Config のセットアップ

WZC を使用して WLAN をセットアップするには、次の手順に従います。

- ✓ **注** システム管理者から適切な WLAN の設定情報を入手してから、WZC のセットアップ手順を実行してください。
次のセットアップ手順は、WEP 暗号化を使用した場合の WLAN のセットアップの一例です。

1. ステータス バー >  > **[Wireless Zero Config]** の順にタップします。

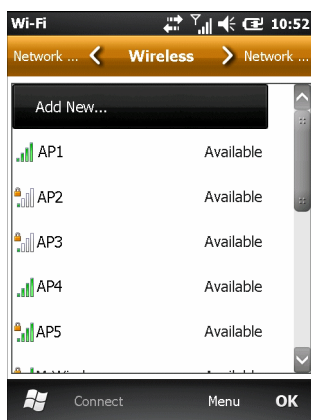


図 5-9 **[Wireless Zero Config]** ウィンドウ

- ES400 は、通信圏内の無線ネットワークを検索し、その結果をウィンドウに表示します。
- ネットワーク名をタップします。

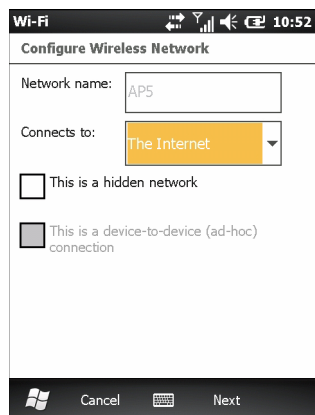


図 5-10 [Configure Wireless Network] (無線ネットワークの設定) ウィンドウ

4. **[Connects to]** (接続先) ドロップダウン リストから、**[The Internet]** (インターネット) または **[Work]** (勤務先) を選択します。
5. ネットワークが非表示のネットワークである場合は、**[This is a hidden network]** (非表示のネットワーク) チェック ボックスをオンにします。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。

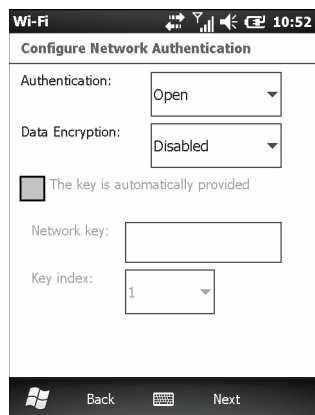


図 5-11 [Configure Network Authentication] (ネットワーク認証の設定) ウィンドウ

7. **[Authentication]** (認証) ドロップダウン リストから認証の種類を選択します。
8. **[Data Encryption]** (データの暗号化) ドロップダウン リストからデータの暗号化の種類を選択します。
9. **[WEP encryption]** (WEP 暗号化) を選択した場合は、**[Network key]** (ネットワーク キー) テキスト ボックスに暗号化キーを入力します。
10. **[Next]** (次へ) をタップします。

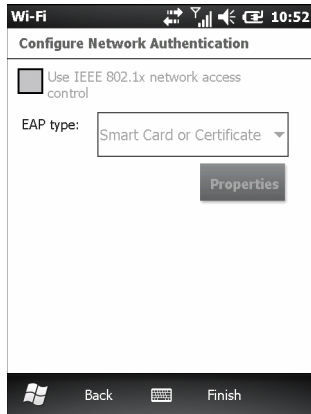


図 5-12 [Configure Network Authentication] (ネットワーク認証の設定) ウィンドウ

11. 必要に応じて、[Use IEEE 802.1x network access control] (IEEE 802.1x ネットワーク アクセス コントロールを使用) チェック ボックスをオンにします。
12. [EAP type] (EAP の種類) ドロップダウン リスト ボックスから、EAP の種類を選択します。
13. [Finish] (完了) をタップします。

WZC の詳細情報

Microsoft Wireless Zero Config の詳細については、Microsoft Software Developer Network (MSDN) (<http://msdn.microsoft.com>) を参照してください。

第6章 Messaging (メッセージ)

はじめに





この章では、電子メール、SMS メッセージング、MMS メッセージングの使用方法とセットアップについて説明します。

電子メール

メッセージングを使用して、電子メールを送受信します。



電子メール メッセージの作成

電子メール メッセージを作成するには、次の手順に従います。





1.  を押します。
2. 電子メール アカウントを選択します。
3.  > **[New]** (新規) をタップします。
4. 受信者を追加するには、電子メールをセミコロン (;) で区切って入力します。**[To]** (受信者) をタップして、**[Contacts]** (連絡先) に保存された電子メール アドレスを追加します。
5. 件名を入力して、メッセージを作成します。
6. メッセージに添付ファイルを追加するには、 > **[Insert]** (挿入) をタップして、**[Picture]** (画像)、**[Voice Note]** (ボイス メモ) または **[File]** (ファイル) などの添付する項目をタップします。
7.  をタップします。

電子メール メッセージの表示

電子メール メッセージを表示するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面で、Outlook メールの場合は  **9** を、個人の電子メール アカウントの場合は  **1** をタップします。
2. 電子メールをタップして開きます。

メッセージの返信または転送





1. ホーム画面で、Outlook メールの場合は  を、個人の電子メール アカウントの場合は  をタップします。
2. 電子メールをタップして開きます。
3.  をタップします。
4. 返信メッセージを入力して、 をタップします。

SMS メッセージング

テキストメッセージを使用して、その他のモバイル デバイス間と短いテキストメッセージ (SMS) を送受信できます。テキストで使用できるのは、160 文字以内の文字、数字、または英数字の組み合わせです。

テキストメッセージの送信

テキストメッセージを送信するには、次の手順に従います。

1.  > **[Text Messages]** (テキストメッセージ) を押します。
2.  > **[New]** (新規) > **[SMS]** をタップします。
3. **[To]** (受信者) をタップして、**[Contacts]** (連絡先) から受信者を選択します。
4. メッセージを作成します。
 - オートコレクト機能により、メッセージの入力時に一般的なスペルミスが自動的に修正されるため、正確なメッセージを作成できます。
 - ステータス バーの文字カウンタは、作成しているメッセージのサイズを示します。
 -  > **[Message Options]** (メッセージ オプション) をタップして、**[Request message delivery notification]** (メッセージの配信通知を要求する) チェック ボックスをオンにして、テキストメッセージを受信するときの通知を要求します。
5.  をタップして、メッセージを送信します。

ES400 の電話機能がオンの場合、テキストメッセージが送信されます。オフの場合は、電話機能をオンにするようプロンプトが表示されます。メッセージは、**[Drafts]** (下書き) フォルダに保存され、ES400 の電話機能がオンになったときに送信されます。

ネットワークの圏外にいる場合は、メッセージは **[Drafts]** (下書き) フォルダに保存され、圏内に戻ったときに送信されます。

テキストメッセージの表示

着信テキストメッセージが届いたとき、テキスト通知アイコンがステータス バーに表示され、ダイアログ ボックスが表示されます。

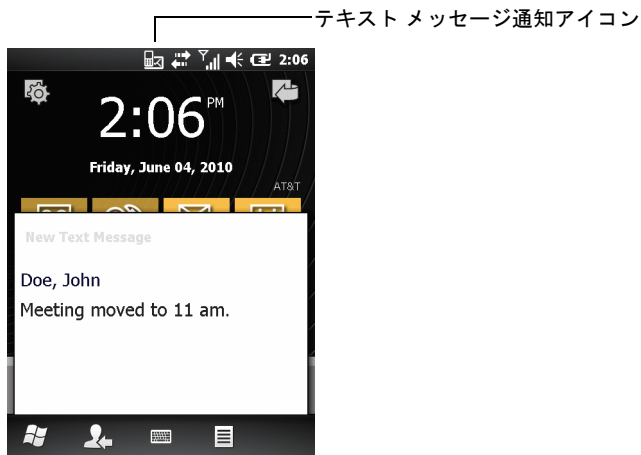





図 6-1 新規テキストメッセージの通知



[Caller Identification] (発信者識別) 機能は、着信テキストメッセージ番号と **[Contacts]** (連絡先) に保存されている番号を照合して、メッセージの送信者を表示します。メッセージに返信するには、 をタップします。送信者に発信したり、メッセージを保存、拒否、削除したりするには、 をタップします。

テキストメッセージを表示するには、次の手順に従います。

1.  > **[Text Messages]** (テキストメッセージ) を押します。
2. メッセージリストでテキストメッセージをタップします。ウィンドウに以前のテキスト会話が表示されます。

SMS メッセージへの返信

テキストメッセージに返信するには、次の手順に従います。



1.  をタップします。
2. メッセージリストでテキストメッセージをタップします。ウィンドウに以前のテキスト会話が表示されます。
3. 応答フィールドにテキストを入力します。
4.  をタップします。

MMS メッセージング

MMS メッセージングにより、画像、ビデオ、オーディオ ファイル、その他の種類のファイルを別の電話に送信できます。

MMS メッセージの作成と送信

MMS メッセージを送信するには、次の手順に従います。

1.  > **[Text Messages]** (テキスト メッセージ) を押します。
2.  > **[New]** (新規) > **[MMS]** をタップします。

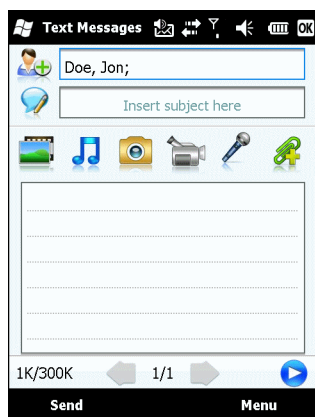











図 6-2 MMS ウィンドウ

3. 連絡先を追加するには、 をタップします。連絡先の一覧のウィンドウが表示されます。1 つまたは複数の連絡先を選択して、**[Done]** (完了) をタップします。
4.  をタップして、メッセージの件名を追加します。ウィンドウに件名のテキストを入力して、**[Done]** (完了) をタップします。
5. テキスト ウィンドウ内をタップして、テキスト メッセージを入力します。ウィンドウが表示されて、テキスト メッセージのほか、顔文字、お気に入りの Web アドレス、定義済みテキスト、連絡先情報、カレンダー情報を入力できます。情報を追加後、**[Done]** (完了) をタップします。
6. ES400 に保存された画像やビデオをメッセージに添付するには、 をタップします。
7. ES400 に保存されたサウンド ファイルをメッセージに添付するには、 をタップします。
8. 画像を撮影してメッセージに添付するには、 をタップします。
9. ビデオを取り込んでメッセージに添付するには、 をタップします。
10. メッセージを録音してメッセージに添付するには、 をタップします。
11. ES400 に保存されたファイルをメッセージに添付するには、 をタップします。
12. すべてのアイテムをメッセージに添付したら、**[Send]** (送信) をタップします。

MMS メッセージの表示

MMS メッセージを表示するには、次の手順に従います。


1.  > **[Text Messages]** (テキスト メッセージ) を押します。
2. MMS メッセージをタップします。
3. メッセージのスレッドで、MMS アイコンをタップしてメッセージを表示します。
4. **[Contents]** (コンテンツ) をタップして、メッセージに含まれるファイルの一覧を表示します。

[Message Contents] (メッセージ コンテンツ) 画面で、次の操作を実行します。

1. ファイルを保存するには、**[Menu]** (メニュー) > **[Save]** (保存) をタップします。
2. テキスト ファイルのコンテンツを **[My Text]** (マイ テキスト) リストに保存するには、**[Menu]** (メニュー) > **[Save into My Text]** (マイ テキストへの保存) をタップします。
3. 写真を連絡先に関連付けるには、**[Menu]** (メニュー) > **[Assign to Contact]** (連絡先への割り当て) をタップします。
4. オーディオ ファイルを呼び出しトーンに関連付けるには、**[Menu]** (メニュー) > **[Set as Ringtone]** (呼び出しトーンとして設定) をタップします。

MMS メッセージへの返信

MMS メッセージに返信するには、次の手順に従います。

1.  > **[Text Messages]** (テキスト メッセージ) を押します。
2. MMS メッセージをタップします。
3. メッセージのスレッドで、MMS メッセージをタップして、MMS メッセージを開いて表示します。
4. MMS メッセージを表示してから、**[Menu]** (メニュー) > **[Reply]** (返信) > **[via MMS]** (MMS 経由) をタップして MMS メッセージで返信するか、**[Menu]** (メニュー) > **[Reply]** (返信) > **[via SMS]** (SMS 経由) をタップしてテキスト メッセージで返信します。

MMS メッセージ着信のブロック

特定の送信者からの MMS メッセージ着信をブロックするには、次の手順に従います。

1. MMS メッセージを開いて表示します。
2. **[Menu]** (メニュー) > **[Show]** (表示) > **[Contact Details]** (連絡先の詳細) をタップします。
3. **[Menu]** (メニュー) > **[Save to Blacklist]** (ブラックリストに保存) をタップします。
4. **[Done]** (完了) をタップします。

送信者のブロックを解除するには、次の手順に従います。

1. **[My Apps]** (マイ アプリケーション) > **[Text]** (テキスト) をタップします。
2. **[Menu]** (メニュー) > **[MMS Options]** (MMS オプション) > **[Blacklist]** (ブラックリスト) をタップします。
3. 電話番号をタップしたままにします。
4. ポップアップメニューから **[Delete]** (削除) を選択します。
5. **[OK]** をタップします。

第7章 データ収集

はじめに

ES400 には、カラー デジタル カメラを使用したデータ収集機能があります。

デジタル カメラによるスキャン

カメラは、デジタル カメラの技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。ES400 には、ユーザーがカメラでバーコード データをデコードしたり、バーコード コンテンツを表示したりできる、**DataWedge** アプリケーションがあります。


1. **DataWedge** を有効にします。7-2 ページの「**DataWedge**」を参照してください。
2. **Word Mobile 2010** または **Excel Mobile 2010** などのテキスト入力をサポートするアプリケーションを起動します。
3. ES400 の背面にあるカメラのレンズをバーコードに向けます。
4.  を押し続けます。ディスプレイ ウィンドウにプレビュー ウィンドウが表示され、赤い照準ラインが ES400 から照射されます。赤い LED ライトはデータ収集中であることを示します。
5. 赤い照準ラインがバーコード全体を照射するように ES400 を動かします。



図 7-1 サンプル バーコード

6. LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

DataWedge

DataWedge を使用して、収集したバーコード データをアプリケーションのテキスト フィールドに入力できます。

- ✓ 注 DataWedge が有効な場合、ES400 の右側にあるカメラ ボタンでデータ収集ができます。データ収集機能の使用後は、DataWedge を無効にして、カメラ ボタンをデフォルト設定の機能に戻します。

DataWedge を有効にするには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[DataWedge]** (DataWedge) をタップします。
2. **[Running]** (実行中) オプションをタップして、DataWedge プロセスを開始します。DataWedge ステータスが **[Ready]** (対応) に変わります。
3. **[OK]** をタップします。

DataWedge を無効にするには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[DataWedge]** をタップします。
2. **[Running]** (実行中) オプションをタップして、DataWedge プロセスを終了します。DataWedge ステータスが **[Stopped]** (停止) に変わります。
3. **[OK]** をタップします。

第8章 カメラの使用

はじめに

カメラアプリケーションを使用して、画像を撮影したりビデオを録画したりできます。画像やビデオは **Gallery** (ギャラリー) アプリケーションに自動的に保存され、ユーザーにより表示したり編集したりできます。デフォルト設定では、撮影した画像またはビデオは JPEG または 3GP ファイルで保存されます。

写真を撮る

ES400 の右下側面にあるカメラ ボタンを押します。

カメラ画面にビュー ファインダが表示されます。最後に使用したモードに従って、[Camera] (カメラ) モードまたは [Video] (ビデオ) モードが有効になっています。右上のアイコンがモードを示しています。[Video] (ビデオ) モードが有効になっている場合は、画面の任意の場所をタップしてステータス バーを表示し、Camera (カメラ) アイコンをタップします。



図 8-1 カメラ ビュー ファインダ

写真を撮るには、次の手順に従います。

1. ES400 を被写体に向けます。
2. ES400 の側面にある [Camera] (カメラ) ボタンまたは光学ナビゲーションパッドを押します。撮影された写真はメモリに保存されます。

パノラマ写真を撮影するには、次の手順に従います。

✓ 注 パノラマ写真は屋外の方がきれいに撮影できます。

1. **[Menu]** (メニュー) > **[Panorama]** (パノラマ) をタップし、**[Horizontal]** (水平) または **[Vertical]** (垂直) を選択して、**[Close]** (閉じる) をタップします。
2. ES400 を被写体に向けます。
3. ES400 の側面にある **[Camera]** (カメラ) ボタンまたは光学ナビゲーションパッドを押します。撮影された画面に2つの調整ターゲットが表示されます。

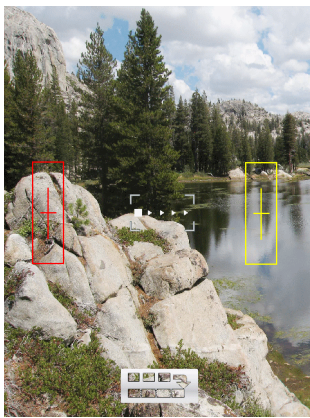


図 8-2 パノラマ調整ターゲット

4. 2つの調整ターゲットが重なり緑色に変わるまで ES400 をゆっくりと右に動かします。緑色に変わったら、もう1枚写真が撮影されます。

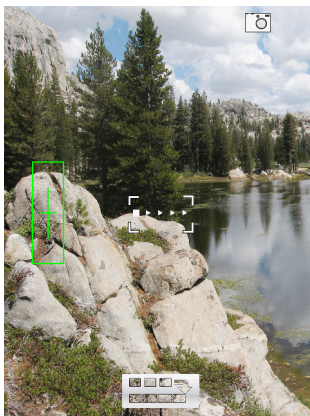


図 8-3 調整が成功した場合

5. 5枚の写真が撮影されるまで続行します。5枚の画像は1つに結合され、パノラマ写真がメモリに保存されます。
5枚の画像が撮影される前、または結合された写真の品質に問題がある場合、画面の下のアイコンをタップして結合を停止します。

カメラの設定

画面上の任意の場所をタップすると、カメラのステータスバーおよびコントロールバーが表示されます。画面上部のステータスバーには、カメラの設定情報が表示されます。画面下部のコントロールバーには、カメラを制御する機能ボタンが表示されます。



図 8-4 カメラの設定ビュー

[Camera] (カメラ) メニューのオプション

[Camera] (カメラ) メニューでカメラの設定を行います。

Size/Quality (サイズ/品質) 設定

[Size/Quality] (サイズ/品質) 設定を使用して、画像のサイズと品質を設定します。[Size/Quality] (サイズ/品質) オプションをタップして、[Size/Quality] (サイズ/品質) ウィンドウを開きます。

画像のサイズを設定するには、3 つの黄色い [Size] (サイズ) ボックスから 1 つを選択します。画像は 3 つのサイズに設定できます。

- 1.3 メガピクセル (1280 ピクセル x 1024 ピクセル)
- 2 メガピクセル (1600 ピクセル x 1200 ピクセル)
- 3.2 メガピクセル (2048 ピクセル x 1536 ピクセル)

画像の品質を設定するには、3つの黄色い **[Quality]** (品質) ボックスから1つを選択します。画像は、**[Low]** (低)、**[Medium]** (中)、**[High]** (高) の3つの品質に設定できます。

画像のサイズと品質を上げると、ES400 に保存されるファイルのサイズも大きくなります。ファイルのサイズは、**[Quality]** (品質) ボックスの下に表示されます。また、ES400 に保存できる画像の枚数も表示されます。

Panorama (パノラマ)

[Panorama] (パノラマ) オプションでは、カメラでパノラマ写真を撮影できます。パノラマ機能により、複数の写真を結合して、1枚のワイド画像を作成できます。結合は、撮影時にカメラで行われます。

[Panorama] (パノラマ) オプション ウィンドウを開くには、**[Panorama]** (パノラマ) オプションをタップします。次のうちから1つを選択します。

Off (オフ) - パノラマ機能を無効にします。

Horizontal (水平) - ES400 を右に動かしてパノラマ写真を作成します。

Vertical (垂直) - ES400 を下に動かしてパノラマ写真を作成します。

[Panorama] (パノラマ) モードでは、撮影セッションで作成されるワイド画像に比例して、中心の十字も横に長くなります。

Timer (タイマ)

[Timer] (タイマ) オプションでは、シャッターを押してから画像を取り込むまでの時間を設定できます。オプションは、**[Off]** (オフ)、**[5 Sec]** (5 秒)、**[10 Sec]** (10 秒)、**[15 Sec]** (15 秒)、**[20 Sec]** (20 秒) です。

Advanced (詳細)

[Advanced] (詳細) オプションでは、カメラの詳細オプションを設定します。

- **Workflow** (ワークフロー) - **[Workflow]** (ワークフロー) オプションでは、画像を撮影する場合のカメラの動作をカスタマイズできます。
- **Continuous** (連続) - 撮影したばかりの写真は表示されません。
- **Preview** (プレビュー) - 写真撮影の後、**[Camera]** (カメラ) モードに戻る前に短時間表示されます。プレビュー中に画像をタップすると、画像ビューアー モードに入ることができます。
- **Edit** (編集) - 写真撮影の後、画像ビューアー モードになり、画像を編集できます。


✓ 注 **[Preview]** (プレビュー) モードおよび **[Edit]** (編集) モードでカメラ ボタンを押すと、**[Image Capture]** (画像読み取り) モードに戻ります。

- **Comment prompt** (コメント プロンプト) - 特定の画像または画像グループにコメントが入力されていないことを示すリマインダをオンにします。

[After each photo] (各写真の後) が有効な場合、Quick Review (クイック レビュー) および画像ビューアーで、ステータス バーに **Edit** (編集) アイコンが表示されます。**Edit** (編集) アイコンをタップして、**[Photo Info]** (写真情報) ウィンドウを開きます。

[When exiting] (終了時) が有効な場合、終了前にコメントを入力するよう促すダイアログ ボックスが表示されます。

- **GPS location (GPS の場所)** - GPS の座標を使用して、写真に緯度および経度の座標をタグ付けできます。Camera (カメラ) アプリケーションは GPS および WAN の三角法を使用して、これらの座標を取得します。

この機能が有効であっても、ES400 が GPS および WAN 三角法から座標を取得できない場合は、GPS 信号がないことを示すアイコン  がステータス バーに表示されます。また、**[Comment Prompts]** (コメント プロンプト) > **[After Each Photo]** (各写真の後) を使用できない場合は、座標データが保存されていないことを通知する場所プロンプトが、クイック レビュー中にステータス バーに表示されます。

[Advanced] (詳細) メニューの GPS 座標エレメントをクリックすることにより、GPS 座標機能を有効および無効にできます。

- **Storage (ストレージ)** - このオプションにより、画像を ES400 の内蔵メモリまたは microSD カードに保存できます。**[Storage]** (ストレージ) オプションをタップして、**[Device]** (デバイス) または **[SD Card]** (SD カード) を選択します。同じ機能は、**[Video Capture]** (ビデオの取り込み) メニューにも存在します。これらの機能は、個別に設定できるため、画像を ES400 のメモリに、ビデオを microSD カードに分けて保存することができます。
- **[time/date stamp]** (時刻/日付スタンプ) - このオプションにより、時刻と日付のスタンプを画像の右下に常時表示することができます。このスタンプは、メタデータに表示される時刻および日付とは区別されます。**[time/date stamp]** (時刻/日付スタンプ) をタップして、この機能のオン/オフを切り替えます。

バージョン情報

ソフトウェアのバージョンとエンドユーザー使用許諾契約を表示します。

ビデオの録画

最後に使用されたモードにより、[Camera] (カメラ) モードまたは [Video] (ビデオ) モードが有効になっています。右上のアイコンがモードを示しています。[Camera] (カメラ) モードが有効になっている場合、画面の任意の場所をタップしてステータス バーを表示し、Video (ビデオ) アイコンをタップします。

ビデオを録画するには、次の手順に従います。

1. ES400 を被写体に向けます。
2. ES400 の側面にあるカメラ ボタンまたは光学ナビゲーション パッドを押します。録画が開始され、画面の上部にビデオの実行時間を示すタイマが表示されます。
3. カメラ ボタンまたは光学ナビゲーション パッドを押して、録画を終了し、メモリに保存します。

ビデオの設定

画面上部のステータス バーにビデオ設定情報が表示されます。画面下部のコントロール バーにはビデオを制御する機能ボタンが表示されます。



図 8-5 ビデオの設定

[Video] (ビデオ) メニューのオプション

[Video] (ビデオ) メニューを使用して、ビデオ設定を行います。

Quality (品質)

[Quality] (品質) オプションでは、以下のビデオ取り込みの解像度を設定します。

- **QCIF** - QCIF (Quarter Common Intermediate Format) は、データ レートが 30 フレーム/秒のビデオ形式で、各フレームは 176 x 144 ピクセルで構成されています。
- **QVGA** - QVGA (Quarter-VGA) は、320 x 240 ピクセルまたは 240 x 320 ピクセルの画面解像度です。QVGA は、ほとんどの携帯電話のビデオ取り込みで使用されている一般的な解像度です。
- **VGA** - VGA (Video Graphics Array) は、640 x 480 (16 色) または 320 x 200 (256 色) の画像解像度です。色パレットの合計は、262,144 色です。

Format (形式)

[Format] (形式) オプションでは、ビデオを録画する形式を設定します。[MP4] または [3GP] があります。

Time/Date stamp (時刻/日付スタンプ)

[Time/Date stamp] (時刻/日付スタンプ) オプションでは、ビデオ ファイルに時刻と日付のスタンプを追加します。

Storage (ストレージ)

このオプションにより、画像を ES400 の内蔵メモリまたは microSD カードに保存できます。同じ機能は、[Photo] (写真) メニューにも存在します。これらの機能は、個別に設定できるため、画像を ES400 のメモリに、ビデオを microSD カードに分けて保存することができます。

バージョン情報

ソフトウェアのバージョンとエンドユーザー使用許諾契約を表示します。

画像とビデオを表示する

[Gallery] (ギャラリー) では、ES400 に保存した画像やビデオを表示します。

ES400 の側面にあるカメラ ボタンを押します。画面をタップして、コントロールバーを表示し、次に Gallery (ギャラリー) アイコンをタップします。

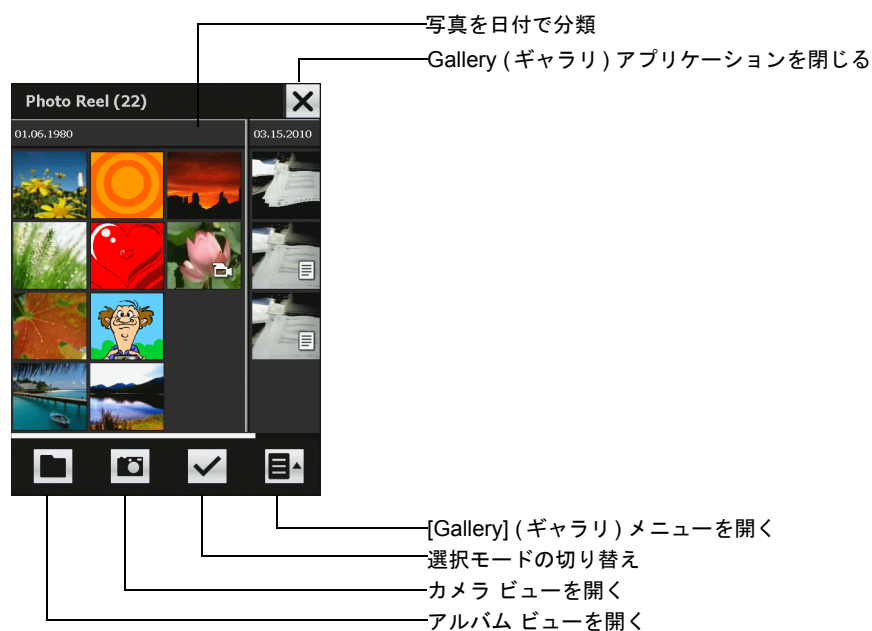


図 8-6 Gallery (ギャラリー) アプリケーション

[Gallery] (ギャラリー) のデフォルト ビューでは、日付ごとにサムネイルが表示されています。その他のサムネイルを表示するには、ディスプレイを左にスライドします。

Albums (アルバム)

Albums (アルバム) アイコンをタップすると、アルバム ビューが表示されます。

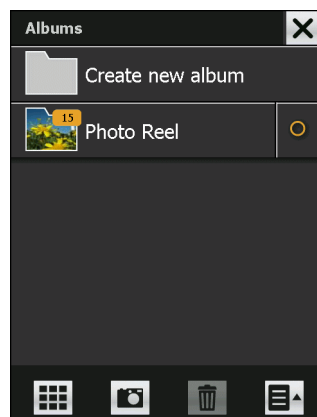


図 8-7 アルバム ビュー

新しいアルバムを作成するには、[Create new Album] (アルバムの新規作成) をタップします。

新しいアルバムの名前を入力して、**[Save]** (保存) をタップします。

アルバム内の画像を表示するには、アルバムの名前をタップします。

モードの選択

[Gallery] (ギャラリー) から 1 つまたは複数のサムネイルを選択できます。選択すると、メニュー オプションが変更され、画像またはビデオに対して実行できる操作が表示されます。

次のセクションでは、サムネイルを選択したときに使用可能になるメニュー オプションの詳細について説明します。

[Selection Mode] (選択モード) に入るには、[Gallery] (ギャラリー) インタフェースで **Selection** (選択) アイコンをタップします。アイコンをタップすると、サムネイルをクリックして選択できるようになります。サムネイルを選択すると色が変わります。

[Thumbnail] (サムネイル) メニュー

1 つまたは複数の項目を選択してから、Menu (メニュー) アイコンをタップします。

- **View/Edit Info** (情報の表示 / 編集) - **[View/Edit Info]** (情報の表示 / 編集) をタップして、選択した項目に位置情報とコメントを追加します。終了したら、**[Save]** (保存) をタップします。
- **Send** (送信) - **[Send]** (送信) をタップして、電子メールまたは MMS メッセージングを使用して選択した項目を送信します。

[Via e-mail] (電子メール経由) を選択して、電子メールから選択した項目を送信します。電子メールメッセージが作成されるので、受信者の電子メール アドレスを入力して、**[Send]** (送信) をタップします。

[Via MMS] (MMS 経由) を選択して、MMS メッセージングから選択した項目を送信します。MMS メッセージング ウィンドウが表示されます。MMS メッセージの作成については、[6-4 ページの「MMS メッセージング」](#)を参照してください。

- **Move to Album** (アルバムへ移動) - **[Move to album]** (アルバムへ移動) をタップして、選択した項目を別のアルバムへ移動します。リストから、項目の移動先のアルバムを選択します。項目は自動的に新しいアルバムに移動されます。
- **Delete** (削除) - **[Delete]** (削除) をタップして、メモリから選択した項目を削除します。

[Gallery] (ギャラリー) メニュー

[Gallery] (ギャラリー) メニューを使用してギャラリーを設定します。

- **Sort by** (分類条件) - 各アルバム内で、日付 (デフォルト)、位置、サイズ、撮影者、画像名、アルバム名 ([Photo Reel] (写真リール) のみ) のいずれかの条件でサムネイルを分類できます。
- **Filter by** (フィルタ条件) - メディアをフィルタできます。**[All Media]** (すべてのメディア) (デフォルト)、**[Images Only]** (画像のみ) または **[Video Only]** (ビデオのみ) を選択します。
- **About** (バージョン情報) - **[Gallery]** (ギャラリー) のエンドユーザー使用許諾契約を表示します。

Image Viewer (画像ビューアー)

画像を表示するには、[Gallery] (ギャラリー) の画像サムネイルをタップします。画像は、[Image Viewer] (画像ビューアー) で開きます。

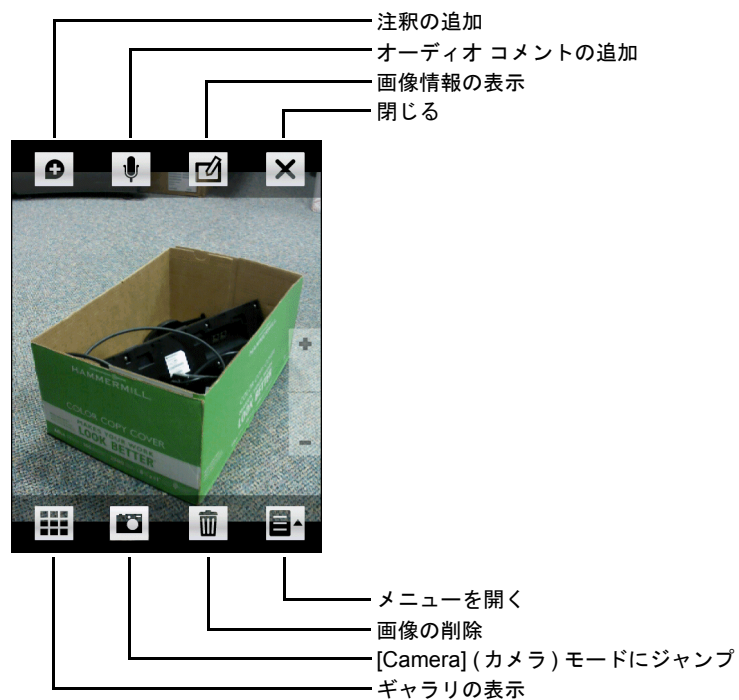


図 8-8 Image Viewer (画像ビューアー)

画面をタップして、画面上部にステータスバーを、画面下部にコントロールバーを表示します。

画像への注釈の追加

画像に常時マークを付けておくことができます。

1. 画面をタップして、ステータスバーを表示します。
2. Annotation (注釈) アイコンをタップします。

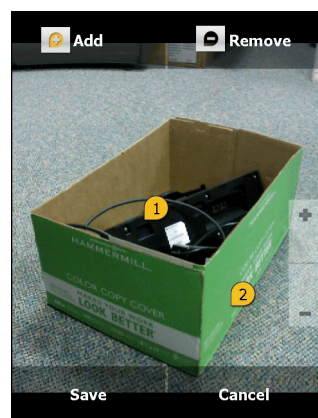


図 8-9 注釈の追加

3. マークを追加するには、**[Add]** (追加) をタップしてから、画像の特定の位置をタップします。数字の 1 の付いたマークが表示されます。マークは必要な数だけ追加できます。

4. マークを削除するには、**[Remove]** (削除) をタップしてから、画像上のマークの 1 つをタップします。
5. **[Save]** (保存) をタップしてマーク付きの画像を保存するか、**[Cancel]** (キャンセル) をタップしてマークを破棄します。画像を 1 回保存すると、マークは画像に埋め込まれ、編集できなくなります。

オーディオ コメント

画像にオーディオ コメントを追加できます。

1. 画面をタップして、ステータス バーを表示します。
2. **Audio Comment** (オーディオ コメント) アイコンをタップします。
3. **[Record]** (録音) ボタンをタップし、マイクに向かって話します。終了したら、**[End]** (終了) ボタンをタップします。
4. 録音された音声を聞くには、**[Play]** (再生) ボタンをタップします。音声録音を削除するには、**Delete** (削除) アイコンをタップします。
5. **[Save]** (保存) をタップして音声録音を画像に追加するか、**[Cancel]** (キャンセル) をタップして録音を破棄します。

画像情報の表示または編集

画像情報を表示または編集するには、次の手順に従います。

Info (情報) アイコンをタップします。

情報を編集するには、テキスト ボックスをタップして、データを入力します。

[Save] (保存) をタップしてデータを保存するか、**[Cancel]** (キャンセル) をタップしてデータを保存せずに閉じます。

[Image] (画像) メニュー

[Image] (画像) メニューでは、画像を他の人に送ったり、別のフォルダに移動したりする場合の設定や、注釈の設定を行うことができます。

- **Send (送信) - [Send]** (送信) をタップして、電子メールまたは MMS メッセージングを使用して画像を送信します。
[Via e-mail] (電子メール経由) を選択して、画像を電子メールで送信します。電子メール メッセージが作成されるので、受信者の電子メール アドレスを入力して、**[Send]** (送信) をタップします。
[Via MMS] (MMS 経由) を選択して、画像を MMS メッセージングで送信します。MMS メッセージング ウィンドウが表示されます。MMS メッセージの作成については、[6-4 ページの「MMS メッセージング」](#)を参照してください。
- **Move to Album (アルバムへ移動) - [Move to album]** (アルバムへ移動) をタップして、画像を別のアルバムへ移動します。リストから、画像の移動先のアルバムを選択します。画像は自動的に新しいアルバムに移動されます。
- **Annotation Settings (注釈の設定) - 注釈付きの項目のバックアップ オプションを設定します。**
 - **Backup Original (オリジナルのバックアップ)** - オンにすると、マークの付いていないオリジナルの画像のバックアップ コピーを自動的に作成します。
 - **Add Suffix to (サフィックスの追加)** - マークの付いていないオリジナル画像や注釈マークの付いた新しい画像のファイル名に、サフィックスを追加できます。**[marked]** (マーク済) がデフォルト設定です。
 - **Suffix Field (サフィックス フィールド)** - マーク済またはオリジナルの画像に追加するサフィックスをカスタマイズします。

Video Viewer (ビデオビューアー)

ビデオを表示するには、[Gallery] (ギャラリー) のビデオ サムネイルをタップします。ビデオが、[Video Viewer] (ビデオビューアー) で開きます。

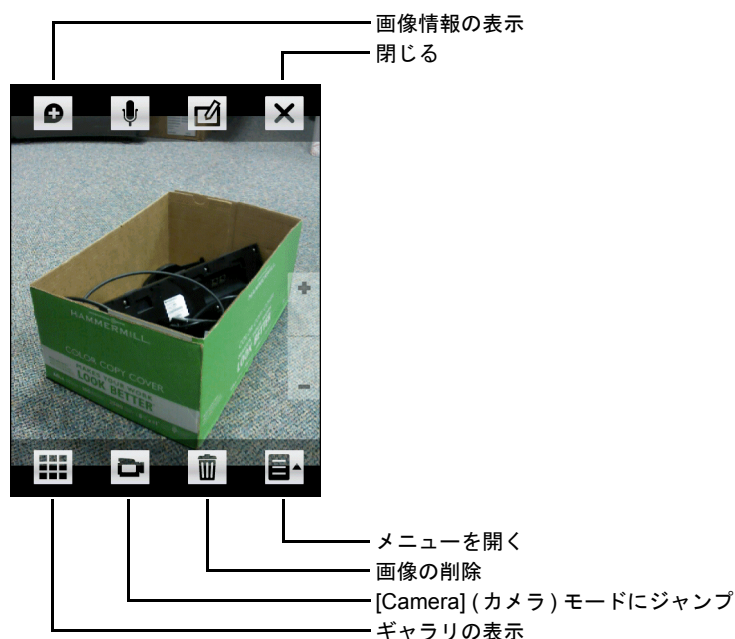


図 8-10 Image Viewer (画像ビューアー)

画面をタップして、画面上部にステータスバーを、画面下部にコントロールバーを表示します。6 秒間非アクティブになっていると、バーが非表示になります。

ビデオ情報の表示または編集

ビデオ情報を表示または編集するには、次の手順に従います。

1. Info (情報) アイコンをタップします。
2. 情報を編集するには、テキストボックスをタップして、データを入力します。
3. **[Save]** (保存) をタップしてデータを保存するか、**[Cancel]** (キャンセル) をタップしてデータを保存せずに閉じます。

[Video] (ビデオ) メニュー

[Image] (画像) メニューでは、画像を他の人に送ったり、別のフォルダに移動したりする場合の設定や、注釈の設定を行うことができます。

- **Send (送信)** - **[Send]** (送信) をタップして、電子メールまたは MMS メッセージングを使用して画像を送信します。

[Via e-mail] (電子メール経由) を選択して、画像を電子メールで送信します。電子メールメッセージが作成されるので、受信者の電子メールアドレスを入力して、**[Send]** (送信) をタップします。

[Via MMS] (MMS 経由) を選択して、画像を MMS メッセージングで送信します。MMS メッセージングウィンドウが表示されます。MMS メッセージの作成については、[6-4 ページの「MMS メッセージング」](#)を参照してください。

- **Move to Album (アルバムへ移動) - [Move to album] (アルバムへ移動)** をタップして、画像を別のアルバムへ移動します。リストから、画像の移動先のアルバムを選択します。画像は自動的に新しいアルバムに移動されます。

第9章 Bluetooth

はじめに

Bluetooth を装備しているデバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS: frequency-hopping spread spectrum) 無線周波数 (RF: radio frequency) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM: Industry Scientific and Medical) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信をすることができます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/30 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 搭載の ES400 は、プリンタやアクセス ポイント、他の Enterprise Smart Phone などのデバイスと、ファイル、予定、タスクなどの情報交換ができます。ES400 をモデムとして使用するには、コンピュータと ES400 間でダイヤルアップ モデム接続を確立します。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続を確立したり、検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションで構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップシーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、Motorola 製のエンタープライズ スマート フォンはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

ES400 の Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 32.8 フィート (10m) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖されたオフィス空間) によって左右されるため、パワークラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。



注 802.11b での高速な動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティメカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしたデバイスの共通 PIN 番号を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN 番号は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN 番号またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用することができます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の一つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。または PIN コードを ES400 に保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

Microsoft のスタックは Smart-pairing をサポートしています。詳細は、Microsoft MSDN を参照してください。

Bluetooth の設定

次のサービスがサポートされています。

- OBEX Object Push (OBEX オブジェクト プッシュ) サービス
- Hands-Free Audio Gateway (ハンズフリー音声ゲートウェイ) サービス
- Serial Port (シリアル ポート) サービス
- Personal Area Networking (パーソナル エリア ネットワーク) サービス
- PBAP サービス
- Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク) サービス
- HID Client (HID クライアント) サービス
- A2DP/AVRCP サービス
- File Transfer Profile (ファイル転送プロファイル)
- General Audio/Video Distribution Profile (一般オーディオ/ビデオ配信プロファイル)
- SIM Access Profile (SIM アクセス プロファイル)
- Headset Profile (ヘッドセット プロファイル)
- Generic Object Exchange Profile (一般オブジェクト交換プロファイル)
- Service Discovery Access Profile (サービス検索アクセス プロファイル)
- Generic Access Profile (一般アクセス プロファイル)

他のサービスに使用されていないければ、COM2 ~ COM4、COM7、COM8 を使用できます。

Bluetooth の電源の状態

サスペンド

アクティブな Bluetooth 接続が確立されている場合、Bluetooth 無線は低電力モードに入り、アクティブな接続を保持します。

- ✓ **注** ES400 と他の Bluetooth デバイス間でアクティブな Bluetooth 接続が確立されていて、データの通信状況がない場合、ES400 はタイムアウトします。ただし、ES400 の電源ボタンを押すと ES400 はサスペンドモードになります (通話中の場合を除く)。リモートの Bluetooth デバイスからデータを受信すると ES400 はサスペンドモードからウェイクアップします (たとえば、ES400 にヘッドセットからリダイヤル信号が送信された場合や Bluetooth スキャナからデータが送信された場合)。

再開

サスペンド前に Bluetooth がオンになっていた場合、ES400 が再開されると Bluetooth はオンになります。

Bluetooth オン/オフの切り替え

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスは ES400 を検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。

- ✓ **注** 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の有効化

Bluetooth を有効にするには、次の手順を行います。

1. ステータス バー >  > [Bluetooth] > [Mode] (モード) をタップします。

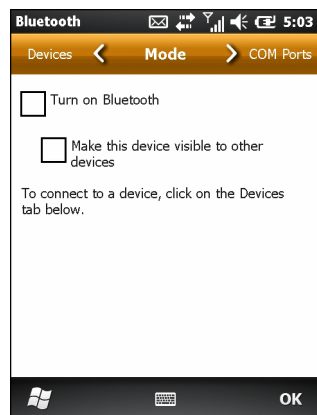



図 9-1 [Bluetooth] の [Mode] (モード) タブ

2. [Turn On Bluetooth] (Bluetooth を有効にする) チェック ボックスをオンにします。
3. [OK] をタップします。

Bluetooth の無効化


Bluetooth を無効にするには、次の手順を行います。

1. ステータス バー >  > **[Bluetooth]** > **[Mode]** (モード) をタップします。
2. **[Turn On Bluetooth]** (Bluetooth を有効にする) チェック ボックスをオフにします。
3. **[OK]** をタップします。

Bluetooth デバイスの検出

ES400 は、検出されたデバイスと結合してなくても、そのデバイスから情報を受信することができます。ただし、結合しておく、Bluetooth 無線をオンにしたときに ES400 と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。詳細については、7-34 ページの「[検出したデバイスとの結合](#)」を参照してください。

通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
4. ステータス バー >  > **[Bluetooth]** > **[Devices]** (デバイス) をタップします。

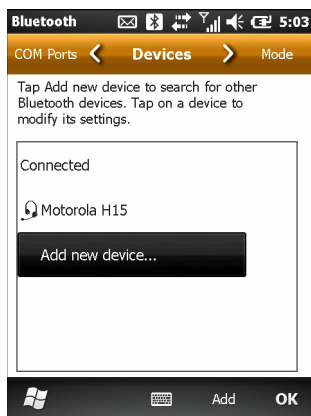


図 9-2 [Bluetooth] - [Devices] (デバイス) タブ

5. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。ES400 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
6. リストからデバイスを選択します。
7. **[Next]** (次へ) をタップします。 **[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。
8. 接続先デバイスのパスコードを入力します。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。

パスコードの入力を求めるメッセージが表示されます。デバイスに特定のパスコードがある場合は、それを **[Passcode]** (パスコード) フィールドに入力して **[Next]** (次へ) をタップします。デバイスに特定のパスコードがない場合は、任意のパスコードを **[Passcode]** (パスコード) フィールドに入力して **[Next]** (次へ) をタップします。Bluetooth 無線がそのデバイスとの接続を試行します。

9. パスコードを作成した場合は、接続先デバイスに、同じパスコードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。作成したパスコードを入力すると、ペアリング接続が確立されます (特定のパスコードを入力した場合は、接続先デバイスでの作業は必要ありません)。
10. 接続が完了すると、マッチング リストとそのデバイスでサポートされているサービスが表示されます。
11. 使用したいサービスを選択して、**[Finish]** (完了) をタップします。新しいデバイス上のサービスを選択する必要があります。そうしないと、デバイスのペアリングが確立されても、ペアリングにサービスが含まれません。サービスを選択しないと、パスコードを求めるメッセージが何度も表示されます。
12. デバイスがメイン ウィンドウ上のリストに表示されます。
パスコードが両側で受け入れられると、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

使用可能なサービス

- ✓ **注** デバイスによっては、PIN を必要としないものもあります。必要とするかどうかは、デバイスの認証によって異なります。

Microsoft Bluetooth スタックが搭載された ES400 は、次のサービスを提供します。

- OBEX Object Push Services via Beam (ビームによる OBEX オブジェクト プッシュ) サービス
- Hands-Free Audio Gateway (ハンズフリー音声ゲートウェイ) サービス
- Serial Port (シリアル ポート) サービス
- Personal Area Networking (パーソナル エリア ネットワーク) サービス
- PBAP サービス
- Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク)
- HID Client (HID クライアント)
- A2DP/AVRCP

これらのサービスについては、以降のセクションを参照してください。

Object Push Services via Beam (ビームによるオブジェクト プッシュ) サービス

- ✓ **注** ビーム機能で可能なのはリモート デバイスへのファイル送信だけです。

OBEX プッシュ サービスを使用して、別の Bluetooth デバイスにファイルや連絡先を送信できます。ES400 と他の Bluetooth 対応デバイス間でファイルを転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[My Apps]** (マイ アプリケーション) > **[File Explorer]** (ファイル エクスプローラ) をタップします。
4. 転送するファイルに移動します。
5. ファイル名をタップし、ポップアップ メニューが表示されるまで押したままにします。

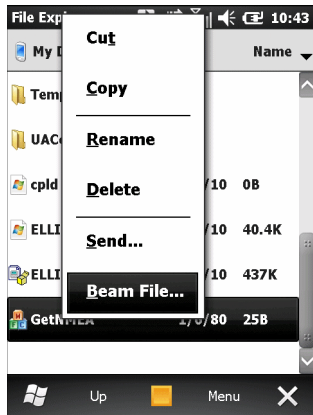


図 9-3 File Explorer (ファイル エクスプローラ) ウィンドウ

6. **[Beam File]** (ファイルのビーム) を選択します。ES400 は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
7. ファイル送信先の Bluetooth デバイスの横にある **[Tap to send]** (タップして送信) をタップします。ES400 はそのデバイスと通信し、ファイルを送信します。完了すると、**[Tap to send]** (タップして送信) が **[Done]** (完了) に変わります。

ES400 と他の Bluetooth 対応デバイス間で連絡先を転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Contacts]** (連絡先) をタップします。
4. 転送する連絡先に移動します。
5. その連絡先をタップし、ポップアップメニューが表示されるまで押したままにします。
6. **[Send Contact]** (連絡先の送信) > **[Beam]** (ビーム) を選択します。ES400 は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
7. ファイル送信先の Bluetooth デバイスの横にある **[Tap to send]** (タップして送信) をタップします。ES400 はそのデバイスと通信し、連絡先を送信します。完了すると、**[Tap to send]** (タップして送信) が **[Done]** (完了) に変わります。

Internet Sharing (インターネット共有)

Internet Sharing (インターネット共有) では、ES400 にコンピュータまたはラップトップを接続し、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するためのモデムとして ES400 を使用できます。

Bluetooth によって、ES400 をモデムとして使用するには、次の手順に従います。

1. デバイスがコンピュータまたはラップトップに接続されていないことを確認します。
2. ES400 で、**[Phone]** (電話) が有効になっていて、データ接続が設定されていることを確認します。
3. **[Start]** (スタート) > **[Internet Sharing]** (インターネット共有) をタップします。
4. **[PC Connection]** (PC 接続) リストで、**[Bluetooth PAN]** を選択します。
5. **[Network Connection]** (ネットワーク接続) リストで、接続の種類を選択します。
そのデバイスがインターネット接続に使用するネットワーク接続を選択します。
6. **[Connect]** (接続) をタップします。

7. コンピュータまたはラップトップで、ご使用のデバイスとの Bluetooth PAN をセットアップします。
 - a. **[Start]** (スタート) > **[Control Panel]** (コントロール パネル) > **[Network Connections]** (ネットワーク接続) を選択します。
 - b. **[Personal Area Network]** (パーソナル エリア ネットワーク) で、**[Bluetooth Network Connection]** (Bluetooth ネットワーク接続) を選択します。
 - c. **[Bluetooth Network Connection]** (Bluetooth ネットワーク接続) を右クリックして、**[View Bluetooth network devices]** (Bluetooth ネットワーク デバイスの表示) を選択します。
 - d. **[Bluetooth Personal Area Network Devices]** (Bluetooth パーソナル エリア ネットワーク デバイス) ウィンドウで、ご使用のデバイスを選択します。
 - e. **[Connect]** (接続) をクリックします。コンピュータが Bluetooth を通じてデバイスに接続されます。
- ✓ **注** コンピュータが Bluetooth に対応していて、PC 接続として Bluetooth を選択する場合、Bluetooth PAN パートナーシップを開始し、完了しないと、インターネット共有は機能しません。詳細は、Windows のヘルプおよびサポートを参照してください。
8. 確認するには、PC またはラップトップで **Internet Explorer** を起動して Web サイトを開きます。
9. ダイアルアップ ネットワーキングを終了するには、ES400 で **[Disconnect]** (切断) をタップします。

Hands-free (ハンズフリー) サービス

Bluetooth ヘッドセットに接続するには、次の手順に従います。

- ✓ **注** 最近の Bluetooth ヘッドセットは、デバイス依存型で、前回接続したデバイスを記憶しています。ヘッドセットの接続時に問題が発生した場合は、ヘッドセットを検出モードにしてください。詳細については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

WAN 音声のみがヘッドセットに送信されます。システムの音声は、ES400 のスピーカから出力されます。

Hands-free profile (ハンズフリー プロファイル) を使用して、通話を受けたり、リダイヤルすることができます。

Hands-free profile (ハンズフリー プロファイル) は、3 者通話をサポートしていません。
1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Bluetooth]** > **[Devices]** (デバイス) ををタップします。
4. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。ES400 は、通信圏内で Bluetooth デバイスを検索します。
5. ヘッドセット名を選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。[Passcode] (パスコード) ウィンドウが表示されます。
6. 必要な場合は、ヘッドセットのパスコードを入力します。
7. **[Next]** (次へ) をタップします。ES400 がヘッドセットに接続されます。Bluetooth デバイスとの通信に関する指示については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

Serial Port (シリアルポート) サービス

無線 Bluetooth シリアルポート接続は、物理的なシリアルケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアルポートに設定します。

シリアルポート接続を確立するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Bluetooth]** > **[Devices]** (デバイス) をタップします。
4. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。ES400 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
5. リストからデバイスを選択します。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。
7. パスコードを入力して **[Next]** (次へ) をタップします。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。
8. デバイスリストで、そのシリアルデバイスをタップします。**[Partnership Settings]** (パートナーシップの設定) ウィンドウが表示されます。
9. **[Serial Port]** (シリアルポート) チェックボックスをオンにします。
10. **[Save]** (保存) をタップします。
11. **[COM Ports]** (COMポート) タブをタップします。
12. **[New Outgoing Port]** (新しい発信ポート) をタップします。デバイスを追加するウィンドウが表示されます。
13. リストでシリアルデバイスを選択して、**[Next]** (次へ) をタップします。
14. ドロップダウンリストから COMポートを選択します。
15. **[Finish]** (完了) をタップします。



注 この時点では接続は確立されていません。Microsoft Bluetooth スタックが接続を開始するには、選択した COMポートをアプリケーションで開く必要があります。

Bluetooth を使用した ActiveSync

ActiveSync 用の無線 Bluetooth シリアルポート接続は、物理的な USB ケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアルポートに設定します。

Bluetooth ActiveSync 接続を設定するには、次の手順に従います。



注 セキュリティを確保するには、コンピュータに接続してインターネットまたはネットワークへのパススルーを行う前に、コンピュータのネットワークブリッジングを無効にします (特にリモート NDIS アダプタへのブリッジング)。ネットワークブリッジングについての詳細は、ご使用のコンピュータの **Windows** ヘルプを参照してください。

以下の手順は、Windows XP SP2 以降のバージョンのオペレーティングシステムをサポートするコンピュータに適用されます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. コンピュータで、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Control Panel]** (コントロール パネル) をクリックします。
4. **[Bluetooth Devices]** (Bluetooth デバイス) をダブルクリックします。
5. **[Options]** (オプション) タブで、**[Turn discovery on]** (発見機能を有効にする) と **[Allow Bluetooth devices to connect to this computer]** (Bluetooth デバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する) のチェック ボックスをオンにします。

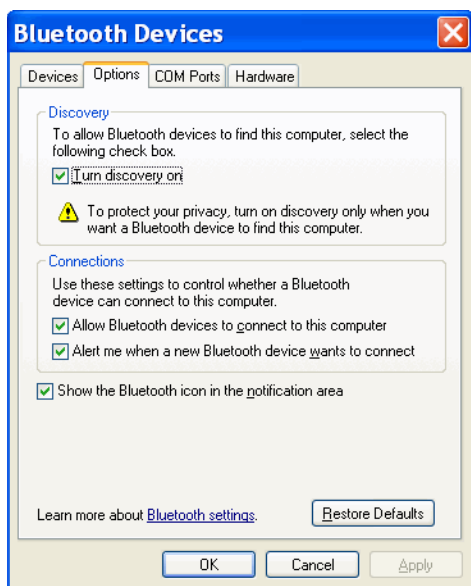


図 9-4 コンピュータの [Bluetooth Devices] (Bluetooth デバイス) ウィンドウ

6. **[COM Ports]** (COM ポート) タブで、**[Add]** (追加) をクリックします。
7. **[着信]** (デバイスが接続を開始する) オプションを選択して、**[OK]** をクリックします。
追加された COM ポートの番号を書き留めます。
8. **[OK]** をクリックします。
9. **[Start]** (スタート) > **[All Programs]** (すべてのプログラム) > **[Microsoft ActiveSync]** をクリックします。
10. **[File]** (ファイル) > **[Connection Settings]** (接続の設定) をクリックします。



図 9-5 ActiveSync の [Connection Settings] (接続の設定)

11. **[Allow connections to one of the following]** (以下のいずれかの接続を有効にする) ドロップダウン リストで、先ほど書き留めた番号の COM ポートを選択します。
12. ES400 で、**[Start]** (スタート) > **[ActiveSync]** をタップします。
13. **[Menu]** (メニュー) > **[Connect via Bluetooth]** (Bluetooth から接続) をタップします。
自動的に同期が開始されます。
認証が必要な場合は、**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) 画面が表示されるので、英数字のパスキー (PIN コード) を入力して、**[Next]** (次へ) をタップします。もう一方のデバイスと同じパスキーを入力してください。
セキュリティを強化するため、パスキーの使用を推奨します。パスキーは 1 ~ 16 文字の英数字で指定してください。
パスキーの必要がない場合は、**[Next]** (次へ) をタップします。
14. ActiveSync 接続を切断するには、**[My Apps]** (マイ アプリケーション) > **[ActiveSync]** をタップします。
15. **[Disconnect]** (切断) をタップします。

Phone Book Access Profile サービス

Phone Book Access profile (PBAP) を使用すると、リモート デバイスと ES400 の間で連絡先を同期させることができます。PBAP 同期を確立するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 30 フィート (10m) 以下であることを確認します。
3. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Bluetooth]** > **[Devices]** (デバイス) をタップします。
4. **[Add New Device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。ES400 は自動車用キットなどの Bluetooth デバイスを検索します。
5. リストからデバイスを選択します。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。
7. パスコードを入力して **[Next]** (次へ) をタップします。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。
8. その自動車用キットに連絡先を転送するかどうかを問うダイアログ ボックスが表示されます。
9. **[Yes]** (はい) または **[No]** (いいえ) を選択します。
10. **[Yes]** (はい) を選択した場合、ES400 の連絡先がその自動車用キットに転送されます。

Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク) サービス

ダイヤルアップ ネットワークにより、ES400 に PC またはラップトップを接続して、ES400 をオフィスのネットワークまたは ISP に接続するモデムとして使用することができます。

ネットワークのセットアップを行う前に、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するのに必要なダイヤルアップ情報およびその他の必要な設定 (ユーザー名、パスワード、ドメイン名など) を取得してください。新しい Bluetooth 接続を作成するには、次の手順に従います。

1. ES400 が検出可能および接続可能になっていることを確認します。
2. PC またはラップトップで、製造元の指示に従って Bluetooth の設定を行います。
3. PC またはラップトップの Bluetooth ソフトウェアで、ES400 を検索して、[Dial-up Networking] (ダイヤルアップ ネットワーク) サービスを選択します。
4. PC またはラップトップのダイヤルアップ ソフトウェアを使用して、ES400 に接続します。
5. ES400 の電話機能により ISP の番号がダイヤルされて、ISP に接続します。
6. 確認するには、PC またはラップトップで Internet Explorer を起動して Web サイトを開きます。

HID デバイスの接続

ES400 は、Bluetooth キーボードやマウスなどのヒューマン インタフェース デバイス (HID) を接続できます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Bluetooth]** > **[Devices]** (デバイス) をタップします。
5. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。ES400 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
6. リストから HID デバイスを選択します。
7. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
8. **[Connect]** (接続) をタップします。ES400 が HID デバイスに接続されます。

A2DP/AVRCP サービス

A2DP/AVRCP は高品質ステレオ ヘッドセットに接続する場合に使用します。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Bluetooth]** > **[Devices]** (デバイス) をタップします。
5. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。ES400 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。

6. 一覧からステレオ ヘッドセットを選択します。
7. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
8. **[Connect]** (接続) をタップします。ES400 がステレオ ヘッドセットに接続されます。

ハンズフリー サービスを使用できるステレオ ヘッドセットの場合は、A2DP サービスに接続後、ハンズフリー サービスに接続します。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Bluetooth]** > **[Devices]** (デバイス) をタップします。
2. **[Add new device]** (新しいデバイスを追加) をタップします。ES400 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
3. 一覧からステレオ ヘッドセットを選択します。
4. **[Next]** (次へ) をタップします。**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

✓ **注** スマート ペ어링が設定されていて、定義済みの PIN の 1 つをデバイスが要求した場合は、**[Enter Passcode]** (パスコードの入力) ウィンドウは表示されません。

5. **[Connect]** (接続) をタップします。ES400 がステレオ ヘッドセットに接続されます。

第 10 章 GPS ナビゲーションの使用

はじめに

ES400 には、グローバル ポジショニング システム (GPS) テクノロジーが搭載されています。GPS テクノロジーは、地球を周回してデジタル電波信号を連続的に送信する GPS 衛星の世界的なシステムを基礎としています。この電波信号には衛星の場所や正確な時刻に関するデータが含まれており、地球上での自分の位置の特定に使用されます。



警告

車両内で **ES400** を使用する場合、ユーザーは、事故や身体的損傷、物的損傷が生じたり、視界を妨げたりしないように設置、固定、および使用する義務があります。ドライバーは、車両を安全に操作し、常にすべての運転状況を観察し、**ES400** のために安全な運転が妨げられるほど注意散漫にならないようにする義務があります。運転中の **ES400** の操作は危険です。

ソフトウェアのインストール

サードパーティ製の GPS ナビゲーション ソフトウェアが必要です。評価用ソフトウェアはさまざまなサプライヤから提供されています。たとえば VisualGPS というソフトウェアがあります。詳しくは <http://www.visualgps.net/VisualGPSce/> をご覧ください。

GPS ナビゲーション ソフトウェアを購入される場合は、ソフトウェアの購入、ダウンロード、インストール等をする前に、GPS ソフトウェアのベンダーに問い合わせ、そのアプリケーションと ES400 の間に互換性があるか確認してください。アプリケーションのインストールおよびセットアップについては、アプリケーションのユーザー ガイドを参照してください。

ES400 GPS のセットアップ

GPS 対応の ES400 は、GPS レシーバへのアクセスを自動的に管理し、複数のプログラムによる GPS データへの同時アクセスを可能にします。

ES400 のデフォルト設定は次のとおりです。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) と選択して、**External GPS** (外部 GPS) アイコンをタップします。
2. **[Programs]** (プログラム) タブでは、**[GPS program port]** (GPS プログラム ポート) が **[COM6]** に設定されています。
3. **[Hardware]** (ハードウェア) タブでは、**[GPS hardware port]** (GPS ハードウェア ポート) が **[None]** (なし) に設定されています。

操作

衛星信号の取得に数秒から数分かかることがあります。最適な結果を得るには、空がはっきり見え、遮る物のない屋外に出てください。空がはっきり見えない場合、ES400 では信号の取得および初期位置の算出に時間がかかることがあります。室内で ES400 を操作すると、GPS 信号へのアクセスが制限される場合や、アクセスできない場合があります。

- ✓ **注** GPS ナビゲーション アプリケーションを使用する場合は、ES400 がサスペンド モードにならないようにしてください。ES400 がサスペンド状態になると、GPS 無線の電源が切れます。GPS レシーバを再開するには有効な GPS 信号を取得し直す必要があるため、位置情報の取得に遅延が生じます。

microSD カード上の GPS マップ

GPS ナビゲーション ソフトウェアのベンダーから、microSD カードでマップが発売されている場合があります。GPS ナビゲーション ソフトウェアで microSD カードを使用するには、[1-2 ページの「microSD カードの取り付け」](#)の手順に従って microSD メモリ カードを取り付けます。

GPS 使用中の電話への応答

GPS ナビゲーション ソフトウェアの使用中に電話に応答するには、次の手順に従います。

1. **[Answer]** (応答) ボタンを押して電話に出ます。
2. 通話が終了したら、**[End Call]** (通話終了) ボタンを押して、GPS ソフトウェアの音声を再開します。

- ✓ **注** ES400 で GPS の使用中に電話を受けると、GPS ナビゲーション ソフトウェアの音声は通話が終了するまでミュートになります。

車両に乗っているときに GPS 信号が失われた場合

車両の窓やフロントガラスが耐熱ガラス製の場合、衛星からの GPS 信号の受信がブロックされるため、ES400 での GPS のパフォーマンスに影響が出る場合があります。GPS 信号の強度を改善するには、空がはっきり見える場所に ES400 を置いてください。衛星からの情報にアクセスするには、ES400 と GPS 衛星の間が直線で見通せる必要があります。

アシスト GPS

GPS は、スタンドアロン モードでもアシスト GPS (A-GPS) モードでも使用できます。スタンドアロン型の GPS レシーバは、GPS 衛星からデータをダウンロードします。環境によっては、データのダウンロードには数分かかることがあります。GPS Location サーバーを使用すると、通常では GPS 衛星からダウンロードする必要のあるデータが A-GPS によって供給されるため、GPS 受信機の初期位置算出時間 (TTFF) が劇的に短縮されます。A-GPS データを使用すると、GPS 受信機により高速かつ信頼性の高い操作が可能になります。

GPS Assist (GPS アシスト) アプリケーションでは、GPS データの取得に関連する設定を変更できます。

[Start] (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Connections]** (接続) > **[GPS Assist]** (GPS アシスト) をタップします。

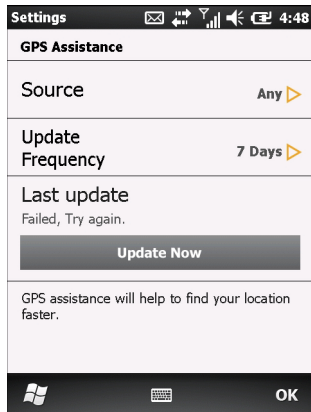


図 10-1 GPS アシスタンス ウィンドウ

データソースを設定するには、**[Source]** (ソース) をタップし、[WAN] (デフォルト)、[WLAN]、[Active Sync]、[Any] (任意)、[None] (なし) のいずれかのオプションを選択します。

データ更新の頻度を設定するには、**[Update Frequency]** (更新頻度) をタップし、[On Demand] (オン デマンド) (デフォルト)、[1 Day] (1 日)、[2 Days] (2 日)、[4 Days] (4 日)、[7 Days] (7 日) のいずれかのオプションを選択します。

手動でデータを更新するには、**[Update Now]** (今すぐ更新) ボタンをタップします。

第 11 章 Settings (設定)

はじめに

この章では、ES400 のカスタマイズ方法について説明します。

Settings (設定) フォルダ

表 11-1 に、ES400 にプリインストールされているアプリケーションを示します。ステータス バー >  をタップするか、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) をタップして、[Settings] (設定) タブを開きます。

表 11-1 Settings (設定) アプリケーション

アイコン	説明	アイコン	説明
	Bluetooth - Bluetooth を有効にして、ES400 を可視モードに設定し、範囲内の他の Bluetooth デバイスをスキャンします。		Lock (ロック) - ES400 のパスワードを設定します。
	Clock & Alarms (時計とアラーム) - デバイスの時計を自分の地域の日時に設定します。また、指定した曜日と時間にアラームを設定することもできます。		Power (電源) - バッテリー残量を確認したり、バッテリー電力を節約するためにディスプレイをオフにするタイムアウトを設定します。
	Home (ホーム) - ホーム画面の外観と表示される情報をカスタマイズします。		Sounds & Notifications (サウンドと通知) - イベントや通知などのサウンドを有効にしたり、各イベントの通知の種類を設定します。
	Connections (接続) フォルダ - 接続設定アプリケーションが含まれています。		System (システム) フォルダ - システム設定アプリケーションが含まれています。
	Personal (パーソナル) フォルダ - 個人設定アプリケーションが含まれています。		Microsoft My Phone - 電話の連絡先、カレンダー、タスク、テキストメッセージ、音楽、写真、ビデオ、その他のドキュメントと、 www.microsoft.com の My Phone アカウントを同期します。

表 11-1 Settings (設定) アプリケーション (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	Lock Switch (ロック スイッチ) - Microsoft のロック機能または Motorola のロック機能の使用を切り替えます。 11-3 ページの「ES400 をロックする」 を参照してください。		
Connections (接続) フォルダ			
	Beam (ビーム) - 着信ビームを受信するように ES400 を設定します。		Domain Enroll (ドメインへの登録) - デバイス管理およびセキュリティのため、AD ドメインメンバーに登録します。
	Connections (接続) - 電話のダイヤルアップ、セルラ、Bluetooth など、1 つまたは複数の種類のモデム接続をセットアップして、ES400 がインターネットやプライベートローカル ネットワークにアクセスできるようにします。		Phone Network Setup (電話ネットワークのセットアップ) - ES400 ネットワークを設定します。
	GPS Assist (GPS アシスト) - 場所の検索補助の他のデータ ソース使用に関連する設定を変更します。		USB Connect (USB 接続) - USB 通信ポートを設定します。 12-11 ページの「ActiveSync」 を参照してください。
	Wi-Fi - 無線ネットワーク接続をセットアップしたり、設定をカスタマイズします。		Wireless Manager (無線マネージャ) - ES400 の無線通信を有効または無効にしたり、Wi-Fi、Bluetooth、および電話の設定をカスタマイズします。
Personal (個人) フォルダ			
	Buttons (ボタン) - ボタンにプログラムを割り当てます。		Holster (ホルスタ) - ES400 がホルスタにある場合の動作を設定します。
	KeyRemap (キーのリマップ) - キーパッドのキーを文字またはアプリケーションにリマップします。		Nav pad (ナビゲーションパッド) - 光学ナビゲーションパッドの機能を設定します。
	Phone (電話) - 電話を設定します。		Owner Information (オーナー情報) - 個人情報 ES400 に入力します。
	Voice Commander Settings (ボイス コマンダーの設定) - Voice Commander (ボイス コマンダー) アプリケーションを設定します。		Dialer Switcher (ダイヤラのスイッチ) - Microsoft のダイヤラと企業向けダイヤラを切り替えます。
System (システム) フォルダ			
	About (バージョン情報) - Windows Mobile® のバージョンや ES400 に搭載されているプロセッサの種類などの基本的な情報を表示します。		Accelerometer (加速度計) - ES400 の動作を設定します。 11-11 ページの「加速度計」 を参照してください。

表 11-1 Settings (設定) アプリケーション (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	Backlight & Keylight (バックライトとキーライト) - バックライトとキーライトを設定します。 11-10 ページの「バックライトとキーライトの設定」 を参照してください。		Certificates (証明書) - ES400 にインストールされている証明書に関する情報を表示します。
	Customer Feedback (カスタム フィードバック) - Windows Mobile 6 ソフトウェアに関するフィードバックを送信します。		Encryption (暗号化) - ストレージ カード上のファイルを暗号化できます。暗号化されたファイルは、自分のデバイスでのみ読み取ることができます。
	Device Information (デバイス情報) - ES400 のソフトウェアおよびハードウェア情報を表示します。		Error Reporting (エラー報告) - Microsoft のエラー報告機能を有効または無効にします。
	External GPS (外部 GPS) - 必要に応じて、適切な GPS 通信ポートを設定します。 10-1 ページの「ES400 GPS のセットアップ」 を参照してください。		Memory (メモリ) - デバイスのメモリ割り当てステータスとメモリ カードの情報を確認したり、現在実行中のプログラムを停止します。
	Master Reset (マスタのリセット) - ES400 をデフォルト設定にリセットします。 11-15 ページの「マスタのリセット」 を参照してください。		Regional Settings (地域) - 数字、通貨、日付、時刻の表示形式など、ES400 で使用する地域設定を行います。
	Managed Programs (管理プログラム) - Mobile Device Manager を使用して ES400 にインストールされたプログラムを表示します。		Remove Programs (プログラムの削除) - ES400 にインストールしたプログラムを削除します。
	Screen (画面) - 画面の向きを変更したり、画面を調整したり、画面のテキストのサイズを変更したりできます。		System Info (システム情報) - システム情報入手します。
	Task Manager (タスク マネージャ) - プログラムの実行を停止します。		DataWedge - カメラを使用したデータ収集を有効にします。

ES400 をロックする

標準的な Microsoft Lock と Lock Plus の 2 種類のロック機能があります。

- ✓ 注 ES400 がロックされている場合でも、緊急通話は行えます。

Microsoft Lock と Lock Plus の切り替え

Microsoft Lock または Lock Plus を選択するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Lock Switch]** (ロック スイッチ) をタップします。
2. 指紋と PIN セキュリティの **[Lock Plus]** または PIN セキュリティの **[Microsoft Lock]** を選択します。
3. **[Save]** (保存) をタップしてから **[OK]** をタップします。

Lock Plus のセットアップ

Lock Plus では、ES400 のロックを解除するためのパスワードをセットアップしたり、指紋を登録したりできます。

[Start] (スタート) > **[Setting]** (設定) > **[Lock]** (ロック) をタップします。

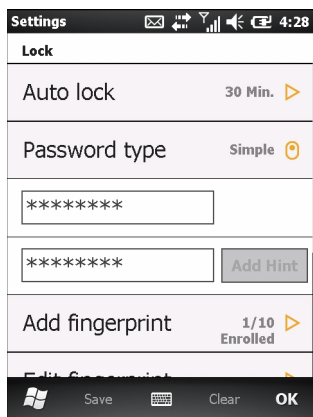


図 11-1 Lock Plus の設定ウィンドウ

[Auto lock] (自動ロック) をタップして、ES400 がロックされるまでの非アクティブなタイムアウト時間を選択し、**[OK]** をタップします (**[Disabled]** (使用不可) が選択されていると、ES400 は自動ロックされません)。

パスワードロック

✓ **注** ネットワークに接続できるよう設定されている場合は、強力な (解読されにくい) パスワードを設定してネットワークのセキュリティを保護します。パスワード解読ツールは日々向上しており、パスワードの解読に使用されるコンピュータはかつてないほど性能がよくなっています。

1. **[Password type]** (パスワード タイプ) をタップすると、簡易パスワードと強力なパスワードを切り替えられます。
2. 簡易パスワードの場合は、
 - a. 4桁のパスワードを **[Password]** (パスワード) フィールドに入力します。
 - b. **[Confirm:]** (確認:) フィールドにパスワードを再入力します。
 強力なパスワードの場合は、
 - c. **[Password:]** (パスワード:) フィールドに7文字のパスワードを入力します。強力なパスワードは7文字以上で、大文字、小文字、数字、句読点から3種類以上を含める必要があります。
 - d. **[Confirm:]** (確認:) フィールドにパスワードを再入力します。
3. パスワードを思い出すためのヒントを設定するには、**[Hint]** (ヒント) ボタンをタップして、パスワードを思い出すためのヒントを入力します。

4. **[Save]** (保存) をタップしてから **[Yes]** (はい) をタップします。

指のスイプロック

指紋スイプによってデバイスのロックを解除をするには、次の手順に従います。

1. **[Add fingerprint]** (指紋の追加) をタップします。

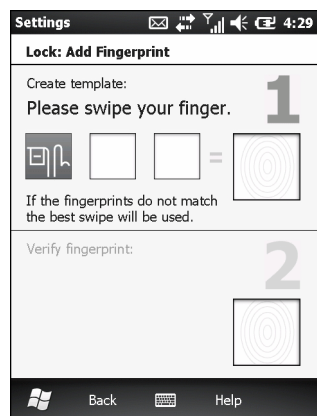


図 11-2 指紋の追加ウィンドウ

2. 指紋リーダー上に指先を置き、指紋の下部から読み取られるように、下向き (カメラ レンズの方向) または上向き (電源ボタンの方向) に引き下げます。
または
指紋リーダー上に指先を置き、指紋の上部から読み取られるように、上向き (電源ボタンの方向) または下向き (カメラ レンズの方向) に押し上げます。
3. 指紋の読み取りに成功すると、1 つ目のボックスに緑色の指紋が表示されます。指紋の読み取りに失敗すると、ボックスに赤い指紋が表示されます。
4. 指のスイプをあと 2 回繰り返します。
5. 読み取りの成功時にテンプレートが作成されます。テンプレートの検証のため、もう 1 回指をスイプします。
6. 指紋が登録されたら、**[Save]** (保存) をタップしてから **[OK]** をタップします。

指紋スイプの編集

登録済みの指紋を変更または編集するには、次の手順に従います。

1. **[Edit fingerprint]** (指紋の編集) をタップします。
2. 編集する指紋を選択します。
3. テキストボックスで、この指紋に関連付ける名前を変更します。
4. **[Change fingerprint]** (指紋の変更) をタップして、指紋データを編集します。
5. 新しい指紋をスイプします。
6. **[Program launched]** (起動したプログラム) をタップして、特定の指紋がスイプされたときに自動的に起動するプログラムを選択します。

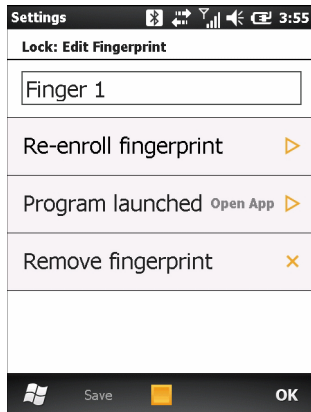


図 11-3 指紋の編集

7. 指紋を削除するには、**[Remove fingerprint]** (指紋の削除) をタップします。
8. **[Yes]** (はい)、**[OK]** の順にタップして、変更を確認します。

ロック画面ディスプレイの編集

ロック画面に表示される情報を変更するには、次の手順に従います。

1. **[Lock screen options]** (ロック画面のオプション) をタップします。

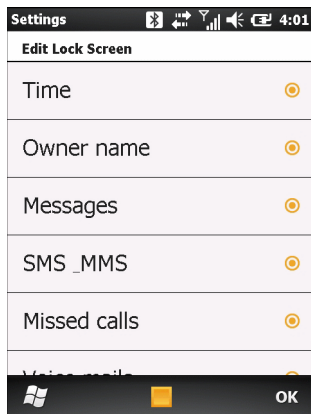


図 11-4 ロック画面のオプション ウィンドウ

2. ロック画面に表示する項目を選択します。
3. 終了したら、**[OK]** をタップします。

オーディオ フィードバック

指のSwipeが成功したときのオーディオ サウンドを有効にするには、次の手順に従います。

[Audio feedback] (オーディオ フィードバック) をタップして、オーディオのオンとオフを切り替えます。

Microsoft Lock

ES400 をロックすると、キーボードとタッチ スクリーン機能がオフになります。これは、ES400 がオンになっている状態で、キーの誤操作を防止するのに役立ちます。

ES400 をロックするには、[Start] (スタート) >  をタップします。ロック画面が表示されます。

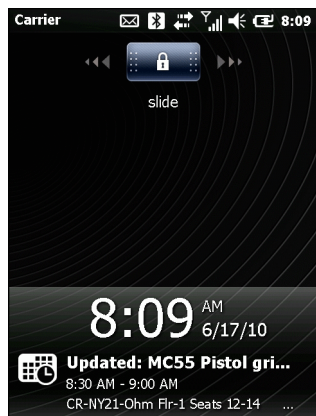





図 11-5 ロック画面

 を画面の右側または左側にドラッグします。

パスワードがセットアップされている場合は、パスワードを入力します。 をタップすると、ロックが解除されてホーム画面、 をタップするとロックが解除されて [Contacts] (連絡先) ウィンドウ、 をタップするとロックが解除されて [Messaging] (メッセージング) ウィンドウが表示されます。

パスワードロックのセットアップ

[Password] (パスワード) ウィンドウでパスワードを設定し、ES400 への不正なアクセスを防止します。

✓ **注** ネットワークに接続できるよう設定されている場合は、強力な (解読されにくい) パスワードを設定してネットワークのセキュリティを保護します。パスワード解読ツールは日々向上しており、パスワードの解読に使用されるコンピュータはかつてないほど性能がよくなっています。

1. [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Lock] (ロック) > [Password] (パスワード) をタップします。
2. [Prompt if device unused for] (パスワード入力が必要になるまでの時間) チェック ボックスをオンにして、パスワード保護を有効にします。
3. アイドル状態からパスワード保護を有効にするまでの時間をドロップダウン リストから選択します。
4. [Password type:] (パスワード タイプ:) ドロップダウン リストから、[Simple PIN] (数字の簡易パスワード) または [Strong alphanumeric] (強力な英数字のパスワード) のいずれかを選択します。
5. 簡易パスワードの場合は、4桁のパスワードを [Password] (パスワード) フィールドに入力します。
強力なパスワードの場合は、
 - a. [Password:] (パスワード:) フィールドに7文字のパスワードを入力します。強力なパスワードは7文字以上で、大文字、小文字、数字、句読点から3種類以上を含める必要があります。
 - b. [Confirm:] (確認:) フィールドにパスワードを再入力します。
6. [OK] をタップします。

ダイヤラを切り替える

ES400 には、エンタープライズ ダイヤラのユーザー インタフェースと標準的な Microsoft インタフェースがあります。

エンタープライズ ダイヤラと Microsoft ダイヤラを切り替えるには、次の手順に従います。


1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Personal]** (パーソナル) > **[Dialer Switcher]** (ダイヤラのスイッチ) をタップします。
2. **[Enterprise Dialer]** (エンタープライズ ダイヤラ) または **[Microsoft Dialer]** (Microsoft ダイヤラ) を選択します。
3. **[Save]** (保存) をタップします。
4. **[OK]** をタップします。ES400 がリブートされます。

デバイス管理ウィンドウ

デバイス管理ウィンドウでは、共通の設定と関連するオプションにすばやく簡単にアクセスできます。デバイス管理ウィンドウにアクセスするには、ステータス バー上でタップします。

サウンド プロファイル

新しいサウンド プロファイルを作成するか、カスタム プロファイルを編集するには、次の手順に従います。

1. ステータス バー >  をタップします。
2. カスタム プロファイルの横の  をタップするか、または **[Create New]** (新規作成) をタップして新しいプロファイルを作成します。

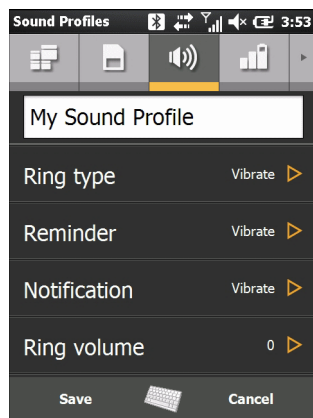


図 11-6 [Sound Profiles] (サウンド プロファイル) ウィンドウ

3. プロファイルを編集するか、テキスト ボックスにプロファイルの新しい名前を入力します。
4. リストされた各機能を選択し、使用可能なオプションを選択します。
 - **Ring type** (着信音のタイプ) - 着信を受信したときの音の鳴り方を設定します。
 - **Reminder** (リマインダ) - ES400 がリマインダを生成したときの音の鳴り方を設定します。
 - **Notification** (通知) - 通知を受信したときの音の鳴り方を設定します。
 - **Ring volume** (着信音の音量) - 着信音の音量を設定します。

- **System volume** (システムの音量) - システム音声の音量を設定します。
- **Ringtone** (呼び出しトーン) - 着信の呼び出しトーンを設定します。


5. **[Save]** (保存) をタップして、プロフィールの変更を保存します。

カスタムのサウンド プロファイルを削除するには、次の手順に従います。

1. カスタム プロファイルの横の **▷** をタップします。
2. **[Delete Profile]** (プロフィールの削除) をタップしてから **[OK]** をタップします。

電源プロフィール

新しい電源プロフィールを作成するか、カスタム電源プロフィールを編集するには、次の手順に従います。

1. ステータス バー >  をタップします。
2. 現在のプロフィールの横の **▷** をタップします。
3. プロファイルの横の **▷** をタップして編集するか、または **[Create New]** (新規作成) をタップして新しいプロフィールを作成します。

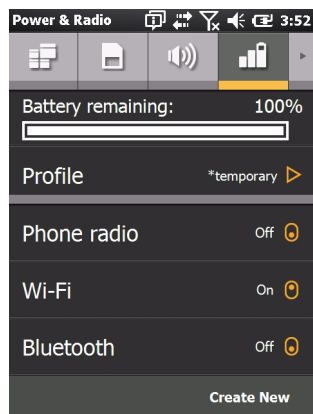



図 11-7 プロファイルの編集ウィンドウ

4. プロファイルを編集するか、テキスト ボックスにプロフィールの新しい名前を入力します。
5. 各無線について、名前をタップすると **[On]** (オン) または **[Off]** (オフ) を切り替えられます。
 - Phone radio (電話無線)
 - Wi-Fi
 - Bluetooth
6. 他のオプションを表示するには、下にスクロールします。
7. オプションをタップしてリストされた各機能を選択し、使用可能なオプションを選択します。
 - **Device timeout** (デバイスのタイムアウト) - ES400 がサスペンド モードになる非アクティブな時間を設定します。
 - **Backlight** (バックライト) - ES400 がサスペンド モードになる非アクティブな時間を設定します。
 - **Brightness** (輝度) - スクリーンの輝度を自動または手動に設定します。手動を選択した場合は、スライダを使って輝度レベルを設定します。

- **ActiveSync (Peak Time) (ActiveSync (ピーク時))** - ピーク時に ES400 が電子メールとカレンダーのイベントをチェックする間隔を設定します。
8. **ActiveSync Off (Off-peak Time) (ActiveSync オフ (オフピーク時))** - オフピーク時に ES400 が電子メールとカレンダーのイベントをチェックする間隔を設定します。[Save] (保存) をタップします。

アラーム

ES400 を時計として使用するには、次の手順に従います。

1. ステータス バー >  > [Edit Alarm] (アラームの編集) をタップします。
2. 3つのアラーム列の1つをタップします。
3. 時間フィールドの上下矢印で時間を設定します。
4. [Description] (説明) フィールドを強調表示し、アラームの名前を入力します。
5. 曜日を示す文字をタップして、アラームを有効にします。
6. ドロップダウン リストから、アラームの開始時に再生するサウンドを選択します。[Play] (再生) をタップするとアラーム音が再生され、[Stop] (停止) をタップすると再生がキャンセルされます。
7. ドロップダウン リストから、繰り返す通知音のタイプを選択します。
8. [OK] をタップします。
9. さらに2つのアラームをセットアップできます。
10. チェック ボックスをオンにすると、ES400 がサイレントまたはバイブに設定されているときでもアラーム音が有効になります。
11. [OK] をタップします。

バックライトとキーライトの設定

ディスプレイ輝度を設定すると、特定の使用環境での輝度を自動的に検出できます。

1. [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Backlight & Keylight] (バックライトとキーライト) をタップします。
2. ES400 をバッテリー電源で使用している場合は、[Battery Power] (バッテリー電源) タブでバックライトとキーライトを設定します。
3. ES400 を外部電源で使用している場合は、[External Power] (外部電源) タブでバックライトとキーライトを設定します。
 - **Backlight (バックライト)** - バックライト機能を設定します。[On Any Input] (どの入力でも) を選択すると、スクリーンへのアクションまたはタッチ時にバックライトがオンになります。[Always On] (常時接続) を選択すると、常にバックライトがオンになります。
 - **Backlight Timeout (バックライト タイムアウト)** - スクリーンのバックライトがオフになるまでの非アクティブな時間を設定します。
 - **Backlight Brightness (バックライトの輝度)** - 自動または手動の制御を選択します。[Auto] (自動) を選択すると、バックライトが自動的に制御されます。[Manual] (手動) を選択すると、バックライトの輝度を設定できます。輝度のレベルは5つから選択します。

- **Keylight (キーライト) - [On Any Input] (どの入力でも)** を選択すると、キーボードへのアクションまたはタッチ時にキーライトがオンになります。**[Always On] (常時接続)** を選択すると、常にキーライトがオンになります。**[Follow Display] (フォロー ディスプレイ)** を選択すると、キーライトがバックライトと同じように設定されます。
- **Keylight Timeout (キーライト タイムアウト)** - キーライトがオフになるまでの非アクティブな時間を設定します。

加速度計

ユーザーは ES400 を動かしたときの動作や、下に向けたときの動作を設定できます。

[Display] (ディスプレイ) タブ

[Display] (ディスプレイ) タブでは、ES400 の通常の動作と自動動作を設定します。

[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Accelerometer] (加速度計) をタップします。

- **Suspend when face down (下に向けるときのサスペンド)** - ES400 を裏返して置いたときにサスペンドモードになります。
- **Screen rotation (画面の回転)** - 画面の回転を有効または無効にします。画面は、ES400 の物理的な向きに応じて、縦向きモードと横向きモードが自動的に切り替わります。たとえば、ES400 を 90° 反時計回りに回転させると、ディスプレイは反時計回りに 90° 回転します。

[About] (バージョン情報) タブ

[About] (バージョン情報) タブでは、加速度計情報が表示されます。

光学ナビゲーションパッド

ES400 では、スクリーンのナビゲーションに 2 種類のカーソルを使用します。

- 4 方向
- カーソル

光学ナビゲーションパッドの機能を変更するには、[Start] (開始) > [Settings] (設定) > [Personal] (パーソナル) > [Nav Pad] (ナビゲーションパッド) をタップします。

光学ナビゲーションパッドの [Navigation mode] (ナビゲーションモード) で、[4-Way] (4 方向) または [Cursor] (カーソル) を選択します。

[4-Way] (4 方向) を選択すると、[Sensitivity] (感度) コントロールが表示されます。[Sensitivity] (感度) バーを選択して、感度レベルを選択します。

[Cursor] (カーソル) を選択すると、[Speed] (速度) コントロールが表示されます。[Speed] (速度) バーを選択して、マウスの速度レベルを選択します。

[Cursor timeout] (カーソル タイムアウト) を選択し、非アクティブな状態になってからカーソルが表示されるまでの時間を指定します。

キーのリマップ

KeyRemap (キーのリマップ) アプリケーションは、ハードウェア キーを文字とアプリケーションにリマップできます。**KeyRemap** (キーのリマップ) アプリケーションを開くには、**[Start]** (開始) > **[Settings]** (設定) > **[Personal]** (パーソナル) > **[KeyRemap]** (キーのリマップ) をタップします。

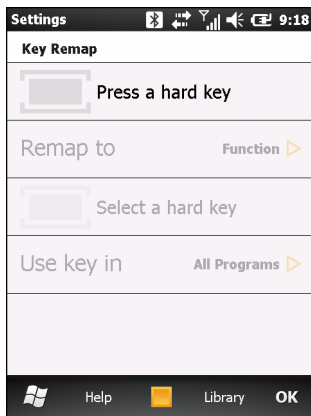


図 11-8 キーのリマップ ウィンドウ

プログラムへのキーのリマップ

プログラムにキーをリマップするには、次の手順に従います。

1. キーパッドでリマップするキーを押します。
2. **[Remap to]** (リマップ先) をタップします。

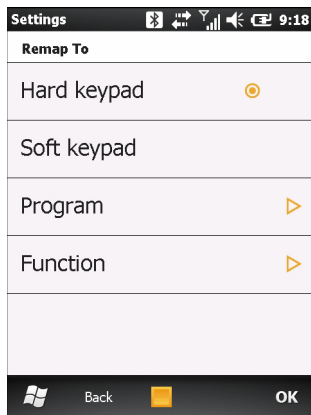


図 11-9 **[Remap to]** (リマップ先) ウィンドウ

3. **[Program]** (プログラム) をタップします。
4. プログラム リストから、プログラムを選択します。
5. **[Save]** (保存) をタップしてから **[OK]** をタップします。

文字へのキーのリマップ

文字にキーをリマップするには、次の手順に従います。

1. キーパッドでリマップするキーを押します。
2. **[Remap to]** (リマップ先) をタップします。
3. **[Hard keypad]** (ハード キーパッド) をタップします。
4. キーパッドで、リマップ先のキーを選択します。
5. **[Use key in]** (キー入力を使用する) をタップします。
6. **[All Programs]** (すべてのプログラム) またはキーのリマップを実行するプログラムを選択します。
7. **[Save]** (保存) をタップしてから **[OK]** をタップします。

機能へのキーのリマップ

機能にキーをリマップするには、次の手順に従います。

1. キーパッドでリマップするキーを押します。
2. **[Remap to]** (リマップ先) をタップします。
3. **[Function]** (機能) をタップします。
4. **[Function]** (機能) リストから、機能を選択します。下にスクロールして、すべてのオプションを確認してください。
5. **[OK]** をタップします。
6. **[Use key in]** (キー入力を使用する) をタップします。
7. **[All Programs]** (すべてのプログラム) またはキーのリマップを実行するプログラムを選択します。
8. **[Save]** (保存) をタップしてから **[OK]** をタップします。

ソフト キーパッドを使用する文字へのキーのリマップ

ソフト キーパッドの文字にキーをリマップするには、次の手順に従います。

1. キーパッドでリマップするキーを押します。
2. **[Remap to]** (リマップ先) をタップします。
3. **[Soft keypad]** (ソフト キーパッド) をタップします。ソフト キーパッドが表示されます。

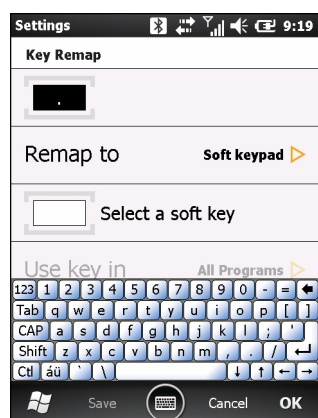


図 11-10 ソフト キーパッドでの文字の選択

4. ソフト キーパッドから文字を選択します。
5. ソフト キーパッドを閉じます。
6. **[Use key in]** (キー入力を使用する) をタップします。
7. **[All Programs]** (すべてのプログラム) またはキーのリマップを実行するプログラムを選択します。
8. **[Save]** (保存) をタップしてから **[OK]** をタップします。

同時キーのリマップ

同時に押すキーをリマップするには、次の手順に従います。

1. 1 つ目のキーを押してから 2 つ目のキーを押します。たとえば、**fn** キーに続けて、**P** キーを押します。@ 記号が表示されます。
2. **[Remap to]** (リマップ先) をタップします。
3. リマップする機能を選択します。

リマップ キーの編集

既存のリマップ済みキーを編集するには、次の手順に従います。

1. **[Library]** (ライブラリ) をタップします。

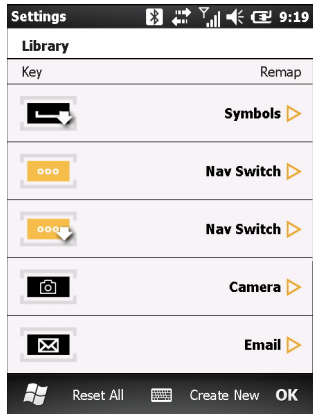


図 11-11 **[Library]** (ライブラリ) ウィンドウ

2. 編集するリマップ済みキーを選択します。
3. キーのリマップを別のキーに変更するには、上記の手順に従います。リマップ済みキーをデフォルト値にリセットするには、**[Reset Key]** (キーのリセット) をタップします。
4. **[Yes]** (はい) をタップするとデフォルトの状態にリセットされ、**[Cancel]** (キャンセル) をタップすると現在のリマップ状態が保たれます。**[OK]** をタップします。

すべてのリマップ済みキーをデフォルトの状態にリセットするには、次の手順に従います。

1. **[Library]** (ライブラリ) をタップします。
2. **[Reset All]** (すべてをリセット) をタップします。
3. **[Yes]** (はい) をタップするとデフォルトの状態にリセットされ、**[Cancel]** (キャンセル) をタップすると現在のリマップ状態が保たれます。**[OK]** をタップします。

マスタのリセット

Master Reset (マスタのリセット) アプリケーションでは、ES400 をデフォルト設定に戻して、個人情報を削除できます。SIM カードと microSD カードのデータは削除されません。

ES400 をリセットするには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[Master Reset]** (マスタのリセット) をタップします。

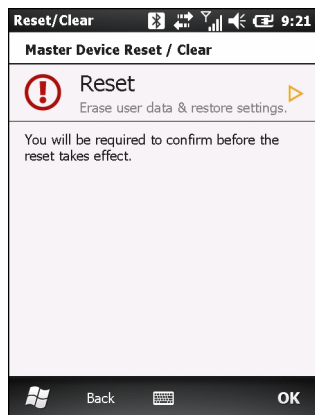


図 11-12 マスタのリセット ウィンドウ

2. **[Reset]** (リセット) をタップします
3. テキストボックスに「1111」と入力します。
4. **[Reset]** (リセット) タイルをタップし、すべてのユーザー データを削除してデフォルト設定に戻すか、**[Cancel]** (キャンセル) タイルをタップし、データを削除せずに終了します。

プログラムのショートカットのセットアップ

プログラムのショートカットを変更するには、次の手順に従います。

1. **[My Apps]** (マイ アプリケーション) > **[Edit]** (編集) > **[Dock]** (ドック) をタップします。

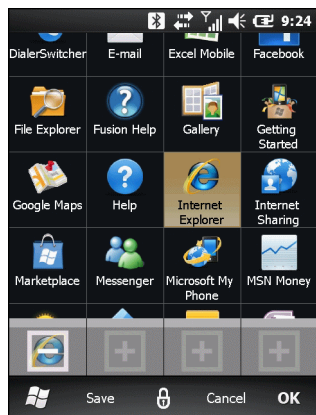


図 11-13 ショートカット アイコンの追加

2. ショートカット ボタンをタップして、割り当てられたショートカットを削除します。
3. 新しいプログラム アイコンをタップし、**[Save]** (保存) をタップします。

[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウのセットアップ

カスタマイズしたアプリケーション リストを作成するには、次の手順に従います。

1. **[My Apps]** (マイ アプリケーション) > **[Edit]** (編集) > **[View]** (ビュー) > **[Create New]** (新規作成) をタップします。
2. テキストボックスに、リストの名前を入力します。
3. リストをスクロールして、新しいリストに追加するアイコンをタップします。選択したアイコンは強調表示されます。リストにアイコンが追加されると、アイコン カウンタが増えます。

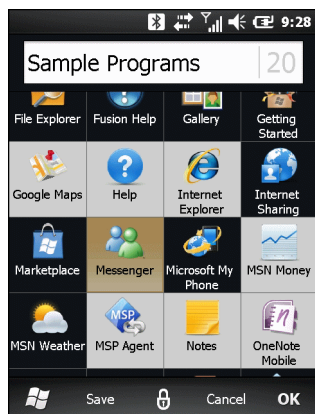



図 11-14 プログラムの追加

4. **[Save]** (保存) をタップします。


新しいリストをデフォルトにするには、そのリストの名前をタップします。

カスタマイズしたアプリケーション リストを編集するには、次の手順に従います。

1. **[My Apps]** (マイ アプリケーション) > **[Edit]** (編集) > **[View]** (ビュー) をタップします。
2. 編集するリストの横の  をタップします。
3. リストに追加する、またはリストから削除するアイコンをタップします。
4. **[Save]** (保存) をタップしてから **[OK]** をタップします。

カードのセットアップ

Motorola ホーム画面のカードは、設定したり並べ替えたりできます。

カードの上で  をタップして、カードを裏返します。

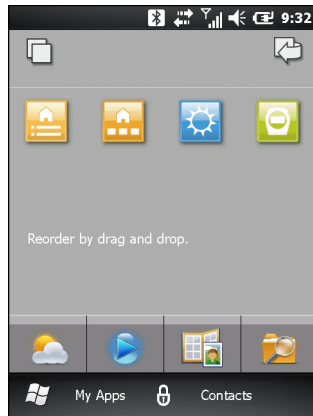




図 11-15 カードの背面


カードの並べ替え

カード背面のそれぞれのアイコンがカードを示しています。カードを並べ替えるには、アイコンを押したまま新しい場所にドラッグします。 をタップしてカードの正面に戻ります。

カードの設定

カードを削除して、ホーム画面に表示されないようにすることができます。

カードの上で  をタップして、カードを裏返します。

 をタップして、カードを設定します。

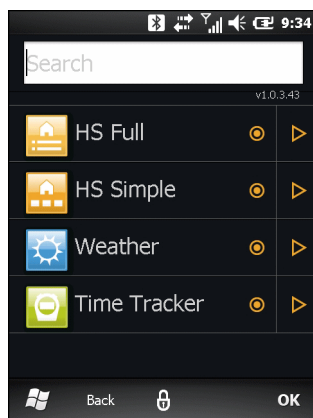






図 11-16 カードの設定ウィンドウ

ウィンドウには、使用可能なカードがリストされます。名前の横の  はそのカードが有効であることを示します。 はそのカードが無効であることを示します。

1. カードの名前をタップすると、そのカードが有効または無効になります。

2.  をタップすると、そのカードの説明が表示されます。
3. [OK] をタップしてホーム画面に戻ります。

Weather カードのセットアップ

Weather カードには自分がいる場所の現在の天気のほか、Accuweather.com が提供する今後 3 日間の天気予報が表示されます。 をタップすると、手動でデータが更新されます。

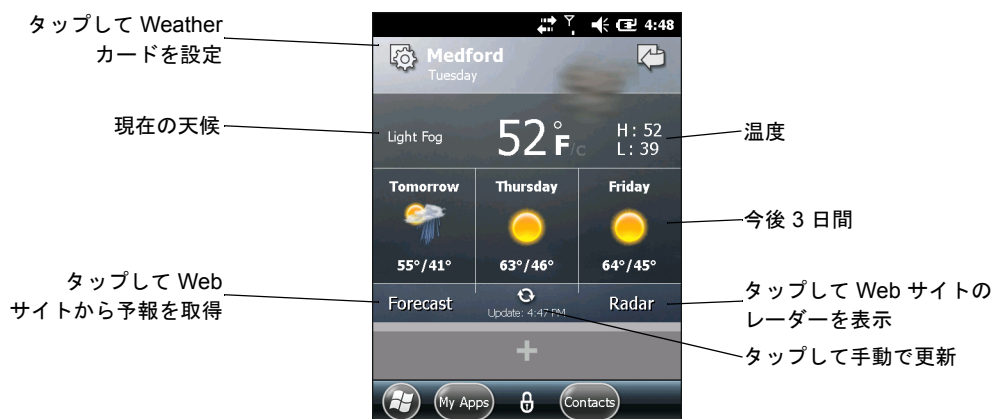


図 11-17 Weather カード

新しい場所の追加

新しい場所を追加するには、次の手順に従います。

1. 設定アイコンをタップします。
2. テキストフィールドに、都市名または郵便番号を入力します。
3. 虫眼鏡アイコンをタップします。
4. リストから新しい場所を選択します。
5. [Back] (戻る) をタップして、Weather カードの正面に戻ります。

場所の変更

場所を変更するには、次の手順に従います。

1. 設定アイコンをタップします。
2. リストから場所を選択します。

場所の削除

場所を削除するには、次の手順に従います。

1. 設定アイコンをタップします。
2. 目的の場所までスクロールします。
3. [X] をタップします。その場所がリストから削除されます。
4. [Back] (戻る) をタップして、Weather カードの正面に戻ります。

Time Tracker のセットアップ

Time Tracker カードは、プロジェクトにかかる時間を管理するアプリケーションです。プロジェクト データは、/Windows ディレクトリのファイル TimeTracker_data_file.csv に保存されています。

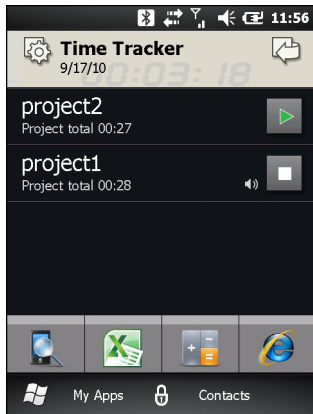


図 11-18 Time Tracker のメイン画面

1. 新しいプロジェクトを作成するには、[Settings] (設定) アイコンをタップします。

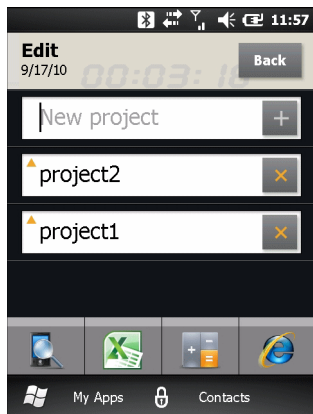


図 11-19 新しいプロジェクト

2. テキスト ボックスにプロジェクト名を入力します。
3. [+] をタップして、リストにプロジェクトを追加します。
4. [Save] (保存) をタップします。
5. メイン画面で、プロジェクト名をタップしてプロジェクト画面を開きます。



図 11-20 プロジェクト画面

6. **[Start]** (開始) ボタンをタップして、プロジェクト タイマを開始します。
7. プロジェクトセッションの開始からの間隔を示す通知時間を選択します。
8. **[Back]** (戻る) をタップしてメイン画面に戻ります。

電子メールのセットアップ

ES400 の **Messaging** (メッセージング) アプリケーションでは、1 つの場所から同時に複数の電子メール アカウントにアクセスして、管理できます。ISP (Internet Service Provider) アカウントで電子メール メッセージを送受信したり、ES400 を使用して VPN (Virtual Private Network) 経由で会社の電子メールにアクセスしたりするには、まず IMAP アカウントまたは POP アカウントをセットアップします。


- IMAP (Internet Message Access Protocol) - このメール受信プロトコルは、大規模なネットワークや商業や組織の設定でよく利用されています。IMAP4 が現在の標準です。
- POP (Post Office Protocol) - このプロトコルはほとんどの ISP でサポートされていて、コンシューマ アプリケーションではこちらのほうが一般的です。POP3 が現在の標準です。

✓ 注 複数の電子メール アカウントがある場合は、アカウントごとに独自の設定をしてください。

IMAP または POP アカウントのセットアップ

IMAP アカウントまたは POP アカウントのセットアップでは、ES400 が自動的にアカウント設定を取得できますが、手動で設定項目の入力が必要になる場合もあります。

自動の電子メール セットアップ

1.  を押します。
2. **[Setup E-mail]** (電子メールのセットアップ) をタップします。
3. **[E-mail address]** (電子メール アドレス) テキスト ボックスに、電子メール アドレスを入力します。
4. **[Password]** (パスワード) テキスト ボックスに、関連付けるパスワードを入力します。

5. **[Save password]** (パスワードの保存) チェック ボックスがデフォルトでオンになっているため、電子メール アカウントのパスワードは ES400 で常に記憶されています。他のユーザーに電子メール アカウントが表示されないようにするには、**[Save password]** (パスワードの保存) チェック ボックスをタップして、チェックマークを外し、その機能を無効にします。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。



注 共通の電子メール タイプでは、この手順を実行しなくても、ES400 によって自動的に電子メール設定が検出されて設定される場合もあります。

7. **[Try to get e-mail settings automatically from the Internet]** (インターネットから電子メール設定を自動的に取得する) チェック ボックスをタップして、チェック ボックスにチェックマークを付けます。
[Next] (次へ) をタップするとこの設定が自動的に取得されます。この処理には数分かかる場合があります。ES400 によって、受信と送信の両方の電子メール メッセージに必要な通信設定の確認が行われます。
8. ES400 によって必要な設定が自動的に取得できた場合は、**[Next]** (次へ) をタップします。
ES400 によって設定を自動的に取得できなかった場合は、**[Next]** (次へ) をタップし、**11-23 ページの「電子メール設定の手動入力」**の手順 8に進みます。
9. **[Your name:]** (名前:) フィールドに、送信メッセージの **[From]** (送信元) フィールドに表示される名前を入力します。
10. **[Account display name:]** (アカウントの表示名:) フィールドに、新しい電子メール アカウントの名前を入力します。
この名前は、電子メール ページの使用可能なメール アカウントのリストに表示されます。
11. **[Next]** (次へ) をタップします。
12. **[Automatic Send/Receive:]** (自動送受信:) フィールドをタップして、ES400 による新しいメール メッセージの送信とチェックの時間間隔を選択します。
13. その他のダウンロード設定とオプションを確認するには、**[Review all download settings]** (全ダウンロード設定の確認) リンクをタップします。詳細については、**11-24 ページの「電子メール アカウントの編集」**を参照してください。
14. **[Finish]** (完了) をタップします。

手動の電子メール セットアップ


自動設定に失敗した場合や、VPN サーバー接続を使用してアカウントにアクセスする場合は、ISP (Internet Service Provider) またはネットワーク管理者に以下の情報を問い合わせ、手動で入力します。

- アカウントの種類 (IMAP4 または POP3)
- 受信および送信のメール サーバー名
- ユーザー名とパスワード
- ドメイン名
- 特別なセキュリティ設定 (使用している場合)

電子メール アカウントの設定の詳細については、次のサイトを参照してください。

www.microsoft.com/windowsmobile/help/smartphone/default.mspx or www.windowsmobile.com/getstarted

電子メール設定の手動入力

1.  を押します。
2. **[Setup E-mail]** (電子メールのセットアップ) をタップします。
3. **[E-mail address:]** (電子メール アドレス:) フィールドに、アカウントの電子メール アドレスを入力します。
4. **[Password:]** (パスワード:) フィールドに、アカウントのパスワードを入力します。
5. **[Save password]** (パスワードの保存) チェック ボックスがデフォルトでオンになっているため、電子メール アカウントのパスワードは ES400 に常に記憶されています。他のユーザーに電子メールが表示されないようにするには、**[Save password]** (パスワードの保存) チェック ボックスをタップして、チェックマークを外し、その機能を無効にします。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。
7. **[Try to get e-mail settings automatically from the Internet]** (インターネットから電子メール設定を自動的に取得する) チェック ボックスをタップして、チェックマークを外し、**[Next]** (次へ) をタップします。
8. **[Your e-mail provider:]** (電子メール プロバイダ:) ドロップダウン リストで **[Internet e-mail]** (インターネット電子メール) を選択し、**[Next]** (次へ) をタップします。
9. **[Your name:]** (名前:) フィールドに、送信メッセージの **[From]** (送信元) フィールドに表示される名前を入力します。
10. **[Account display name:]** (アカウントの表示名:) フィールドに、この新しい電子メール アカウントの名前を入力します。この名前は、電子メール ページの使用可能なメール アカウントのリストに表示されます。
11. **[Next]** (次へ) をタップします。
12. **[Incoming mail server:]** (受信メール サーバー:) フィールドに、受信メール サーバーのアドレスを入力します。
13. **[Account Type:]** (アカウントの種類:) ドロップダウン リストで、**[POP3]** または **[IMAP4]** を選択します。
14. **[Next]** (次へ) をタップします。
15. **[User name:]** (ユーザー名:) フィールドに、アカウントのユーザー名を入力します。
16. **[Password:]** (パスワード:) フィールドに、アカウントのパスワードを入力します。
17. **[Next]** (次へ) をタップします。
18. **[Outgoing (SMTP) mail server:]** (送信 (SMTP) メール サーバー:) フィールドに、送信メール サーバーのアドレスを入力します。
19. 該当するフィールドにチェックを入れ、**[OK]** をタップします。
 - **[Outgoing server requires authentication]** (送信サーバーで認証を要求する) は、受信メールだけでなく送信メールにもパスワードが必要な場合に使用します (サーバー要件の詳細については、システム管理者にお問い合わせください)。
[Use the same user name and password for sending e-mail] (電子メールの送信で同じユーザー名とパスワードを使用する) は、受信メールと同じユーザー名とパスワードを送信メールに使用する場合に使用します (**[Outgoing server requires authentication]** (送信サーバーで認証を要求する) チェック ボックスがオンの場合にだけ選択できます)。
20. **[Advanced Server Settings]** (サーバーの詳細設定) リンクをタップします。
 - この設定により、ネットワーク ファイアウォールのプロファイルのほか、受信メールと送信メールの両方の SSL 要件などのサーバー固有のメッセージング機能を設定できます。

- 必要なオプションを選択します。
- これらの設定の更新が完了したら、**[Done]** (完了) をタップします。

21. **[Next]** (次へ) をタップします。


22. **[Automatic Send/Receive:]** (自動送受信:) ドロップダウン リストで、ES400 による新しいメールの送信とチェックの時間間隔を選択します。

23. その他のダウンロード設定とオプションを確認するには、**[Review all download settings]** (全ダウンロード設定の確認) リンクをタップします。

24. **[Finish]** (完了) をタップします。

電子メール アカウントの編集


電子メールの全般設定を編集するには、次の手順に従います。

1.  を押します。
2. アカウントを強調表示して、**[Menu]** (メニュー) > **[Options]** (オプション) をタップします。
3. 画面上のリストで、編集する電子メール アカウントをタップします。
4. **[Edit Account Setup]** (アカウントの設定の編集) をタップします。
5. **[email address]** (電子メール アドレス) を確認し、必要に応じて変更します。**[Next]** (次へ) をタップします。
6. **[Your name]** (名前) と **[Account display name]** (アカウントの表示名) の情報を確認し、必要に応じて変更します。**[Next]** (次へ) をタップします。
7. **[Incoming mail server]** (受信メール サーバー) と **[Account type]** (アカウントの種類) の情報を確認し、必要に応じて変更します。**[Next]** (次へ) をタップします。
8. **[User name]** (ユーザー名) と **[Password]** (パスワード) の情報を確認し、必要に応じて変更します (**[Save password]** (パスワードの保存) チェック ボックスのオンまたはオフなど)。**[Next]** (次へ) をタップします。
9. **[Outgoing (SMTP) mail server]** (送信 (SMTP) メール サーバー) の情報を確認し、必要に応じて変更します。
10. **[Advanced Server Settings]** (サーバーの詳細設定) リンクをタップして、このページの設定を選択してオプションをオンまたはオフにします。
 - **[Require SSL for Incoming e-mail]** (受信電子メールには SSL が必要) チェック ボックスでは、受信メールの SSL 暗号化を有効にします (メール サーバーがサポートしている場合)。
 - **[Require SSL for Outgoing e-mail]** (送信電子メールには SSL が必要) チェック ボックスでは、送信メールの SSL 暗号化を有効にします (メール サーバーがサポートしている場合)。
 - **[Network connection]** (ネットワーク接続) ドロップダウン リストは、ファイアウォールの接続設定を選択します。**[The Internet]** (インターネット設定) (オープン: ファイアウォールなし)、**[Work]** (社内ネットワーク設定) (ファイアウォールあり)、データ接続のいずれかを選択します。
11. **[Done]** (完了) をタップしてから、**[Next]** (次へ) をタップします。
12. **[Automatic Send/Receive:]** (自動送受信:) ドロップダウン リストで、ES400 による新しいメールの送信とチェックの時間間隔を選択します。

13. **[Download messages]** (メッセージのダウンロード) ドロップダウン リストで、サーバーから ES400 にダウンロードするメッセージの期間範囲を選択します (期間が長くなるほど、多くのメッセージがダウンロードされます)。
14. **[Advanced Settings]** (詳細設定) リンクをタップして、このページの設定を選択してオプションをオンまたはオフにします。
 - **[Send/receive when I click Send]** ([送信] をクリックしたとき送受信を実行する) チェック ボックスをオンにすると、ユーザーがメッセージを送信するたびに、自動的に新しいメッセージが確認されてダウンロードされます。
 - **[Use automatic send/receive schedule when roaming]** (ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する) チェック ボックスをオンにすると、ローミング エリアにあるときでも、定義した間隔で電子メールの確認が継続されます。
 - **[When deleting messages]** (メッセージの削除時) ドロップダウン リストで、ES400 からメッセージを削除するとき、電子メール サーバー上のメッセージを自動で削除するか保持するかを選択します。
15. **[Done]** (完了) をタップします。
16. **[Next]** (次へ) をタップします。
17. 画面上のフィールドをタップして、必要な設定変更をします。選択するには、オプションをタップします。
 - **[Message format]** (メッセージ形式) ドロップダウン リストで、電子メール メッセージの表示形式を **[HTML]** または **[plain text]** (テキスト形式) のドキュメントから選択します。
 - **[Message download limit]** (メッセージのダウンロード制限) ドロップダウン リストで、電子メール メッセージに添付するファイルの最大サイズを選択します。
18. **[Finish]** (完了) をタップします。

電子メール署名の設定

署名は、送信メールまたはメッセージの最後に自動的に付けられる文字列です。

1.  を押します。
2. **[Menu]** (メニュー) > **[Options]** (オプション) をタップします。
3. アカウントを強調表示して、**[Signatures]** (署名) をタップします。
4. **[Select an account]** (アカウントの選択) ドロップダウン リストで、既存のアカウントを選択します。
5. **[Use signature with this account]** (このアカウントで署名を使用する) チェック ボックスをタップすると、新しい送信メッセージへの自動的な署名追加が有効になります。
6. **[Use when replying and forwarding]** (返信 / 転送時に使用する) チェック ボックスをタップすると、アカウントに返信または転送されるメッセージへの、自動的な署名追加が有効になります。
7. テキスト フィールドをタップして、署名メッセージを入力します。
8. **[OK]** をタップすると、新しい署名が保存されます。

企業 Outlook アカウントでの Microsoft ActiveSync の使用

Microsoft ActiveSync を使用して、企業の電子メールを ES400 と同期させることができます。企業の電子メール システムに Microsoft Exchange Server 2003 または 2007 が使用されている場合、Exchange ActiveSync を使用して、電子メールとオーガナイゼーション情報を会社の Exchange サーバーと直接、ワイヤレスで同期できます。

このセットアップは、ES400 にすでにある ActiveSync™ アプリケーションを使用して、ワイヤレスで処理されます。Microsoft Exchange Server を使用してワイヤレス同期するには、まず次を実行する必要があります。

- キャリアのデータ サービスをアクティブにする。
- 既存の Exchange (Outlook™) 電子メール アカウントを使用する。
- 以下の情報を収集する。
 - Exchange Server のアドレスとドメイン名
 - ユーザー名とパスワード

1. **[Start]** (スタート) > **[ActiveSync]** をタップします。
2. **[Menu]** (メニュー) > **[Add Server Source]** (サーバーのソースの追加) をタップします。
3. **[E-mail address]** (電子メール アドレス) フィールドに、勤務先の電子メール アドレスを入力します。
4. ネットワークで SSL 暗号化が必要な場合、**[Attempt to detect Exchange Server Settings automatically]** (Exchange サーバー設定を自動的に検出する) チェック ボックスをオンにして、**[Next]** (次へ) をタップします。

このチェック ボックスをオフにした場合は、セットアップ プロセスの後半で、Exchange Mail Server のアドレスを入力します。

5. **[User name]** (ユーザー名) フィールドに、ユーザー名を入力します。
6. **[Password]** (パスワード) フィールドに、関連付けるパスワードを入力します。
7. **[Domain]** (ドメイン) フィールドに、サーバーのドメイン名を入力します。
8. アカウントにログオンするたびにパスワードを入力しなくて済むように、**[Save password]** (パスワードの保存) チェック ボックスはオンのままにして、**[Next]** (次へ) をタップします。

ES400 は自動的に Exchange Server 情報の検出を開始します。

[Skip] (スキップ) をタップして手動で情報を入力します。

9. **[Server address]** (サーバーアドレス) フィールドに、適切な情報を入力します。
 - Exchange Server に SSL 暗号化が必要な場合は、**[This server requires an encrypted (SSL) connection]** (このサーバーに接続するには暗号化 (SSL) 接続が必要) チェック ボックスをタップして、**[Next]** (次へ) をタップします。
10. Exchange Server と同期する情報タイプのボックスをタップします。
11. 設定を調整するには、リストのエントリ ([Calendar] (カレンダー) や [E-mail] (電子メール) など) をタップしてから、**[Settings]** (設定) ボタンをタップします。



- カレンダーの同期では、カレンダーのイベントを定められたタイム フレームまで Exchange Server と同期できます。**[All]** (すべて)、**[2 Weeks]** (2 週間)、**[1 Month]** (1 か月)、**[3 Months]** (3 か月)、**[6 Months]** (6 か月) から選択します。
- 電子メールの同期では、以下の電子メールの同期設定を選択できます。
 - **[Download the past:]** (メッセージのダウンロード:) では、ES400 と Exchange Server との同期記録を維持するために、電子メール履歴をどのくらい遡るかを指定します。

- **[Message Format:]** (メッセージ形式:) では、電子メールの表示に使用する形式 (**[HTML]** または **[Plain Text]** (テキスト形式)) を指定します。
- **[Download size limit:]** (メッセージの最大サイズ:) では、受信メール メッセージの最大サイズを指定します。
- **[Include file attachments:]** (添付ファイルを含める:) では、添付ファイルを含めるかどうかを選択し、添付ファイルの最大サイズを KB 単位で設定します。
- **[Advanced..]** (詳細設定...) では、セキュリティ オプションの設定、証明書の管理、返信メール アドレスの割り当て (**[From:]** (送信元:) フィールドに表示される) ことができます。

12. **[Finish]** (完了) をタップします。

MMS メッセージング

サポートされていないキャリアの SIM カードをインストールすると、MMS オプションを手動で設定する必要があります。MMS メッセージング用に ES400 を設定するには、次の手順に従います。

1. 必要なすべての情報をキャリアから入手します。
2.  を押します。
3.  > **[MMS Options]** (MMS オプション) をタップします。
4. **[Servers]** (サーバー) タブを選択します。

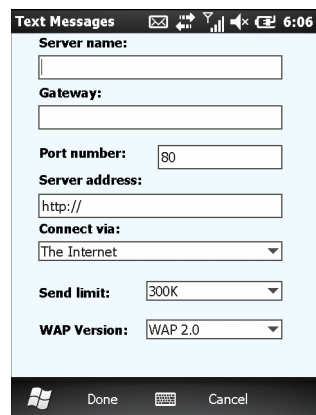


図 11-21 [MMS Options] (MMS オプション) の [Servers] (サーバー) タブ

5. フィールドにデータを入力して、**[Done]** (完了) をタップします。

ボイス コマンダー

[Voice Commander Settings] (ボイス コマンダーの設定) では、Voice Commander (ボイス コマンダー) アプリケーションの設定を行います。主な機能は次の 5 つです。

- 連絡先
- アプリケーション
- 音楽
- デジタル トレーナー
- 詳細設定

ボイス コマンダーを設定するには、[Start] (開始) > [Settings] (設定) > [Personal] (パーソナル) > [Voice Commander Settings] (ボイス コマンダーの設定) をタップします。


連絡先の設定

[Contacts] (連絡先) タブには、ES400 の [Contacts] (連絡先) と SIM カード (取り付けている場合) に保存されているすべての名前が表示されます。新しい連絡先を作成すると、ボイス コマンダーによって認識データベースが自動的に更新されます。


チェックが付いているボックスは、連絡先が正常に認識できることを示します。チェックが付いていないボックスは、その連絡先が認識範囲にないことを示します。グレーのボックスは、名前に認識不能な記号やマークなどの文字が含まれていることを示します。音声タグを作成すると、これらを認識できるようになります。

デフォルトの認識データベースは、連絡先の数最大 2,000 に制限されています。2,000 項目を超える連絡先の先頭にあるチェック ボックスをオンにすると、エントリーを追加できます。



再生



 をタップすると、連絡先を音声で聞くことができます。

音声タグ

選択した連絡先の音声タグを記録すると、使いやすさや精度が向上します。 は音声タグが作成されていることを示します。

音声タグを記録するには、次の手順に従います。

1. 連絡先を選択します。
2.  をタップします。
3. ビープ音の後で連絡先の名前またはニックネームを言います (例: 「ボス」)。
4. 2 回目のビープ音の後、もう一度言います。
5. ボイス コマンダーで、記録された音声タグが作成されます。
6. ボイス コマンダーで記録された音声タグが再生され、音声タグが正常に作成されたことが確認されると、連絡先名の右に  が表示されます。

✓ 注  をもう一度タップすると、音声タグが再作成されます。 をタップすると、音声タグが削除されます。

アプリケーションの設定


[Application] (アプリケーション) タブには、**[Start]** (スタート) メニューにインストールされているすべてのアプリケーションが表示されます。新しいアプリケーションをインストールすると、ボイス コマンダーによって認識データベースが自動的に更新されます。

チェックが付いているボックスは、アプリケーションが正常に認識できることを示します。チェックが付いていないボックスは、そのアプリケーションが認識範囲にないことを示します。グレーのボックスは、アプリケーション名に認識不能な記号やマークなどの文字が含まれていることを示します。音声タグを作成すると、これらを認識できるようになります。



再生



 をタップすると、アプリケーションを音声で聞くことができます。

音声タグ

選択したアプリケーションの音声タグを記録すると、使いやすさや精度が向上します。 は音声タグが作成されていることを示します。

音声タグを記録するには、次の手順に従います。

1. アプリケーションを選択します。
2.  をタップします。
3. ビープ音の後でアプリケーション名を言います (例: 「ファイル エクスプローラ」)。
4. 2 回目のビープ音の後、もう一度言います。
5. ボイス コマンダーで、記録された音声タグが作成されます。
6. ボイス コマンダーで記録された音声タグが再生され、音声タグが正常に作成されたことが確認されると、アプリケーション名の右に  が表示されます。


✓ **注**  をもう一度タップすると、音声タグが再作成されます。 をタップすると、音声タグが削除されます。

音楽の設定


[Music] (音楽) タブには、ES400 で検出されたすべての音楽ファイルが表示されます。メディア ファイルをダウンロードすると、ボイス コマンダーによって認識データベースが自動的に更新されます。

チェックが付いているボックスは、音楽ファイルが正常に認識できることを示します。チェックが付いていないボックスは、その音楽ファイルが認識範囲にないことを示します。グレーのボックスは、音楽ファイル名に認識不能な記号やマークなどの文字が含まれていることを示します。音声タグを作成すると、これらを認識できるようになります。



再生



 をタップすると、音楽ファイルを音声で聞くことができます。

音声タグ

選択した音楽ファイルの音声タグを記録すると、使いやすさや精度が向上します。 は音声タグが作成されていることを示します。


音声タグを記録するには、次の手順に従います。

1. 音楽ファイルを選択します。
2.  をタップします。
3. ビープ音の後で音楽ファイル名を言います (例: 「ドライブ」)。
4. 2 回目のビープ音の後、もう一度言います。
5. ボイス コマンダーが、記録された音声タグを作成します。
6. ボイス コマンダーで記録された音声タグが再生され、音声タグが正常に作成されたことが確認されると、音楽ファイル名の右に  が表示されます。

✓ 注  をもう一度タップすると、音声タグが再作成されます。 をタップすると、音声タグが削除されます。

ディジット トレーナーの設定

次の手順でディジット トレーナーを設定すると、ボイス コマンダーの数字ダイヤルの成功率が上がります。

1.  をタップします。
2. ビープ音が聞こえたら、最初の数字列の読み取りを開始します。終了時に、録音された音声再生され、確認が求められます。
3. 再生音が正しくはっきりと聞こえた場合は、**[Yes]** (はい) をタップします。次の数字列に移動し、録音を開始されます。再生音が正しく聞こえない場合は、**[No]** (いいえ) をタップします。現在の数字列にとどまり、再録音されます。
4. 残りの数字列について手順 1～3 を繰り返します (**[Cancel]** (キャンセル) をタップすればいつでも停止できます)。
5. 10 桁の数字列の録音が終わったら、**[Done]** (完了) をタップして適合モデルを確認するか、**[Remove All]** (すべてを削除) をタップし、適合モデルを削除して再トレーニングします。

ディジットの設定

[Digit Setting] (ディジットの設定) タブで、有効な電話番号の長さを設定し、ディジット認識の精度を向上させます。地域の電話会社の要件に合わせてデフォルト設定を変更できます。**[No constraint]** (制約なし) チェック ボックスをオンにして制限をなくすこともできます。その場合、周囲の騒音によりエラーが増えることがあります。

✓ 注 電話番号の長さは最大で 18 桁です。

詳細設定

[Advanced Settings] (詳細設定) タブでは、音声認識の感度を設定できます。以下を選択できます。

- Sensitive (高度): 再生音が検出されるたびに、認識機能によってすぐに認識結果が返されます。この設定は、車やバス、工場内など、固定された騒音がある環境で使用されます。
- Normal (標準): ほとんどの環境で使用されます。
- Accurate (正確): 認識機能は音声コマンドに非常に正確に反応します。これは周囲の人が発する無関係な音声によって起こる可能性がある通話や操作の誤認識を減らせます。

第12章 アクセサリ

はじめに

表 12-1 に、ES400 のアクセサリを示します。

表 12-1 ES400 アクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
シングル スロット USB クレードル	CRD400-1000R	ES400 のバッテリーを充電します。USB 接続を使用して、ES400 とホスト コンピュータを同期します。
車載用ホルダー	VCH400-1000R	車載用のクレードルで、ES400 のメインバッテリーを充電します。
ケーブル		
USB 急速充電ケーブル	25-128458-01R	車載用ホルダーで ES400 を充電します。
業務向け車用充電ケーブル	VCA400-01R	車載用ホルダーで ES400 を充電します。
個人向け車用充電ケーブル	CAC400-1000R	車載用ホルダーで ES400 を充電します。
その他		
電源アダプタ	PWRS-124306-01R	USB 急速充電ケーブルを使用して、ES400 またはシングル スロット USB クレードルに電力を供給します。
1540 mAh バッテリー	BTRY-ES40EAB00	交換用バッテリー
3080 mAh バッテリー	BTRY-ES40EAB02	交換用バッテリー
1540 mAh バッテリー キット	KT-125233-01R	交換用バッテリー カバーとスタイラス
3080 mAh バッテリー キット	KT-125234-01R	交換用バッテリー カバーとスタイラス
1540 mAh バッテリー キット	BTRY-KT-1X-ES40R	交換用バッテリー、バッテリー カバー、およびスタイラス
3080 mAh バッテリー キット	BTRY-KT-2X-ES40R	交換用バッテリー、バッテリー カバー、およびスタイラス
1X スタイラス キット	KT-125237-03R	交換用スタイラス (3 本組)

表 12-1 ES400 アクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
2X スタイルス キット	KT-125240-03R	交換用スタイルス (3 本組)
ストラップ キット	KT-133855-01R	交換用ストラップ (5 本組)
ソフト ホルスタ	SG-ES4021210-01R	ソフト ベルトの装着ホルダー
スクリーン保護キット	KT-125249-03R	スクリーン保護シート (3 枚組)
ホスト アダプタ	25-133854-01R	ホスト接続に使用します。

USB 急速充電ケーブル

USB 急速充電ケーブルは、ES400 の充電やホスト コンピュータとの通信に使用します。

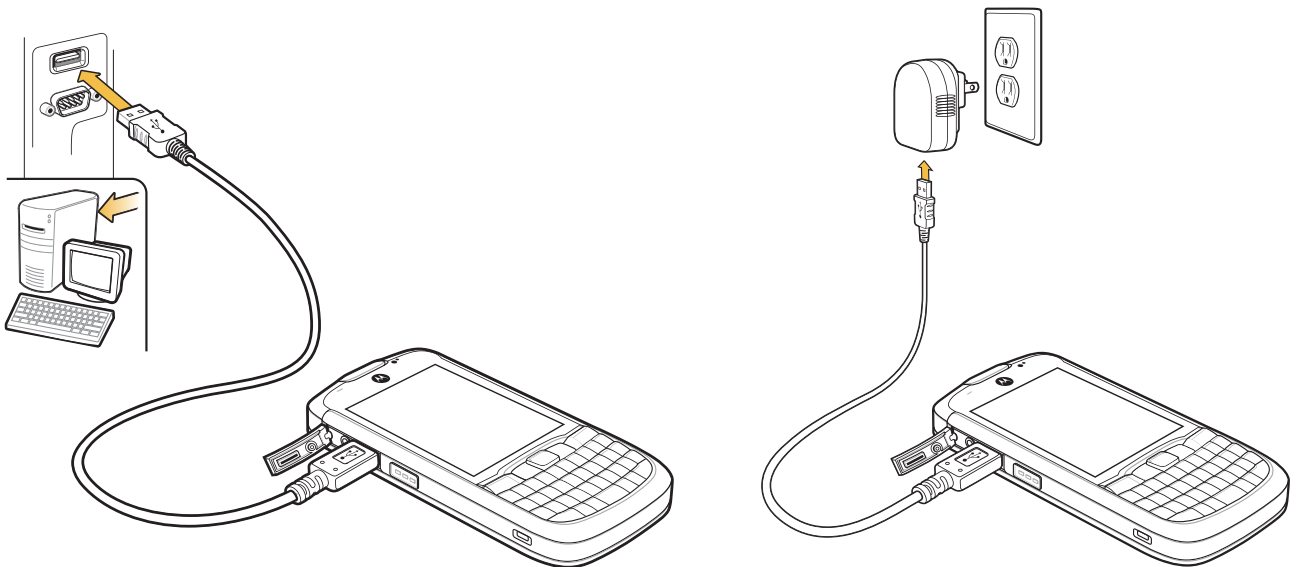


図 12-1 USB 急速充電ケーブル

シングルスロット USB クレードル

シングルスロット USB クレードルは、ES400 の充電、または ES400 とホスト コンピュータ間での情報の同期に使用します。

✓ 注 ホストアダプタは ES400 への接続にのみ使用でき、シングルスロット USB クレードルへの接続には使用できません。

ES400 バッテリーの充電

ES400 のバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. USB 急速充電ケーブルの microUSB コネクタを、クレードル背面の USB ポートに接続します。
2. USB 急速充電ケーブルの USB-A コネクタを、電源の USB ポートに差し込みます。
3. 電源アダプタを AC コンセントに接続します。

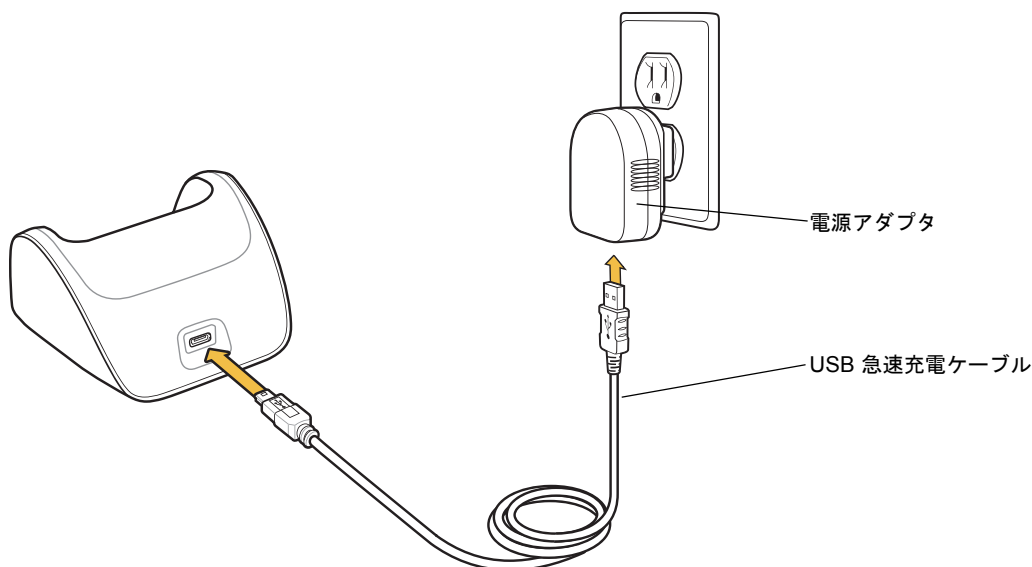


図 12-2 シングルスロット USB クレードルのセットアップ

4. ES400 をクレードルに差し込みます。

ES400 の LED は、ES400 のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[2-20 ページの表 2-4](#) を参照してください。1540 mAh バッテリーの場合は 3 時間以内、3080 mAh バッテリーの場合は 6 時間以内に充電が完了します。

ホストコンピュータとの通信

ホストコンピュータと通信するには、次の手順に従います。

1. ActiveSync がインストールされ、ホストコンピュータで設定されていることを確認します。詳細については、[12-11 ページの「ActiveSync」](#) を参照してください。
2. USB 急速充電ケーブルの microUSB コネクタを、クレードル背面の USB ポートに接続します。
3. USB 急速充電ケーブルの USB-A コネクタを、ホストコンピュータの USB ポートに差し込みます。

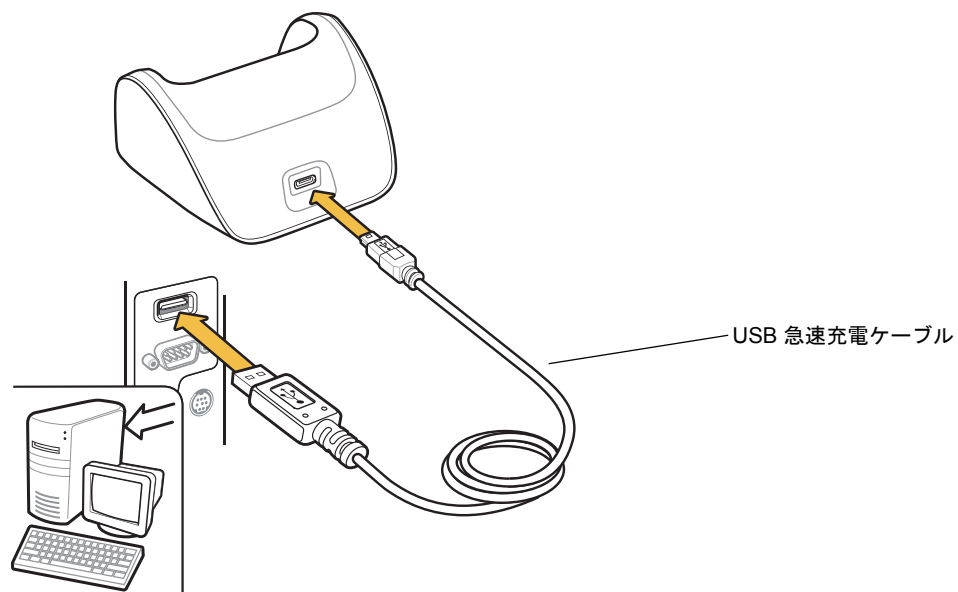


図 12-3 通信のセットアップ

4. ES400 をクレードルに差し込みます。
5. **[USB Connect] (USB 接続)** ダイアログ ボックスが表示されます。
6. **[ActiveSync RNDIS]** または **[ActiveSync Serial] (ActiveSync シリアル)** をタップします。
7. **[Connect] (接続)** をタップします。

車載用ホルダー



警告

車両のダッシュボードへの電子デバイスの取り付けが一切禁止されている国もあります。車載キットを取り付ける前に、各地域の法規則で、取り付け可能な場所を確認してください。

車載用器具は、埃や油の付いていない平らな面に取り付けてください。ガラス クリーナーときれいな木綿布で取り付け面を清掃します。フロントガラスなど、車内の平らな面に、付属品の取り付け用ディスクを使用して車載用器具を取り付けます。

フロントガラスへの取り付け

1. 吸着カップ取り付け具を、吸着レバーが上を向くようにして、取り付け領域に固定します。

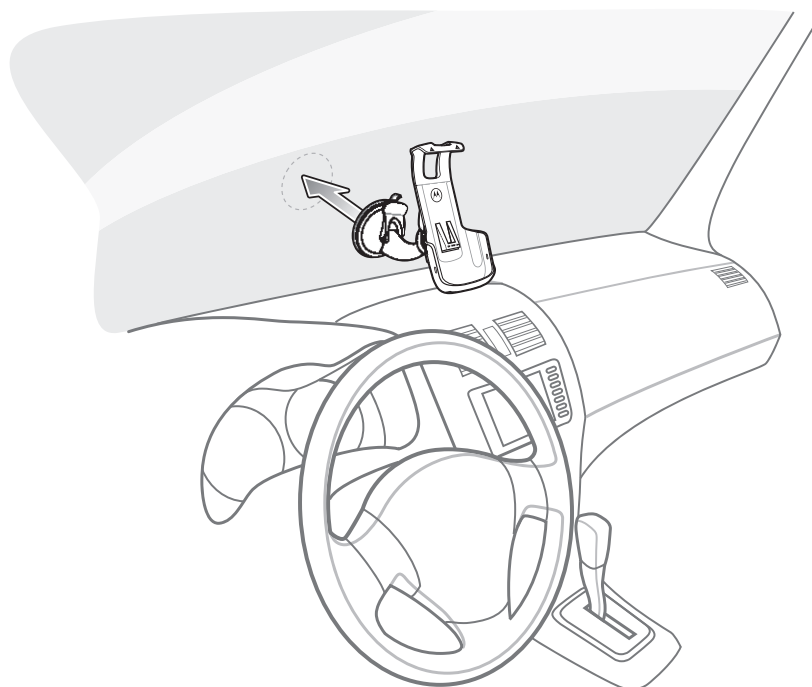


図 12-4 フロントガラスへの取り付け

- レバーを下に動かし、吸着カップと取り付け面の間を真空にします。

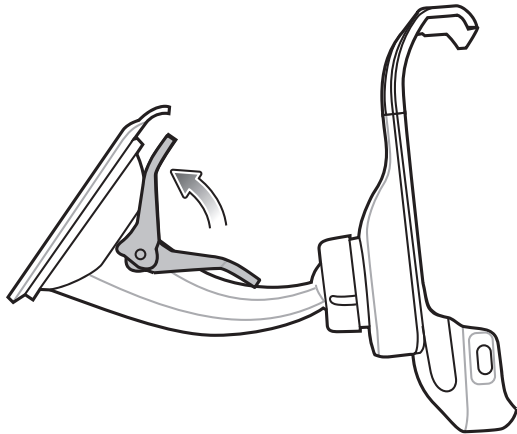


図 12-5 フロントガラスに向かってレバーを動かす

- 次の手順に進む前に、吸着力が十分に強力であることを確認します。

ES400 の取り付け

ES400 を車載用ホルダーに取り付けるには、次の手順に従います。

- ES400 を底面から先にホルダーに設置します。
- ES400 が所定の位置にカチッとハマるまで後ろに押し込みます。

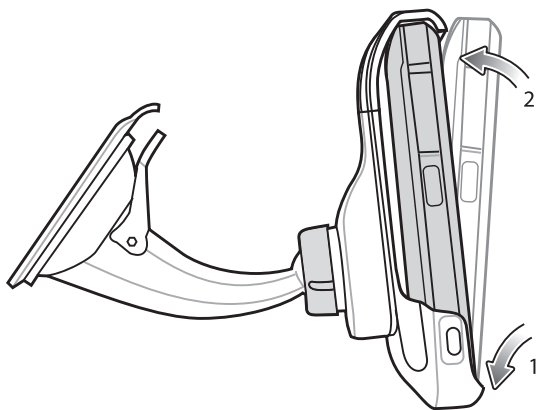


図 12-6 ES400 の車載用ホルダーへの挿入

- ES400 を見やすい位置に向けます。
- ホルダが固定されるまでナットを締めます。

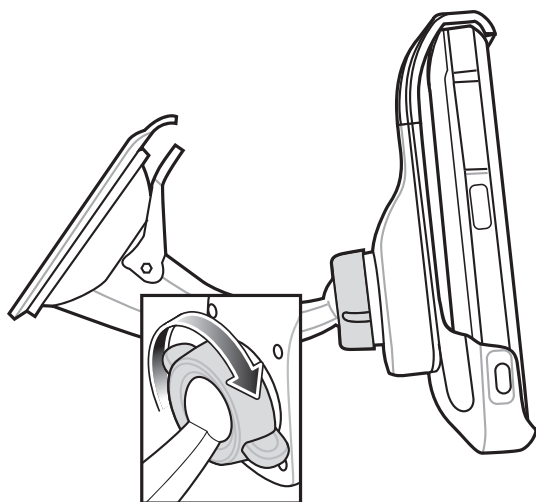


図 12-7 ナットを締める

電源への接続

車載用ホルダーを電源に接続するには、次の手順に従います。

1. 必要な場合は、車用充電器のマイクロ USB コネクタを車載用ホルダーの電源入力コネクタに接続します。

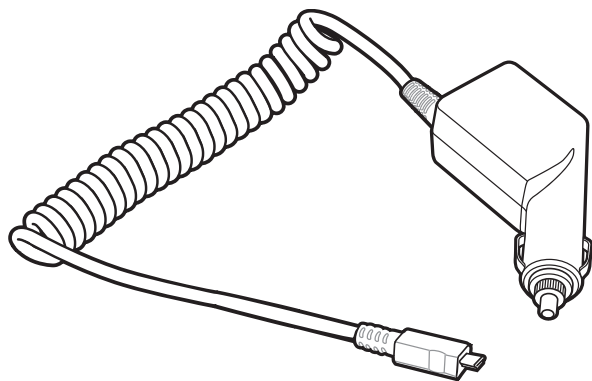


図 12-8 業務向け車用充電ケーブル

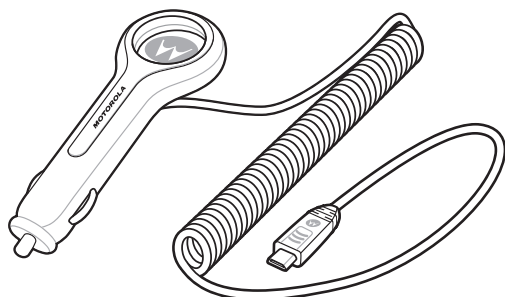


図 12-9 個人向け車用充電ケーブル

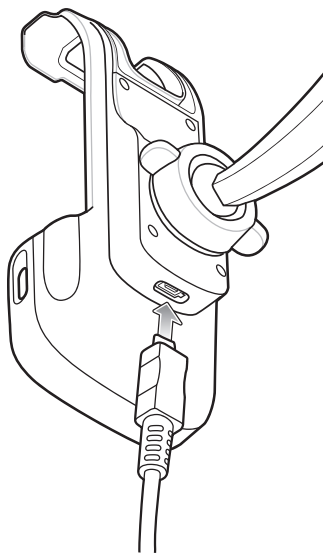


図 12-10 車用充電ケーブルの車載用ホルダーへの接続

2. ケーブルの反対側をシガー ソケットに接続します。

LED インジケータが緑色に点滅している場合は、ES400 が充電中であることを示しています。

ES400 の取り外し

車載用ホルダーから ES400 を取り外すには、ES400 を持ち上げてホルダーの底面から外します。

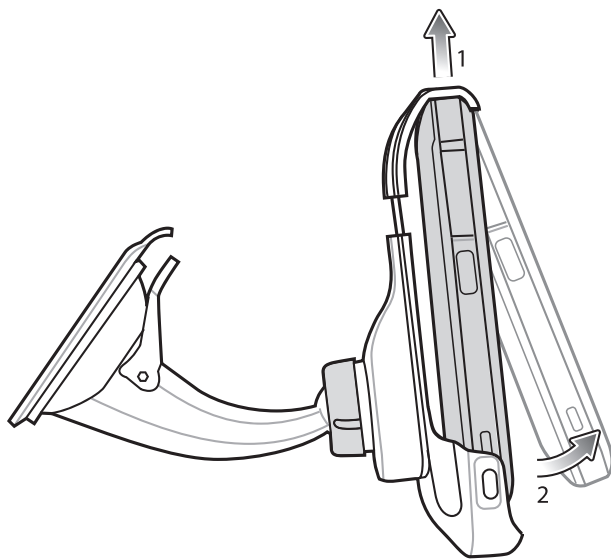


図 12-11 車載用ホルダーからの ES400 の取り外し

ホストアダプタ

ホストアダプタを使用して、アクセサリデバイス(プリンタ、USBフラッシュドライブなど)をES400に接続します。

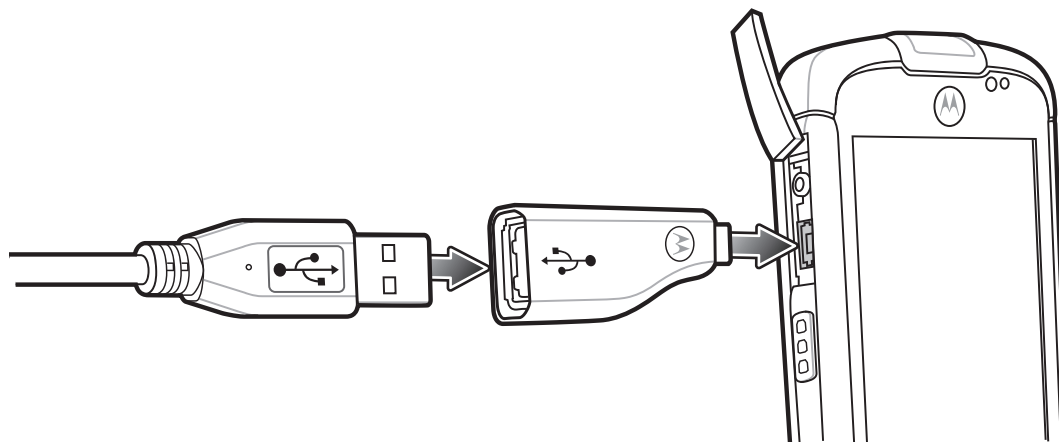


図 12-12 ホストアダプタの接続

✓ 注 ホストアダプタはES400への接続にのみ使用でき、シングルスロットUSBクレードルへの接続には使用できません。



注意 100 mA を超える USB デバイスを接続しないでください。100 mA を超えるデバイスが接続されている場合は、ES400 に警告ダイアログボックスが表示されます。デバイスをホストアダプタから取り外します。

1. ゴム製のドアを持ち上げます。
2. ES400 の側面にある microUSB ポートに、ホストアダプタを接続します。
3. デバイスのコネクタをホストアダプタに接続します。

✓ 注 USB フラッシュドライブをホストアダプタに接続すると、ファイルエクスプローラの **[My Device]** (マイデバイス) フォルダの下の **[Hard Drive]** (ハードディスク) フォルダに USB フラッシュドライブが表示されます。

ホルスタ

ES400 未使用時や、Bluetooth ヘッドセットの使用時に、ホルスタをベルトに装着して、ES400 を収納します。

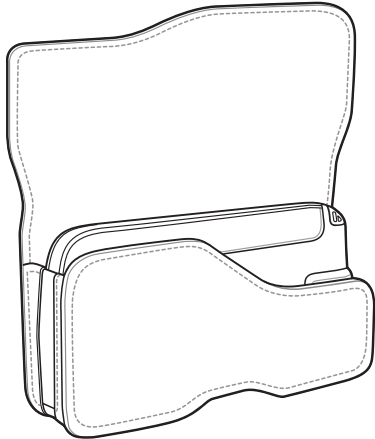


図 12-13 ソフトホルスタ

ES400 を、ディスプレイを体の方に向けてホルスタに挿入します。ES400 は自動的にサスペンドモードになります (ホルスタのアプリケーション設定によって異なります)。

[Holster] ウィンドウで、ES400 をホルスタに収納しているときの動作を指定します。

1. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Personal]** (パーソナル) > **[Holster]** (ホルスタ) をタップします。
2. **[Profile set to]** (設定されているプロファイル) をタップして、ES400 をホルスタに収納しているときのプロファイルを選択します。各プロファイルの説明については、[2-16 ページの「Power & Radio \(電源/無線\)」](#)を参照してください。
3. **[Display wake up on removal]** (取り外し時のウェイクアップ) をタップして、ES400 をホルスタから取り出したときにサスペンドモードから復帰させます。
4. 終了したら、**[OK]** をタップします。

ActiveSync

さまざまなホスト デバイスと通信するには、ホスト コンピュータに Microsoft ActiveSync (バージョン 4.5 以降) をインストールします。ActiveSync を使用して、ES400 とホスト コンピュータ上の情報を同期します。同期すると、ES400 またはホスト コンピュータで行った変更が両方に反映されます。

- ✓ **注** ES400 がホスト コンピュータに接続されていて、ActiveSync への接続が確立されると、WLAN 無線通信が無効になります。これは、Microsoft のセキュリティ機能によって 2 つのネットワークへの同時接続ができないように設定されているためです。

ActiveSync ソフトウェアの機能は、以下のとおりです。

- ホスト コンピュータ上で、モバイル コンピュータ対応のホスト アプリケーションを利用できる。ActiveSync では、モバイル コンピュータのデータを複製し、ホスト アプリケーションでモバイル コンピュータ上のデータを表示、入力、および修正できるようにします。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータ間でファイルを同期し、ファイルを正しい形式に変換する。
- モバイル コンピュータに保存されたデータをバックアップする。同期は、データを常に保護して最新の状態にするワンステップの操作です。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータ間で、ファイルをコピー (同期ではなく) する。
- 同期モードを選択することで、同期を実行するタイミングを指定する。たとえば、モバイル コンピュータをホスト コンピュータに接続している間、常に同期を行ったり、指定した場合のみ同期を行うように設定できます。
- 同期する情報の種類を選択し、同期するデータ量を指定する。

ActiveSync のインストール

ホスト コンピュータに ActiveSync をインストールするには、Microsoft の Web サイト (<http://www.microsoft.com>) からバージョン 4.5 以降をダウンロードします。ActiveSync ソフトウェアに含まれるインストール手順を参照してください。

ES400 の設定

- ✓ **注** Microsoft では、ES400 に接続する前にホスト コンピュータに ActiveSync をインストールすることが推奨されています。

ES400 は、USB 接続で通信するように設定できます。ES400 の通信設定は、ActiveSync で使用されている通信設定と一致するように設定する必要があります。

1. ES400 で、**[My Apps] (マイ アプリケーション)** > **[ActiveSync]** をタップします。
2. **[Menu] (メニュー)** > **[Connections] (接続)** をタップします。
3. ドロップダウン リストから接続の種類を選択します。
4. **[OK]** をタップして **[Connections] (接続)** ウィンドウを閉じ、続けて **[OK]** をタップして **[ActiveSync]** ウィンドウを閉じます。
5. ホスト コンピュータへの ActiveSync のインストールを続行して、パートナーシップをセットアップします。

ホストコンピュータでの ActiveSync 接続のセットアップ

ActiveSync を起動するには、次の手順に従います。

1. ホストコンピュータで、**[Start]** (スタート) > **[Programs]** (プログラム) > **[Microsoft ActiveSync]** を選択します。

✓ **注** ES400 ごとに、一意のデバイス名を割り当てます。複数の ES400 を同じ名前同期しないようにしてください。

2. **[ActiveSync]** ウィンドウで、**[File]** (ファイル) > **[Connection Settings]** (接続の設定) を選択します。**[Connection Settings]** (接続の設定) ウィンドウが表示されます。
3. **[Allow USB connections]** (USB 接続を有効にする) チェック ボックスをオンにします。
4. **[Show status icon in Taskbar]** (タスク バーにステータス アイコンを表示する) チェック ボックスをオンにします。
5. 変更内容を保存するには、**[OK]** を選択します。

ES400 との同期

✓ **注** ES400 がホストコンピュータに接続され、ActiveSync 接続が確立されると、WLAN 無線通信 (該当する場合) が無効になります。これは、Microsoft のセキュリティ機能によって 2 つのネットワークへの同時接続ができないように設定されているためです。

ES400 と同期するには、次の手順に従います。

1. **[Get Connected]** (接続済み) ウィンドウがホストコンピュータ上に表示されない場合は、**[Start]** (スタート) > **[ActiveSync]** を選択してから、**[Next]** (次へ) をクリックします。
2. Microsoft Exchange を実行しているサーバーがある場合は、同期するようにチェック ボックスをオンにしてから、**[Next]** (次へ) をクリックします。
3. 適切な設定を選択してから、**[Next]** (次へ) をクリックし、**[Finish]** (完了) をクリックします。

初回の同期では、ES400 に保存された情報がホストコンピュータにコピーされます。コピーが完了して、すべてのデータが同期されると、ES400 をホストコンピュータから切断できます。

✓ **注** 初回の ActiveSync の操作は、ローカルの直接接続で実行する必要があります。Windows Mobile は、コールド ブート後にも、パートナーシップ情報を保持します。

ActiveSync の使用方法の詳細については、ホストコンピュータで ActiveSync を起動して、ActiveSync ヘルプを参照してください。

第13章 メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに

この章では、ES400 のクリーニングと保管方法、および ES400 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

ES400 のメンテナンス

トラブルを避けるため、ES400 の使用中は次の注意事項を守ってください。

- ES400 の画面を引っかかないでください。ES400 の操作中は、付属のスタイラス、またはタッチスクリーンでの使用を目的とした先端がプラスチックのペンをご使用ください。ES400 の画面の表面で、実際のペンや鉛筆、その他の鋭いものを使用しないでください。
- ES400 のタッチスクリーンはポリカーボネート製です。ES400 を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ES400 は極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、ES400 の保管を避けてください。
- ES400 をクリーニングするには、レンズ用の柔らかい布を使用してください。ES400 のディスプレイが汚れた場合は、柔らかい布に薄めた窓ガラス洗剤を湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 装置を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で装置を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、ユーザー ガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。

- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +40°C (32°F ~ 104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) にお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として 利用するデバイスは、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみに接続することができます。
- IEEE1725 の 10.2.1 の要件に従った承認済みバッテリーを認証するため、すべてのバッテリーに、Motorola のホログラムを添付しています。Motorola の認証ホログラムを確認せずにバッテリーを取り付けしないでください。
- 分解または外殻を開くこと、粉碎、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の装置を硬い面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に適切に従って廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーの破損が疑われる場合は、Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) に検査を依頼してください。

クリーニング



注意 必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、Motorola に詳細をお問い合わせください。



警告 高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。

必要な材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒

- イソプロピルアルコール
- 管つき圧縮空気の缶

ES400 のクリーニング

筐体

アルコール脱脂綿で筐体を拭きます。キーやキーの間の部分も拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

カメラ ウィンドウ

レンズ用ティッシュペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的カメラ ウィンドウを拭いてください。

インタフェース コネクタ

1. ES400 のバッテリーを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、ES400 の背面のインタフェース コネクタ部分を軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. これを 3 回以上繰り返します。
5. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。
6. 乾いた綿棒で、ステップ 3 ~ 5 を繰り返します。
7. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。注意：ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。
8. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。
9. バッテリーを交換します。

バッテリー端子

1. ES400 のバッテリーを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、バッテリー下部のバッテリーの端子部分を軽くこすります。端子にコットンの屑が残らないようにしてください。
4. これを 3 回以上繰り返します。
5. アルコールに浸した綿棒で、端子付近の油分や埃を拭き取ります。
6. 乾いた綿棒で、ステップ 3 ~ 5 を繰り返します。

7. 圧縮空気を端子部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。注意：ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。
8. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。
9. ES400 にバッテリーを差し込み直します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから USB 急速充電ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタの全面も、綿棒で拭く必要があります。
5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。注意：ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。
6. 綿棒の屑が残っていないことを確認し、屑が残っていれば取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ~ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。
気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断してください。必要に応じた頻度でクリーニングを行うことができます。ただし、埃の多い環境で使用する場合は、スキャンのパフォーマンスを最適に保つため、スキャナ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

トラブルシューティング

ES400

表 13-1 ES400 のトラブルシューティング

現象	原因	対処方法
ES400 がオンにならない。	バッテリーが充電されていない。	ES400 のバッテリーを充電または交換します。
	バッテリーが適切に取り付けられていない。	バッテリーを適切に取り付けます。1-5 ページの「 バッテリーの取り付け 」を参照してください。
	システムがクラッシュしている。	リポートします。2-21 ページの「 ES400 をリセットする 」を参照してください。
バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換します。それでも ES400 が動作しない場合は、リポートします。2-21 ページの「 ES400 をリセットする 」を参照してください。
	クレードルまたはケーブルに電源が供給されていない。	電源がクレードルまたはケーブルに接続されていることを確認します。バッテリー状態 LED が緑色に点滅している場合は、ES400 が充電中であることを示しています。
	バッテリーの充電中に ES400 をクレードルから取り外した。	ES400 をクレードルに差し込みます。1540 mAh バッテリーの場合は 3 時間以内、3080 mAh バッテリーの場合は 6 時間以内に充電が完了します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
	ES400 が機能しない。	リポートします。2-21 ページの「 ES400 をリセットする 」を参照してください。
ディスプレイの文字が見えない。	ES400 の電源がオンになっていない。	電源ボタンを押します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、ES400 をクレードルから取り外したか、ホストコンピュータから切断した。	ES400 をクレードルに差し込むか、USB 急速充電ケーブルをつなぎ直して再度転送を行います。
	通信ソフトウェアのインストールや構成が正しくない。	セットアップを実行します。詳細については、12-11 ページの「 ActiveSync 」を参照してください。
音が鳴らない。	音量設定が低いかわずかオフになっている。	音量を調整します。2-19 ページの「 音量を調節する 」を参照してください。
ES400 の電源が突然切れる。	ES400 が非アクティブになっている。	The ES400 は一定の時間非アクティブになっていると電源がオフになります。詳細については、2-16 ページの「 Power & Radio (電源/無線) 」を参照してください。
	バッテリーが完全に放電してある。	バッテリーを充電または交換します。

表 13-1 ES400 のトラブルシューティング (続き)

現象	原因	対処方法
ウィンドウのボタンやアイコンをタップしても、対応する機能が動作しない。	スクリーンが正しく調整されていない。	スクリーンを再調整します。 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Screen] (画面) > [Align Screen] (スクリーンの調整) ボタンをタップします。
	ES400 の反応がない。	ES400 をリポートします。 2-21 ページの「ES400 をリセットする」 を参照してください。
ES400 のメモリが満杯というメッセージが表示される。	ES400 に保存されているファイルが多すぎる。	使用しないメモや記録を削除します。必要に応じて、その記録をホストコンピュータに保存します (または microSD カードを使用してメモリを追加します)。
	ES400 にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーが ES400 にインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを復元します。 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Remove Programs] (プログラムの削除) をタップします。使用していないプログラムを選択し、 [Remove] (削除) をタップします。
カメラアプリケーションが起動しない。	DataWedge アプリケーションが実行中である。	DataWedge アプリケーションを終了します。 [スタート] > [設定] > [システム] > [DataWedge] をタップします。 [実行中] をタップして DataWedge を終了し、 [OK] をタップします。
バーコードの読み取り中に ES400 でデコードできない。	スキャン アプリケーションがロードされていない。	ES400 にスキャン アプリケーションをロードします。システム管理者にお問い合わせください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	スキャナ ウィンドウとバーコードとの距離が適切ではない。	ES400 を正しいスキャン範囲に置きます。
	バーコード用に ES400 が設定されていない。	スキャンするバーコードに対応するように、ES400 を設定します。EMDK を参照してください。
	ES400 がビープ音を鳴らすように設定されていない。	正しく読み取ったときに ES400 がビープ音を鳴らさない場合は、正しく読み取ったときにビープ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
SIM カードが取り付けられていると通話サービスを利用できない。	SIM カードが正しく取り付けられていない可能性がある。	SIM カードを取り付け直し、正しくセットされていることを確認します。 1-4 ページの「SIM カードの取り付け (GSM の場合のみ)」 を参照してください。

Bluetooth の接続

表 13-2 Bluetooth の接続に関するトラブルシューティング

現象	原因	対処方法
ES400 が近くの Bluetooth デバイスを検出できない。	他の Bluetooth デバイスから遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10 m (32.8 フィート) 以内に ES400 を近づけます。
	近くの Bluetooth デバイスの電源がオンになっていない。	Bluetooth デバイスの電源をオンにします。
	Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に応じて、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
Bluetooth 電話と ES400 を接続しようとしたときに、すでにペアリングされた ES400 が使用されていると電話機が認識する。	電話機が、Bluetooth 無線を介して最後にペアリングした ES400 の名前とアドレスを記憶している。	電話機から、ペアリングしているデバイスと名前を手動で削除します。削除方法については、電話機のユーザー マニュアルを参照してください。

シングル スロット USB クレードル

表 13-3 シングル スロット USB クレードルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
ES400 バッテリーが充電されない。	ES400 をクレードルから、またはクレードルを電源から抜くのが早すぎた。	クレードルに電力が供給されていることを確認します。ES400 が正しくセットされていることを確認します。1540 mAh バッテリーの場合は 3 時間以内、3080 mAh バッテリーの場合は 6 時間以内に充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	クレードルに電源が供給されていない。	電源がクレードルに接続されていることを確認します。ES400 LED が緑色に点滅している場合は、ES400 が充電中であることを示しています。
	ES400 がクレードルに完全にセットされていない。	ES400 をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように取り付け直します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
	シングル スロット USB クレードルが正常に機能していない。	シングル スロット USB クレードルを交換します。

表 13-3 シングル スロット USB クレードルのトラブルシューティング (続き)

症状	考えられる原因	アクション
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	ES400 が通信中にクレードルから取り外された。	ES400 をクレードルに戻し、転送し直します。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	12-11 ページの「ActiveSync」 の説明のとおりセットアップを実行します。
	適切でないUSBケーブルが使用されている。	ES400 に付属している USB 急速充電ケーブルを使用します。

車載用ホルダー

表 13-4 車載用ホルダーのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
ES400 LED が緑色で点滅または点灯しない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源入力ケーブルが、クレードルの電源ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。
ES400 バッテリーが充電されない。	クレードルから ES400 を取り外すのが早すぎた。	ES400 をクレードルに差し込み直します。1540 mAh バッテリーの場合は 3 時間以内、3080 mAh バッテリーの場合は 6 時間以内に充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	バッテリーを交換します。
	充電器に電源が供給されていない。	電源が充電器に接続されていることを確認します。ES400 LED が緑色に点滅している場合は、バッテリーが充電中であることを示しています。
	ES400 がクレードルに正しく差し込まれていない。	クレードルから ES400 を取り外し、正しく差し込み直します。それでもバッテリーが充電されない場合は、カスタマ サポートにお問い合わせください。ES400 が正しく差し込まれ、充電されている場合、ES400 LED が緑色で点滅します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F) の場所に移動します。
	車載用ホルダーが正常に機能していない。	車載用ホルダーを交換します。

付録 A 技術仕様

ES400 の技術仕様

次の表に、Enterprise Smart Phone の設計動作環境とハードウェアの技術仕様を示します。

ES400

表 A-1 ES400 の技術仕様

項目	説明
外観・機能など	
寸法	1540 mAh バッテリー装着時： 高さ：129 mm (5.08 インチ) 幅：60.4 mm (2.38 インチ) 奥行き：16.5 mm (0.67 インチ) 3080 mAh バッテリー装着時： 高さ：129 mm (5.08 インチ) 幅：60.4 mm (2.38 インチ) 奥行き：21.5 mm (0.85 インチ)
重量	1540 mAh バッテリー装着時： 156 g (5.5 オンス) 3080 mAh バッテリー装着時： 188.5 g (6.5 オンス)
ディスプレイ	PenTile® 対角径 3 インチ カラー ディスプレイ、タッチスクリーン、VGA 640 x 480 (縦長)、750nit 超の Super Bright (発光)
タッチ パネル	操作を実感できる「タッチ バイブレーション機能」を搭載したポリカーボネート製アナログ抵抗膜式
バックライト	LED バックライト
バッテリー	充電式リチウム イオン 3.7V、1540 または 3080 mAh スマート バッテリー

表 A-1 ES400 の技術仕様 (続き)

項目	説明
拡張スロット	microSD カード スロット。最大 32 GB のカードまでサポート。
ネットワーク接続	ハイ スピード USB (ホストおよびクライアント)
通知	プログラム可能な LED、音声通知およびバイブレーション通知
キーボード オプション	英数字、QWERT、QWERTZ および AZERTY
オーディオ	VoWWAN、VoWLAN、PTT および TEAM Express 準拠、高耐久性オーディオ コネクタ、高音質スピーカーフォン、有線/無線 (Bluetooth) ヘッドセットのサポート、PTT ヘッドセットのサポート、ヘッドセット モードおよびスピーカーフォン モード
性能	
CPU	600MHz、ARM 11 プロセッサ、MSM 7627
オペレーティング システム	Microsoft® Windows Mobile™ 6.5.3 Professional
メモリ	256MB RAM/1GB フラッシュ
インタフェース	Motorola エンタープライズ UI、カスタマイズ可能なホーム スクリーン、高機能ダイヤラ、およびエンタープライズ カメラ ソリューション
出力	USB: 5VDC @ 100mA (最大)
動作環境	
動作温度	-0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃性能	Military Standard (MIL-STD) 810G に準拠した 4 フィート (1.22m) の耐落下衝撃性能、動作温度範囲内で 3 フィート (0.91m) の高さからビニール被覆コンクリート面に落下しても動作可能 (32°F/0°C、室温、および 104°F/40°C の条件下で 36 回落下)
転倒衝撃	室温環境下で 1.65 フィート (0.5m) の転倒を 150 回繰り返しても動作可能 (連続 300 回の落下に相当)、IEC の該当する耐転倒衝撃仕様に準拠および高水準達成
静電気放電 (ESD)	± 15kVdc 大気放電、± 8kVdc 直接放電、± 8kVdc 間接放電
シーリング加工	MIL-STD 810G の防滴規格に準拠、IP42 シーリング規格に準拠および高水準達成
振動	MIL-STD 810G Method 514.5、figure 514.5C-1、軸当たり 1 時間
耐熱衝撃性	-20°C ~ 70°C (-20°F ~ 158°F) の急激な温度変化
高度	-1,200 フィート (-365 m) ~ 15,000 フィート (4,572 m) (使用時) 15,000 フィート (4,572 m) (輸送時)
キーボード/側面ボタン	100 万回のプッシュ操作

表 A-1 ES400 の技術仕様 (続き)

項目	説明
無線 WAN データおよび音声通信	
無線	デュアル 3.5G: 音声 / データ通信用の GSM HSDPA/HSUPA および CDMA-EVDO Rev A ブロードバンド
周波数	UMTS/HSDPA および HSUPA: 850、1900 および 2100MHz GSM/EDGE: (850、900、1800、および 1900MHz) CDMA/EVDO Rev A: 850 および 1900MHz
アンテナ	内部アンテナ: プライマリおよびダイバーシティ
統合 GPS	
GPS	統合スタンドアロンまたはアシスト GPS (A-GPS)
無線 LAN データ / 音声通信	
無線	3 モード IEEE® 802.11a/b/g
サポートされているデータ伝送速度	1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、54Mbps
動作チャンネル	チャンネル 36 ~ 165 (5180 ~ 5825MHz) チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472MHz) チャンネル 14 (2484MHz) 日本のみ 実際の動作チャンネル / 周波数は、各地域の規制および承認機関によって異なります
セキュリティ	WPA2 (Personal または Enterprise)、802.1x、EAP-TLS、TTLS (CHAP、MS-CHAP、MS-CHAPv2、PAP、または MD5)、PEAP (TLS、MSCHAPv2、EAP-GTC)、LEAP、EAP-FAST (TLS、MS-CHAPv2、EAP-GTC)
アンテナ	内部アンテナ
音声通信	VoIP 対応 (P2P、PBX、PTT クライアント)、Wi-Fi™ 準拠、IEEE 802.11a/b/g スペクトラム拡散ダイレクトシーケンス (DS) 方式、Wi-Fi Multimedia (WMM)、Motorola Voice Quality Manager (VQM)
無線 PAN データ / 音声通信	
Bluetooth	Class II、v 2.0 Enhanced Data Rate (EDR)、内蔵アンテナ
準拠	
安全規格	IEC/UL/CSA/EN 60950-1
耐環境	RoHS/WEEE 準拠
WLAN および Bluetooth (PAN)	米国 : FCC Part 15.247、15.407 カナダ : RSS-210 EU : EN 300 328、EN 301 893 日本 : ARIB STD-T33、T66、T70、T71 オーストラリア : AS/NZS 4268

表 A-1 ES400 の技術仕様 (続き)

項目	説明
無線 WAN	GSM-HSDPA グローバル : 3GPP TS 51.010、3GPP TS 34.121、3GPP TS 34.123、GCF および PTCRB 認定モジュール 米国 : FCC Part 22、Part 24 カナダ : RSS-132、RSS-133 EU : EN 301 511、EN 301 908 オーストラリア : AS/ACIF S 024.1 および 3 CDMA-EvDO Rev A 米国 : FCC Part 22、Part 24 カナダ : RSS-132、RSS-133 HAC 準拠
無線周波放射	米国 : FCC Part 2、FCC OET Bulletin 65 Supplement C カナダ : RSS-102 EU : EN 50360、EN62311 日本 : ARIB STD T56 オーストラリア : Radio communications Standard 2003
EMI/RFI	米国 : FCC Part 15、Class B カナダ : ICES 003 Class B EU : EN55022 Class B、EN55024、EN 301 489-1、EN 301 489-3、EN 301 489-7、EN 301 489-17、EN 301 489-24、EN 60601-1-2、EN 50121-3-2、EN 50121-4 オーストラリア : AS/NZS CISPR-22
データ収集オプション	
データの種類	1D および 2D バーコード、写真、動画、署名、文書
カラー カメラ	
解像度	3.2 メガ ピクセル、照明ライトとオート フォーカス
照明	データ収集を効率化するためのユーザーが制御可能な光源
レンズ	オートフォーカス
バーコード スキャナ	内蔵式 1D および 2D デコーダ、ユーザーが制御可能な赤線 LED 照準器
Motorola のインタラクティブ センサー テクノロジ	
運動センサー	スクリーンの向きの動的変更および電源管理を可能にする、3 軸式加速度計を利用した運動センサー機能を装備

表 A-2 データ収集オプション

項目	説明		
カメラ読み取り機能	1-D バーコード		
	Code 39	UPCA	UPCE
	WEAN13	EAN8	Code 128
	UCC/EAN 128	ISBT128	Code 93
	Code 11	Web Code	MSI
	Interleaved 2 of 5	Discrete 2 of 5	Codabar
	UPCE1	Coupon CODE	Trioptic 39
	Chinese 2 of 5	Korean 3 of 5	GS1 DataBar
	GS1 DataBar Truncated	GS1 DataBar Limited	GS1 DataBar Stacked
	GS1 DataBar Expanded	GS1 DataBar Expanded Stacked	
	GS1 DataBar Stacked Omni		
	2-D バーコード		
	PDF-417	Micro PDF	Marco Micro PDF
	Composite AB	Composite C	Data MAtrix
	QR Code	Micro QR	Aztec
	Linked Aztec	US Planet	US Postnet
	UK 4-state	Australian 4-state	Japanese 4-state
	Dutch Postal	UK Intellimail	Signature
	Image		

ヘッドセット

ES400 は、以下のジャック レイアウトの 2.5mm 有線ヘッドセット ジャックを接続できます。

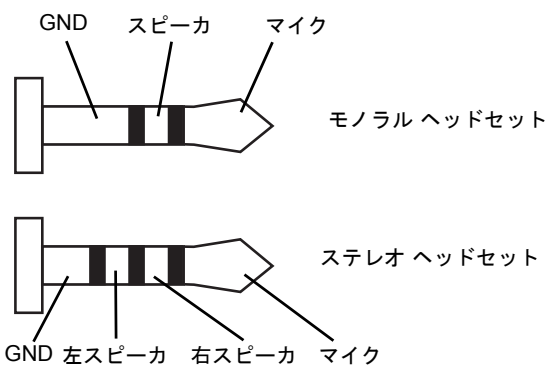


図 A-1 ヘッドセット ジャック

ES400 アクセサリの仕様

シングル スロット USB クレードル

表 A-3 シングル スロット USB クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ: 56 mm (2.2 インチ) 幅: 81.6 mm (3.21 インチ) 奥行き: 93 mm (3.66 インチ)
重量	228 g (8.04 オンス)
入力電力	5 VDC、1.2 A
インタフェース	USB
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

付録 B キーパッド

はじめに

ES400 には、次の 3 種類の英数字キーパッド構成があります。

- QWERTY
- AZERTY
- QWERTZ

キーパッドでは、26 文字の英字 (A-Z、大文字と小文字)、数字 (0-9)、および各種文字を入力できます。キーパッドは色分けされており、特定の文字を入力したり機能を実行するのに必要な修飾キーが示されています。キーパッドのデフォルトの文字は、英字小文字です。キーとボタンの説明については、[表 B-1](#) を参照してください。キーパッドの特殊文字については、[B-4 ページの表 B-2](#) を参照してください。



図 B-1 QWERTY キーパッド



図 B-2 AZERTY キーボード



図 B-3 QWERTZ キーボード

表 B-1 キーボードの説明





キー	アクション
fn キー 	文字と操作の第 2 階層 (キーボードにオレンジで示されている項目) にアクセスします。 このモードを一時的にアクティブにするには、オレンジ キーを 1 回押して別のキーを押します。LED のライトがオンになり、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコンが表示されます。  このモードをロックするには、オレンジ キーを 2 回押します。LED のライトがオンになり、画面の下部に次のアイコンが表示されます。  オレンジ キーを 3 回押すと、ロックが解除されます。
Talk (通話) 	Talk (通話) (緑色の電話): 電話キーボード ウィンドウを表示したり、電話キーボード ウィンドウで電話番号をダイヤルする場合に押します。

表 B-1 キーパッドの説明 (続き)














キー	アクション
End (終了) 	End (終了) (赤色の電話): 電話キーパッド ウィンドウが表示されているときに、ダイヤルを終了する場合、または通話を終了する場合に押します。
Scan (スキャン) 	スキャン対応アプリケーションでバーコードリーダーがアクティブになります。
Optical Nav Pad (光学ナビゲーションパッド) 	画面全体を移動するのに使用し、アイテムを選択する場合にキーを押します。
Email (電子メール) 	Messaging (メッセージング) アプリケーションを開く場合に使用します。 fn キーと一緒に押すと、カーソルが切り替わります。
Start (スタート) 	画面をタップすることなく、あらゆるアプリケーションから [Start] (スタート) メニューを瞬時に表示できます。
OK 	開いているアプリケーションを閉じるのに使用します。
Shift 	英字小文字モードを英字大文字モードに切り替えます。 このモードを一時的にアクティブにするには、Shift キーを 1 回押して別のキーを押します。 2 番目のキーを押すまで画面の下部に次のアイコンが表示されます。  このモードをロックするには、Shift キーを 2 回押します。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。  ロックを解除するには、Shift キーをもう一度押します。
Backspace 	前の文字を削除します。
Enter 	Enter 選択した項目または機能を実行します。

表 B-1 キーパッドの説明 (続き)

キー	アクション
SPACE 	スペース文字が入力されます。
TAB 	読み取り幅を切り替えます。

特殊文字キー

ES400 を使用して特殊文字を追加するには、画面に特殊文字が表示されるまでキーを押し続け、目的の文字を選択します。
表 B-2 は、使用可能な特殊文字の一覧です。

表 B-2 特殊文字

キー	特殊文字	キー	特殊文字
a	á ä å ä å à ã æ ä ã	A	Á Â Ã Ä Å Æ Ā Ą
c	ç ċ ċ	C	Ç Ć Ć
d	ď đ	D	Ď Đ
e	é è ê ë ě ě	E	É È Ê Ě Ě Ě
g	ǧ	G	Ǧ
i	í î ï ï ï	I	Í Î Ï Ì Ì
l	ł ł	L	Ł Ł Ł
n	ñ ñ ñ	N	Ñ Ñ Ñ
o	ó ò ø ô õ ö œ	O	Ó Ò Ø Ô Õ Ö Œ
r	ř ř	R	Ř Ř
s	š ś ș ș	S	Š Ś Ș Ș
t	ť ť	T	Ť Ť
u	ú û ü ù ú ú	U	Ú Û Ü Ù Ú Ú
w	ŵ	W	Ŵ
y	ý ŷ	Y	Ý Ŷ
z	ž ž ž	Z	Ž Ž Ž

付録 C Windows Mobile のホーム画面と Dialer

はじめに

この付録では、オプションの Windows Mobile のホーム画面と Windows Mobile Dialer の機能について説明します。


Windows Mobile のホーム画面

Windows Mobile のホーム画面はスクロール可能で、この画面にはアプリケーション プラグインの一覧と情報ステータス バーがあります。情報ステータス バーは、その下のアプリケーション プラグインを強調表示し、追加情報を表示します。



図 C-1 Windows Mobile のホーム画面

Windows Mobile のホーム画面を有効にするには、次の手順を行います。

1.  > **[Setting]** (設定) > **[Home]** (ホーム) をタップします。
2. 水平スクロールで **[Items]** (項目) を選択します。
3. 項目のリストで **[Windows Default]** (Windows デフォルト) チェック ボックスをオンにし、他のチェック ボックスをオフにします。

4. [OK] をタップすると、Windows Mobile のホーム画面が表示されます。

指で画面に触れたまま、ホーム画面を上下に移動させます。アプリケーション名が情報ステータス バーの下に移動すると、そのアプリケーションに関連する情報がバーに表示されます。



図 C-2 [Today] (今日) 画面の移動

また、情報ステータス バーに触れたまま、アプリケーション名の上を上下に移動させることもできます。指を離すと、情報ステータス バーとアプリケーション名は画面の中央に戻ります。

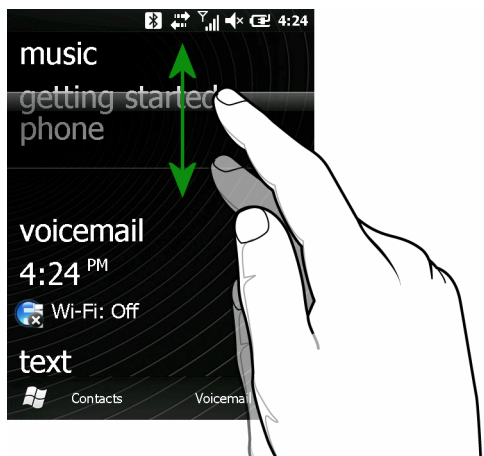


図 C-3 情報ステータス バーの移動



図 C-4 情報バーの例

ホーム画面をカスタマイズするには、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **Today** (今日) アイコンをタップします。背景をカスタマイズするには **[Appearance]** (デザイン) タブを使用し、表示形式を変更するには **[Items]** (項目) タブを使用します。

クラシック [Today] (今日) 画面

ユーザーは、[Today] (今日) 画面を Windows Mobile 6.1 で使用されるクラシック レイアウトに変更できます。

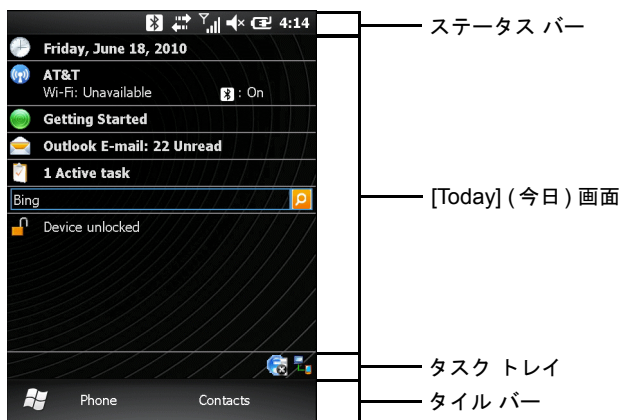


図 C-5 クラシック [Today] (今日) 画面

クラシック ビューに変更するには、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Home]** (ホーム) > **[Items]** (項目) の順にタップします。

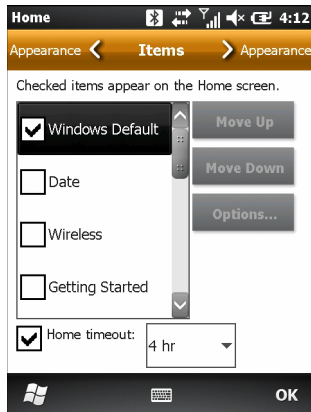


図 C-6 ホーム画面の設定

[Windows Default] (Windows デフォルト) チェック ボックスをオフにし、**[Motorola Home]** (Motorola ホーム) 以外のチェック ボックスをすべてオンにします。

[OK] をタップします。

画面下部のタスク バーには、表 C-1 に示しているタスク トレイ アイコンが表示されます。

表 C-1 タスク トレイ アイコン

アイコン	名前	説明
	Fusion	Fusion が有効になっているときに、WLAN の信号強度を示します。
	WZC	WZC が有効になっているときに、WLAN の信号強度を示します。
	ActiveSync	ES400 とホスト コンピュータ間のシリアル接続が有効です。

[Start] (スタート) 画面

[Start] (スタート) 画面を開くには、画面の左下角にある をタップするか、キーパッドの を押します。

その他のプログラムとフォルダのアイコンを表示するには、上方向にスワイプします。

頻繁に使用するプログラムとフォルダ アイコンを、[Start] (スタート) 画面の任意の場所に移動し、使いやすい場所に配置することもできます。移動するアイコンを押し続けて、目的の場所に移動して離します。

Windows Mobile Dialer

ES400 では、電話をかけたり、短縮番号を設定したり、通話履歴を管理したり、テキストメッセージを送信したりすることができます。また、無線サービス プロバイダによっては、音声メール、通話転送、発信者 ID などのサービスが提供されていることもあります。

統合されている電話機能を使用して、ISP や企業ネットワークに接続して、Web を閲覧したり電子メールを読んだりすることもできます。インターネットや企業ネットワークには、セルラー回線を使用して High-Speed Downlink Packet Access (HSDPA) または Evolution Data-Optimized (EvDO) で接続します。

Windows Mobile Dialer を有効にするには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Personal]** (パーソナル) > **Dialer Switcher** (ダイヤラのスイッチ) をタップします。
2. **[Microsoft Dialer]** オプションをタップします。
3. **[Save]** (保存) をタップします。




電話をかける

- ✓ **注** ES400 がロックされている場合、または SIM カードが装着されていない場合でも、緊急通話は可能です。詳細については、[C-9 ページの「緊急通話」](#) を参照してください。

ES400 では、電話キーパッド、連絡先、短縮ダイヤル、および通話履歴から電話をかけることができます。

電話キーパッドの使用

電話キーパッドを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1.  を押します。
2. ダイヤルまたはキーパッドで電話番号を入力します。入力した電話番号は、電話番号欄に表示されます。
3.  を押します。
4. ダイヤル操作や通話を終了するには、 をタップします。

- ✓ **注** 電話番号を間違えて入力した場合は、[Delete] (削除) キーをタップして、カーソルの後ろにある数字を 1 つずつ消去できます。電話番号全体を消去するには、[Delete] (削除) キーをタップして押し続けます。

スマートダイヤル

スマートダイヤルにより、電話番号を容易に入力することができます。数字または文字を入力するときに、スマートダイヤル機能によって自動的に SIM カード上の [Contacts] (連絡先) 内の連絡先エントリ、および [Call History] (通話履歴) (着信、発信、不在着信など) の電話番号が検索され、並び替えられます。その後、その検索結果から、目的の電話番号または連絡先を選択して、ダイヤルすることができます。

[Phone] (電話) 画面を開き、発信する電話番号または連絡先に対応するキーをタップします。連絡先パネルに、入力した内容に一致する連絡先が表示されます。

スマートダイヤル機能によって、入力した内容に一致する番号または連絡先の検索が開始されます。

電話番号を検索するには、次の手順に従います。

- [Call History] (通話履歴) で電話番号を探すには、最初の 1 桁または 2 桁を入力します。
- 保存されている [Contacts] (連絡先) および SIM カードから電話番号を探すには、最初の 3 桁以上を入力します。



連絡先名を検索するには、次の手順に従います。

- 連絡先の姓または名前の最初の 1 文字を入力します。スマートダイヤル機能はその文字を、連絡先名の先頭文字だけではなく、連絡先名に含まれるスペース、ハイフン、アンダースコアに続く文字から検索します。たとえば、[2] ([Phone] (電話) キーパッドの [a, b, c] に対応) をタップすると、「Smith, Bernard」、「Adams, John」、「Carlson, Eileen」、「Dillon, Albert」、「Childs, Larry」、「Cooper, Robert」、「Parks, Celine」などの連絡先名が一致しているとみなされます。
- 検索結果が多い場合は、さらに文字を入力して結果を絞り込みます。上記の例の場合、[3] ([d, e, f] に対応) をタップすると、「Smith, Bernard」、「Adams, John」、「Parks, Celine」などの連絡先名に絞り込まれます。



図 C-7 連絡先の検索

スマートダイヤル機能を使用して、電話をかけたり、テキストメッセージを送信するには、次の手順に従います。

1. 目的の番号または文字の先頭から数文字を入力します。
2. [Smart Dialing] (スマートダイヤル) パネルで、キーパッドの上/下矢印を使用して、目的の連絡先または電話番号に移動します。
3. 目的の連絡先が選択されたら、 を押して音声通話を開始します。
4. 選択されている連絡先にテキストメッセージを送信するには、 > [Send Text Message] (テキストメッセージを送信) をタップします。
5. 選択されている連絡先に関連付けられている異なる電話番号に電話をかけるには、連絡先名をタップして、電話番号を選択します。

連絡先の使用

連絡先を使用することで、電話番号を探したり入力することなく電話をかけることができます。

連絡先から電話をかけるには、次の手順に従います。

1. [Contacts] (連絡先) をタップします。
2. 連絡先のリストで、連絡先の名前をタップして押し続けます。

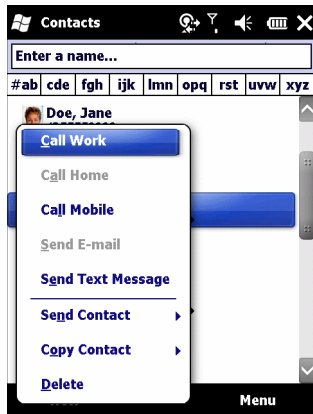


図 C-8 [Contacts] (連絡先) メニュー

3. [Call Work] (仕事)、[Call Home] (自宅)、または [Call Mobile] (携帯電話) をタップします。

✓ 注 未設定の連絡先から電話をかけるには、電話番号を入力します。連絡先の詳細については、デバイスのヘルプを参照してください。

通話履歴の使用

通話履歴を使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1.  を押します。
2. [Phone] (電話) キーパッドで、[Call History] (通話履歴) をタップします。

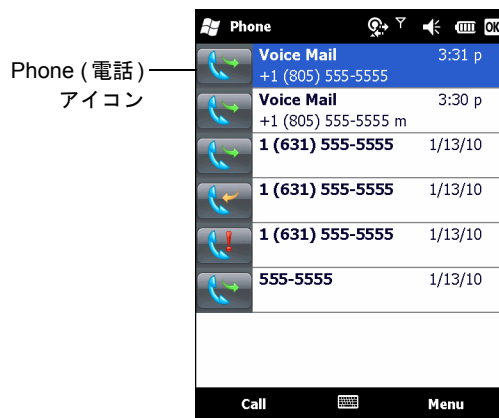




図 C-9 [Call History] (通話履歴) ウィンドウ

3. 番号の横にある Phone (電話) アイコンをタップすると、ダイヤル操作が開始され、電話キーパッドに戻ります。
4. ダイヤル操作を終了したり通話を終了するには、ES400 のキーパッドの  を押します。

短縮ダイヤルの使用

短縮ダイヤルを使用して、短縮ダイヤルに登録されている相手に電話をかけることができます。

短縮ダイヤルを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。


1.  を押します。
2. キーパッドで、連絡先に割り当てられている短縮ダイヤル ロケーション番号をタップして押し続けます (1 桁の短縮ダイヤル場所番号にダイヤルするには、短縮ダイヤル ロケーション番号をタップして押し続けます。2 桁の短縮ダイヤル ロケーション番号にダイヤルするには、1 桁目をタップし、2 桁目をタップして押し続けます)。

または

キーパッドで、**[Speed Dial]** (短縮ダイヤル) をタップして、リスト内の目的の連絡先の短縮ダイヤル ロケーションをタップします。



図 C-10 短縮ダイヤル連絡先リスト

3. ダイヤル操作を終了したり通話を終了するには、 を押します。

電話に応答する

着信すると、ES400 にダイアログ ボックスが表示されます。呼び出し音が鳴るように設定されている場合は、呼び出し音が鳴ります。着信に応答するか、着信を無視します。

着信に応答するには、ダイアログ ボックスの **[Answer]** (応答) をタップするか、 を押します。

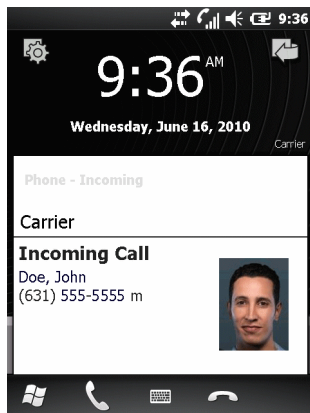








図 C-11 着信

着信を無視するには、 をタップするか、 を押します。サービス プロバイダによっては、この操作により、発信者が音声メールに接続されます。それ以外の場合は、発信者に話中音が流れます。

通話を終了するには、 を押します。

着信機能

- 通話中に ES400 で他のプログラムを使用することができます。[Phone] (電話) に戻るには、 を押すか、[Start] (スタート) > [Phone] (電話) をタップします。通話を終了するには、 を押します。
- 発信者が連絡先リストに登録されていない場合は、通話中に連絡先を作成することができます。または、[Call History] (通話履歴) で [Menu] (メニュー) > [Save to Contacts] (連絡先に保存) をタップして連絡先を作成することもできます。
- 通話中に着信した場合に、現在の通話を終了して、着信に応答するには、[Phone] (電話) キーパッドで [End] (終了) をタップして現在の通話を切断し、[Answer] (応答) をタップするか **Send** (送信) キーを押して着信に応答します。
- 現在の通話を保留にして、着信に応答するには、[Answer] (応答) をタップするか  を押して現在の通話を保留にして、着信に応答します。
- 通話を保留にして別の番号に発信したり、着信に応答したりするには、[Hold] (保留) をタップします。通話を切り替えるには、[Swap] (切り替え) をタップします。

不在着信通知

着信に応答しなかった場合、ホーム画面に [Missed Call] (不在着信) マークが表示されます。

不在着信エントリを表示するには、ホーム画面で [Missed Call] (不在着信) ボックスをタップします。

緊急通話

サービス プロバイダは、あらゆる状況下で通話可能な 1 つまたは複数の緊急電話番号 (911 や 999 など) を用意しています。この番号には、電話がロックされていたり、SIM カードが装着されていなくても電話をかけることができます。サービス プロバイダは、追加の緊急番号を SIM カードに設定することができます。ただし、SIM カードに保存されている番号を使用するには、電話に SIM カードが装着されている必要があります。詳細については、サービス プロバイダにお問い合わせください。

英字優先キーパッドにロックされている場合は、オレンジ キーを 2 回押して、キーパッドを数字モードに切り替えて、緊急番号を入力します。

- ✓ **注** 緊急番号は、国によって異なります。一部の地域で電話機にあらかじめ設定されている緊急番号が使用できないことがあります。また、ネットワーク、環境、または干渉の問題により、緊急通話ができないこともあります。

通話をミュートする

通話中にマイクをミュートにして、相手の声は聞こえるが、こちらの会話は聞こえないようにすることができます。この機能は、会話しているときや騒音が激しい場合に便利です。


通話のミュート/ミュート解除を切り替えるには、ダイヤラで [Mute] (ミュート) をタップして、音声をミュートにします。[Mute] (ミュート) ボタンは [Unmute] (ミュート解除) に変わります。

短縮ダイヤルを使用する

短縮ダイヤルを作成すると、頻繁に電話する番号を 1 回タップするだけでダイヤルできるようになります。短縮ダイヤル エントリを作成する前に、電話番号が [Contacts] (連絡先) に存在することを確認してください。

短縮ダイヤル エントリの追加

電話キーパッドで短縮ダイヤル エントリを追加するには、次の手順に従います。

1. 連絡先と電話番号が [Contacts] (連絡先) リストに存在することを確認します。
2.  を押します。
3. **[Speed Dial]** (短縮ダイヤル) ボタン > **[Menu]** (メニュー) > **[New]** (新規) をタップします。
4. リスト内の目的の連絡先名と番号をタップします。

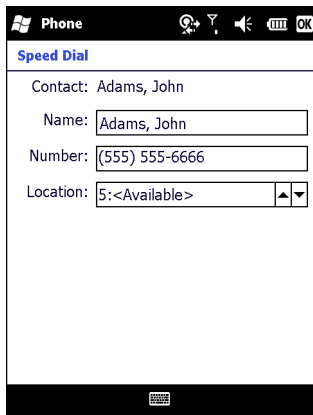



図 C-12 短縮ダイヤルの連絡先のロケーション

5. **[Location]** (ロケーション) フィールドで上/下矢印をタップして、新しい短縮ダイヤル エントリとして割り当て可能なロケーションを選択します。1 番目の短縮ダイヤルのロケーションは音声メール用です。
6. **[OK]** をタップして、連絡先を短縮ダイヤル リストに追加します。
7. **[OK]** をタップして、**[Speed Dial Contact List]** (短縮ダイヤル連絡先リスト) を終了します。

[Contacts] (連絡先) ウィンドウから短縮ダイヤル エントリを追加するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Contacts]** (連絡先) をタップします。
2. 連絡先名をタップします。
3. **[Menu]** (メニュー) > **[Add to Speed Dial]** (短縮ダイヤルに追加) をタップします。
4. 上/下矢印をタップして、新しい短縮ダイヤル エントリとして割り当て可能なロケーションを選択します。1 番目の短縮ダイヤルのロケーションは音声メール用です。
5. **[OK]** をタップします。

短縮ダイヤル エントリの編集

1.  を押します。
2. **[Speed Dial]** (短縮ダイヤル) ボタンをタップします。

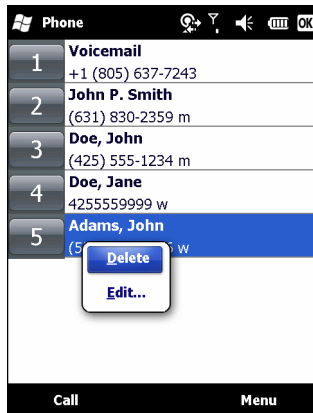



図 C-13 短縮ダイヤル連絡先リスト

3. 連絡先名をタップして押し続け、**[Edit]** (編集) をタップします。
4. 名前、電話番号、またはロケーション情報を変更します。
5. **[OK]** をタップします。

✓ 注 **[Speed Dial]** (短縮ダイヤル) で名前や電話番号を編集しても、**[Contacts]** (連絡先) (**[Start]** (スタート) > **[Contacts]** (連絡先) の連絡先情報は変更されません。

短縮ダイヤル エントリの削除




1.  を押します。
2. **[Speed Dial]** (短縮ダイヤル) ボタンをタップします。
3. 連絡先名をタップして押し続けます。
4. **[Delete]** (削除) をタップします。
5. **[Yes]** (はい) をタップして、短縮ダイヤル エントリを完全に削除します。

✓ 注 **[Speed Dial]** (短縮ダイヤル) から名前や電話番号を削除しても、**[Contacts]** (連絡先) (**[Start]** (スタート) > **[Contacts]** (連絡先) の連絡先情報は削除されません。

通話履歴を使用する

[Call History] (通話履歴) を使用して、最近通話を行った相手に電話をかけることができます。**[Call History]** (通話履歴) には、すべての通話 (着信、発信、不在着信) の発着信時間と通話時間が表示されます。また、全通話の概要が表示され、通話中に入力したメモに容易にアクセスすることができます。表 4-1 に、**[Call History]** (通話履歴) ウィンドウに表示される Call History (通話履歴) アイコンを示します。



表 C-2 Call History (通話履歴) アイコン

アイコン	説明
	すべての発信の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての着信の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての不在着信の連絡先情報の横に表示されます。



通話履歴の管理

表示を変更したり、通話タイマーをリセットしたり、通話を削除するなど、[Call History] (通話履歴) に保存されている通話を管理することができます。

[Call History] (通話履歴) の表示の変更

-  を押して、[Phone] (電話) ダイヤラを表示します。
- [Phone] (電話) ダイヤラで、[Call History] (通話履歴) をタップします。
-  > [Filter] (フィルタ) をタップして、メニューを表示します。
- メニューから表示タイプを選択して、不在着信、発信、着信のみが表示されるようにしたり、発信者名のアルファベット順に通話が表示されるようにすることができます。
- [OK] をタップして [Call History] (通話履歴) ウィンドウを終了します。

通話カウンタのリセット

-  を押して、[Phone] (電話) ダイヤラを表示します。
- [Phone] (電話) ダイヤラで、[Call History] (通話履歴) をタップします。
-  をタップします。
- [Call Timers...] (通話タイマー ...) を選択します。

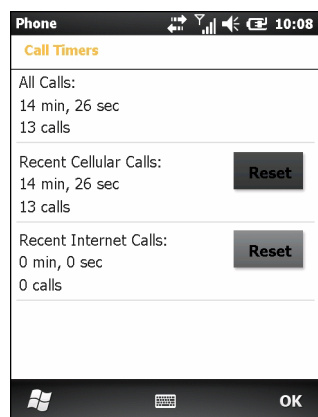





図 C-14 [Call History] (通話履歴) - 通話タイマー

5. **[Reset]** (リセット) をタップします (**[All Calls:]** (すべての通話;) カウンタはリセットできません)。
6. **[OK]** をタップして **[Call Timers]** (通話タイマー) ウィンドウを終了します。

すべての通話履歴項目の削除

1.  を押して、**[Phone]** (電話) ダイヤラを表示します。
2. **[Phone]** (電話) ダイヤラで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。
3.  をタップします。
4. **[Delete all calls]** (すべての通話を削除) を選択します。
5. **[Yes]** (はい) をタップします。
6. **[OK]** をタップして **[Call History]** (通話履歴) ウィンドウを終了します。

通話ステータスの表示

1.  を押して、**[Phone]** (電話) ダイヤラを表示します。
2. **[Phone]** (電話) ダイヤラで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。
3. エントリをタップします。 **[Call Status]** (通話ステータス) ウィンドウが表示されます。

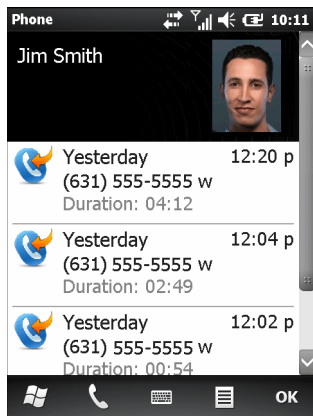



図 C-15 **[Call History]** (通話履歴) - 詳細

✓ 注 複数の通話を行っている場合は、最初の通話の通話時間のみが記録されます。

4. **[OK]** を 2 回タップして終了します。

[Call History] (通話履歴) メニューの使用

[Call History] (通話履歴) メニューを使用して、音声メールの発信、Activation Wizard (ライセンス認証ウィザード) へのアクセス、連絡先の保存、メモの表示、リストの削除、SMS の送信、および発信を行うことができます。

1.  を押して、**[Phone]** (電話) ダイヤラを表示します。

2. [Phone] (電話) ダイヤラで、[Call History] (通話履歴) をタップします。
3. リストで項目をタップして押し続けます。

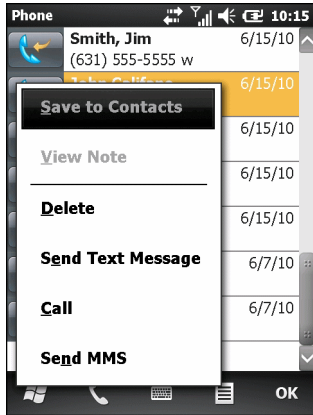



図 C-16 [Call History] (通話履歴) - メニュー

4. 必要に応じて、メニューから該当する項目を選択します。
5. 選択した項目に応じて、適切なウィンドウが表示されます。たとえば、[Send Text message] (テキストメッセージを送信) を選択すると、[Text Messages] (テキストメッセージ) ウィンドウが表示されます。
6. [OK] をタップして [Call History] (通話履歴) ウィンドウを終了します。

通話を切り替える (GSM)

2つの通話を切り替えるには、次の手順に従います。

1.  を押して、[Phone] (電話) ダイヤラを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、[Talk] (通話) をタップします。接続されると、キーパッドに [Hold] (保留) ボタンが表示されます。
3. [Hold] (保留) をタップして、最初の通話を保留にします。
4. 2番目の番号を入力して、[Talk] (通話) をタップします。

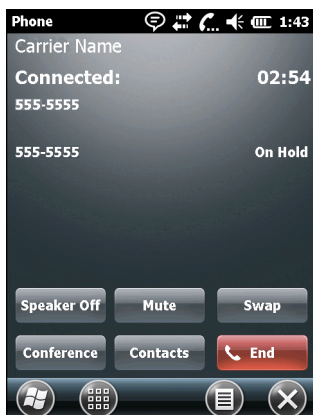



図 C-17 [Call Conferencing] (電話会議) - 会議中

5. **[Swap]** (切り替え) をタップして、通話を切り替えます。
6. 各通話を終了するには、**[End]** (終了) をタップするか、 を押します。

通話を切り替える (CDMA)

着信した 2 つの通話を切り替えるには、次の手順に従います。

1. **[Answer]** (応答) をタップして、最初の着信に応答します。

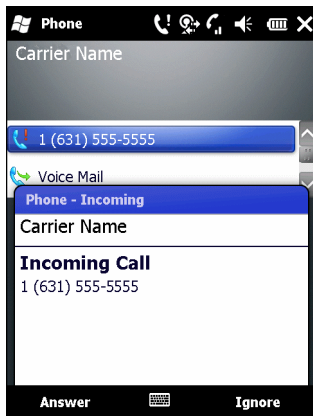


図 C-18 着信への応答

2. 2 番目の着信を受けたら、**[Answer]** (応答) をタップします。最初の通話が保留になります。
3. **[Flash]** をタップして、通話を切り替えます。

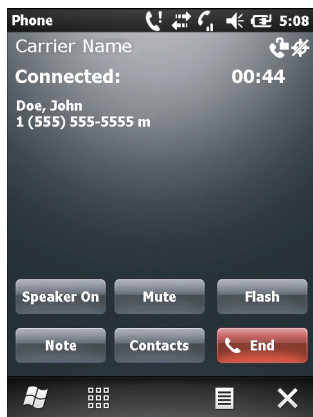







図 C-19 通話の切り替え



4. **[End]** (終了) をタップするか、キーパッドの赤色の電話キーを押して、現在の通話を終了します。もう一方の通話が再接続されます。**[Answer]** (応答) をタップして通話に接続します。
5. 最後の通話を終了するには、**[End]** (終了) をタップするか、キーパッドの  を押します。

会議通話 (GSM)

- ✓ **注** 一部のサービスでは、Conference Calling (会議通話) 機能を利用できないことがあります。また、最大会議通話数が異なる場合があります。Conference Calling (会議通話) を利用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。



1.  を押して、[Phone] (電話) ダイアラを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、[Talk] (通話) をタップします。接続されると、キーパッドに [Hold] (保留) ボタンが表示されます。
3. [Hold] (保留) をタップして、最初の通話を保留にします。
4. 2番目の電話番号を入力して、[Talk] (通話) をタップします。
5. 通話に応答した後に、 > [Conference] (会議) をタップして、通話を会議モードにします。
6. [Hold] (保留) をタップして、会議を保留にします。
7. 別の電話番号を入力して、[Talk] (通話) をタップします。
8. 通話に応答した後に、 > [Conference] (会議) をタップして、すべての通話を会議モードにします。
9. 最大 6 つの電話番号で手順 6 ~ 8 を繰り返します。
10. 会議通話を終了するには、[End] (終了) をタップするか、 を押します。

- ✓ **注** 会議通話で 1 人の相手と 2 人だけで話すには、 > [Private] (プライベート) をタップします。すべての通話先相手を再度参加させるには、 > [Conference] (会議) をタップします。

3 者通話 (CDMA)

- ✓ **注** 一部のサービスでは、3 者通話機能を利用できないことがあります。利用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

自分が発信者になり、2 人の通話先相手と 3 者通話セッションを確立するには、次の手順に従います。

1.  を押して、[Phone] (電話) ダイアラを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、[Flash] をタップします。
3. 2番目の相手に発信するには、[Keypad] (キーパッド) をタップします。2番目の番号を入力して、[Flash] をタップします。
4. 2番目の相手が応答したら、[Talk] (通話) をタップして、3 者通話セッションを確立します。
5. [Flash] をタップして、最後の通話を切断します。
6.  を押して、最初の通話を切断します。

付録 D ソフトウェアのインストール

以下のソフトウェアやデバイスなどを使用して ES400 にアプリケーションやオペレーティング システムの更新をインストールできます。

- Microsoft ActiveSync 4.5 以降
- ストレージ カード
- MSP
- AirBEAM
- イメージ ローダー (オペレーティング システムの更新用)

CAB ファイルについては、Microsoft Windows Mobile 6 ヘルプ ファイルを参照してください。

ActiveSync を使用したインストール

ActiveSync を使用してアプリケーションをインストールするには、次の手順に従います。

1. ActiveSync を使用して ES400 をホスト コンピュータに接続します。詳細については、[12-11 ページの「ActiveSync」](#)を参照してください。
2. ホスト コンピュータでパッケージ ファイルを探します。
3. ホスト コンピュータの ActiveSync で、ES400 のエクスプローラを開きます。
4. ホスト コンピュータから CAB をコピーして、ES400 の **¥temp** ディレクトリに貼り付けます。
5. ES400 の **¥temp** ディレクトリに移動します。
6. アプリケーションの CAB ファイルをタップして、ES400 にアプリケーションをインストールします。

ストレージ カードを使用したインストール

microSD カードを使用してアプリケーションをインストールするには、次の手順に従います。

1. 適切なストレージ カード リーダーを使用して、パッケージの CAB ファイルを microSD ストレージ カードにコピーします。
2. ES400 にストレージ カードを取り付けます。詳細については、[1-2 ページの「microSD カードの取り付け」](#)を参照してください。

3. ES400 で、**[File Explorer]** (ファイル エクスプローラ) を開きます。
4. **[Storage Card]** (ストレージ カード) ディレクトリを開きます。
5. パッケージの CAB ファイルをタップして、ES400 にアプリケーションをインストールします。

AirBEAM を使用したインストール

AirBEAM Smart Client には、下位互換性を備えた旧 AirBEAM 機能と旧 MSP 2.x Level 2 Agent 機能があります。

AirBEAM Smart Client の使用方法については、『AirBEAM Smart Windows CE Client Product Reference Guide』(p/n 72-63060-xx) を参照してください。

MSP

MSP 3 クライアント ソフトウェアには、ES400 にあらかじめインストールされる以下のソフトウェア コンポーネントが含まれています。MSP 3 クライアント ソフトウェアは、次のコンポーネントで構成されています。

Rapid Deployment Client - MSP 3 Staging 機能、MSP 3 Legacy Staging プロセス、および下位互換性を備えた旧 MSP2.x Legacy Staging 機能をサポートします。

MSP Agent - MSP 3.2 Control Edition と併用することで、MSP 3 のプロビジョニング機能と制御機能を使用できます。

Rapid Deployment および **MSP Agent** クライアントの使用法については、『Mobility Services Platform 3.2 User Guide』(p/n 72E-100158-xx) を参照してください。

更新ローダー イメージ

Windows Mobile には、オペレーティング システムのすべてのコンポーネントを更新するイメージ更新機能があります。更新は更新パッケージで提供されます。更新パッケージには、オペレーティング システムの更新の一部または全部が含まれていません。Motorola は、Support Central Web サイト (<http://supportcentral.motorola.com>) で更新パッケージを提供しています。

オペレーティング システムのコンポーネントを更新する際は、ActiveSync、microSD カード、AirBEAM、MSP などの様々な方法のいずれかを使用して、ES400 に更新パッケージをコピーします。

更新ローダー パッケージのダウンロード

1. Motorola の Support Central Web サイト (<http://supportcentral.motorola.com>) にアクセスします。
2. 適切な更新ローダー パッケージをホスト コンピュータにダウンロードします。
3. ホスト コンピュータで更新ローダー パッケージ ファイルを指定して、別のディレクトリに展開します。

ActiveSync

ActiveSync を使用して更新ローダー パッケージをインストールするには、次の手順に従います。

1. ActiveSync を使用して ES400 をホスト コンピュータに接続します。詳細については、[12-11 ページの「ActiveSync」](#) を参照してください。
2. ホスト コンピュータの ActiveSync で、ES400 のエクスプローラを開きます。
3. すべての更新ローダー パッケージ ファイルをホスト コンピュータから ES400 の **¥temp** ディレクトリにコピーします。
4. ES400 の **¥temp** ディレクトリに移動します。
5. 更新ローダー ファイル「STARTUPDLDR.EXE」をタップします。更新ローダー アプリケーションによって、ES400 に更新ローダー パッケージがインストールされます。
6. インストールが完了すると、ES400 が再起動して調整画面が表示されます。

microSD カード

microSD を使用して更新ローダー パッケージをインストールするには、次の手順に従います。

1. すべての更新ローダー パッケージ ファイルを microSD カードのルート ディレクトリにコピーします。
2. microSD カードを ES400 に取り付けます。取り付け方法については、[1-2 ページの「microSD カードの取り付け」](#)を参照してください。
3. ES400 に AC 電源を接続します。[第 12 章の「アクセサリ」](#)を参照してください。
4. **1** キー、**9** キー、**Power** (電源) キーを同時に押します。
5. ES400 が起動を開始したら、すぐにカメラ ボタンを押し続けます。
6. 更新ローダー アプリケーションが microSD カードのルート ディレクトリ内の更新ローダー ファイルを検索します。ファイルが見つかったら、更新ローダー パッケージが ES400 にロードされます。
7. インストールが完了すると、ES400 が再起動して調整画面が表示されます。

用語集

A

API. あるソフトウェア コンポーネントが他のコンポーネントと通信したり、他のコンポーネントを制御したりする際に使用するインタフェース。通常は、あるソフトウェア コンポーネントによって、ソフトウェアの割り込みや機能の呼び出しによって、他のコンポーネントに提供されるサービスを指します。

B

bps.「ビット/秒 (bps)」を参照してください。

C

COM ポート. 通信ポート。ポートは COM1 や COM2 など、数字で識別されます。

E

ESD. Electro-Static Discharge (静電気放電) の略。

H

Hz. ヘルツ。1 秒あたり 1 サイクルと同等の周波数の単位です。

I

IP. インターネット プロトコル (Internet Protocol) の略。TCP/IP 通信プロトコルの IP 部分。IP はプロトコルのネットワーク層 (第 3 層) を実装しています。ネットワーク層にはネットワーク アドレスが含まれており、ネットワーク層を使用して別のネットワークやサブネットワークにメッセージをルーティングします。IP では、第 4 層の転送プロトコル (TCP または UDP) からの「パケット」を受け取り、独自のヘッダを追加して、第 2 層のデータ リンク プロトコルに「データグラム」を渡します。また、ネットワークの最大転送単位 (MTU) をサポートするため、パケットをいくつかの断片に分解する場合があります。

IP アドレス. (インターネット プロトコル アドレスの略) IP ネットワークに接続されたコンピュータのアドレス。すべてのクライアントおよびサーバー ステーションは、固有の IP アドレスを持っている必要があります。IP ネットワーク上のコンピュータでは、32 ビット アドレスが使用されます。クライアント ワークステーションには、固定アドレスか、セッションごとに動的にワークステーションに割り当てられるアドレスを設定します。IP アドレスは、ピリオドで分割された 4 セットの数字で記述されます。たとえば、204.171.64.2 などとなります。

L

LED インジケータ. インジケータとして使用される半導体ダイオード (LED は発光ダイオード)。多くはデジタル ディスプレイに使用されます。この半導体は、印加電圧を使用して、ある特定の周波数の光を発生します。周波数は半導体の化学組成によって決定されます。

M

MDN. Mobile Directory Number (モバイル ディレクトリ番号) の略。モバイル装置につなぐために (通常は POTS を使用して) ダイアルする電話番号の一覧を表示するディレクトリ。MDN は通常、携帯電話の MIN と関連づけられており、米国とカナダでは、音声を使用する携帯電話のユーザーに対する MDN と MIN は同じ値になります。国際ローミングを考慮すると、MDN は MIN と異なる値になります。

P

PAN. Personal Area Network (パーソナル エリア ネットワーク) の略。Bluetooth 無線テクノロジーを使用して、複数のデバイスが無線で通信できるようになります。一般的に無線 PAN は、約 10m の範囲内で通信する 254 台までのデバイスの動的なグループで構成されます。通常は、この限定された領域の中にあるデバイスのみがネットワークに参加できます。

PING. Packet Internet Groper の略。特定の IP アドレスがオンラインであるかどうかを判断するために使用されるインターネット ユーティリティ。パケットを送信して応答を待つことで、ネットワークをテストしたりデバッグしたりするために使用されます。

Q

QWERTY. 北米と一部欧州の PC キーボードで一般的に使用される標準的なキーボード。"QWERTY" は、キーボードの上から 3 列目のキー配列を指します。

R

RAM. Random Access Memory (ランダム アクセス メモリ) の略。RAM 内のデータにはランダムな順序でアクセスでき、すばやい読み書きが可能です。

RF. Radio Frequency (無線周波数) の略。

RS-232. 米国電子工業会 (EIA) の標準で、デバイス間でのデータのシリアル転送に使用するコネクタ、コネクタ ピンおよび信号を定義しています。

S

SDK. Software Development Kit (ソフトウェア開発キット) の略。

SMDK. Symbol Mobility Developer's Kit の略。

Symbology. 特定のバーコードタイプ (UPC/EAN、Code 39、PDF417 など) のデータを表すための構造的なルールと規約。

T

TCP/IP. Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。異種システム間をネットワーク接続するために使用される通信プロトコルです。この標準はインターネットのプロトコルであり、通信に関するグローバルな標準となっています。TCP は転送機能を提供します。これにより、送信された合計バイト数が相手側で正しく受信されるようになります。UDP は代替的な転送機能で、配信は保証されません。UDP は、異常なパケットが再送されないリアルタイムの音声および映像の転送に使用されます。IP はルーティング メカニズムを備えています。TCP/IP はルーティング可能なプロトコルです。これは、すべてのメッセージに、宛先ステーションのアドレスだけでなく宛先ネットワークのアドレスも含まれていることを意味します。これにより組織内や世界中の複数のネットワークに TCP/IP メッセージを送信できるため、TCP/IP は世界中のインターネットで使用されています。TCP/IP ネットワーク内のすべてのクライアントとサーバーには、固定 IP アドレス、または起動時に動的に割り当てられる IP アドレスが必要です。

Telnet. インターネットや TCP/IP ベースのネットワークで一般的に使用される、ターミナルエミュレーション プロトコル。これにより、ターミナルやコンピュータを使用するユーザーがリモート デバイスにログオンし、プログラムを実行することができます。

あ

アプリケーション プログラミング インタフェース.「API」を参照してください。

インターネット プロトコル アドレス.「IP」を参照してください。

液晶ディスプレイ (LCD). 2 枚のガラス板の間に封入された液晶を使用したディスプレイ。液晶は電圧を正確にかけることによって励起し、そのバイアスに従って光を外側に反射させます。消費電力が少なく、比較的高速で応答します。液晶の情報をユーザー側に反射するには、外光が必要となります。

か

解像度. 特定の読み取りデバイスによって識別される、または特定のデバイスや方法で印刷される、最も幅の狭いエレメントの寸法。

共有キー. 共有キーによる認証は、AP と MU の両方で認証キーを共有するアルゴリズムです。

クレードル. ターミナルのバッテリーの充電やホスト コンピュータとの通信に使用します。使用していないときは、ターミナルの保管場所となります。

さ

サブネット. 1つのネットワーク上で、同じルータのサービスを受ける複数のノードのサブセット。「ルータ」を参照してください。

サブネット マスク. IP アドレスのネットワーク部分とホスト部分を分離するために使用される 32 ビットの数字。カスタム サブネット マスクは、IP ネットワークをさらに小さなサブセクションに分割します。マスクはバイナリパターンであり、IP アドレスと組み合わせることで、ホスト ID アドレス フィールドの一部をサブネットのフィールドに置き換えます。多くの場合、デフォルトは 255.255.255.0 です。

た

デコード. バーコードの記号体系 (UPC/EAN など) を識別し、スキャンしたバーコードの内容を分析すること。

は

バーコード. さまざまな幅のバーとスペースのパターン。数字や英数字のデータを機械が読み取れる形式で表します。一般的なバーコードの形式は、先頭マージン、スタート キャラクタ、データ キャラクタ (またはメッセージ キャラクタ)、チェック キャラクタ (あれば)、ストップ キャラクタ、および末尾マージンで構成されます。この枠組みの中で、認識可能な symbology それぞれが独自の形式を使用します。「**Symbology**」を参照してください。

バイト. アドレス指定可能な境界上で、特定の文字や数値を表すパターン内で組み合わされた、隣接した 8 桁の 2 進数 (0 と 1)。ビットには右から 0 ~ 7 の番号が付いており、ビット 0 が下位のビットです。メモリ内では、1 バイトを使用して 1 つの ASCII 文字を格納します。

発光ダイオード. 「**LED**」を参照してください。

ビット. 1 桁の 2 進数。1 ビットが、バイナリ情報の基本単位です。一般的には、連続した 8 ビットが 1 バイトのデータを構成します。バイト内の 0 と 1 の値のパターンによって、そのバイトの意味が決定されます。

ビット/秒 (bps). 送信または受信されるビット数。

ファイル転送プロトコル (FTP). ネットワークや電話回線を介したファイル転送を支配する TCP/IP アプリケーション プロトコル。「**TCP/IP**」を参照してください。

ブートまたはブートアップ. ES400 が起動時に実行するプロセス。ブートアップ中、ES400 は自己診断テストを実行したり、ハードウェアやソフトウェアを設定したりすることができます。

ホストコンピュータ. ネットワーク内の他のターミナルに、演算やデータベース アクセス、監視プログラム、ネットワーク制御などのサービスを提供するコンピュータ。

ら

ルータ. ネットワークに接続して、パケットのフィルタリングに必要なプロトコルをサポートするデバイス。一般的には、配線の範囲を広げたり、ネットワークのトポロジをサブネットにまとめたりするために使用されます。「サブネット」を参照してください。

索引

数字

- 16 進キー 5-5
- 3 者通話 3-7, 3-10, C-16

A

- ActiveSync 2-10, 12-11
 - CAB ファイルの導入 D-1
 - アイコン C-4
 - 接続のセットアップ 12-12
 - 取り付け 12-11
- Adobe Reader 2-12
- AFH 9-1
- AirBEAM 2-10
 - CAB ファイルの導入 D-2
- APN 4-4
- AZERTY キーパッド B-2

B

- Bing 2-10
- Bluetooth 9-1
 - オフ 9-4
 - オン 9-3
 - オン/オフの切り替え 9-3
 - セキュリティ 9-2
 - 適応型周波数ホッピング 9-1
 - デバイスの検出 9-4

C

- CAB ファイル
 - ActiveSync 経由の導入 D-1
 - AirBEAM 経由の導入 D-2
 - 画像の更新経由の導入 D-2
 - ストレージ カード経由の導入 D-1

- Call Blocking (発着信制限) Call Barring (発着信制限) を参照 4-7
- Call Waiting (割込通話) 4-7
- CDMA ネットワークのセットアップ 4-1
- Contacts 2-11

D

- DataWedge 7-2, 11-3

E

- ES400 キーパッドのロック 2-21, 11-3
- ES400 の起動 1-6
- ES400 のサスペンド 1-8
- ES400 の電源オフ 1-8
- ESD 1-2
- Evolution Data-Optimized 3-1, C-5

F

- Full Home カード 2-8
- Fusion 2-17

G

- GPRS
 - WAN 設定 4-4
 - データ接続 4-4
 - 登録ファイル 4-4
- GPS Assist (GPS アシスト) 11-2
- GSM
 - アクセス ポイント名 4-4
 - GPRS データ接続の設定 4-4
 - 設定
 - PIN 4-6
 - サービス 4-6, 4-7

セキュリティ	4-6
電話	4-5
GSM ネットワークのセットアップ	4-2

H

High-Speed Downlink Packet Access	3-1, C-5
-----------------------------------	----------

I

Internet Explorer Mobile	2-11
internet sharing	2-11
IrDA	11-2

L

LED	
スキャンとデコード	7-1
Lock Plus	11-4
パスワードロック	11-4
指のスイープロック	11-5
Lock Switch (ロックスイッチ)	11-2

M

Media Player	2-12
memory	xv
Memory Manager (メモリ マネージャ)	2-14
microSD カード	1-2, 1-9
取り付け	1-2
取り外し	1-9
microSD カードの取り付け	1-2
Microsoft Lock	11-6
MMS メッセージング	6-4, 11-27
セットアップ	11-27
Motorola ホーム画面	2-5
MSN 天気予報	2-11
MSN マネー	2-11
MSP Agent	2-11

P

PC との同期	
Bluetooth の使用	9-8
Phone Network Setup (電話ネットワークのセットアップ)	11-2
PIN、電話の使用に無効化	4-6
PIN、電話の使用に有効化	4-6
PIN、電話用に切り替え	4-6
Power & Radio (電源/無線)	2-16
Programs (プログラム)	2-14

Q

QWERTY キーパッド	B-1
QWERTZ キーパッド	B-2

R

rapid deployment	2-11
Remote Desktop Mobile (リモート デスクトップ モバイル)	2-11

S

Settings (設定)	2-12
Simple Home カード	2-7
SIM カード	1-9
アクセサリ	1-4
取り付け	1-4
取り外し	1-9
SMS Staging	2-12
Sound Profiles (サウンド プロファイル)	2-15
作成	11-8
subscriber identification module	1-4

T

Time Tracker カード	2-9
------------------	-----

W

Weather カード	2-9
Wi-Fi	11-2
Windows Live	2-12
Windows Live Messenger	2-11
Wireless Companion	2-12
wireless manager	11-2
WLAN 802.11a/b/g	xv
WPAN Bluetooth	xv
WWAN	
GSM の設定	4-4

あ

アイコン	
ActiveSync	C-4
ステータス	2-6
スピーカ	2-19
タスクトレイ	C-4
バッテリー	2-7, 2-20
アクセサリ	
microSD カード	1-2
SIM カード	1-4
ケーブル	12-2
仕様	A-6
シングル スロット USB クレードル	12-1, 12-3

アラーム 2-17, 11-10
アラームの設定 11-10

い

印刷する 2-20
インターネット
無線接続 4-4

え

英字優先キーパッド
キーの説明 B-2

お

オペレーティング システム xv
音声メール 4-7
温度 A-2
充電 2-20
音量の調節 2-19

か

画像 2-11
画像とビデオを表示する 8-7
画像の更新
CAB ファイルの導入 D-2
加速度計 11-2, 11-11
カード 2-7
セットアップ 11-18
カメラの設定 8-3

き

技術仕様 A-1
アクセサリ A-6
規則
表記 xvii
キーの説明
英字優先キーパッド B-2
キーのリマップ 11-12
キーパッド xv
キーの説明 B-2
特殊文字キー 2-2, B-4
キーパッドのリマップ 2-2
キーライト 11-3, 11-10
緊急通話 3-5, C-9

く

クリーニング 13-1
車用充電ケーブル 12-10
クレードル
シングル スロット USB 12-3

こ

光学ナビゲーションパッド 2-3
設定 11-11
コマンドバー
アイコン C-4

さ

サービス、GSM
Call Barring (発着信制限) 4-7
Call Waiting (割込通話) 4-7
音声メール 4-7
自動転送 4-7
テキストメッセージ 4-7
発信者番号通知 4-7
再開 9-3
サスペンド 9-3
サービスに関する情報 xviii

し

自動転送 4-7
指紋スワイプの編集 11-5
写真を撮る 8-1
充電
シングル スロット USB クレードルの使用 12-3
充電エラー 2-20
充電時の温度 2-20
情報、サービスに関する xviii
シングル スロット USB クレードル 12-1, 12-3
充電 12-3

す

スクリーン上の移動 2-3
スタイラス 1-1
ステータス 2-18
ステータス アイコン 2-6
スピーカ 2-19
バッテリー 2-7, 2-20
ステータス バー 2-5
ストラップ 1-1
ストレージカード
CAB ファイルの導入 D-1
スピーカ アイコン 2-19
スピード ダイヤル C-10

せ

セキュリティ	
Bluetooth	9-2
設定	xv, 2-18, 11-1
About (バージョン情報)	11-2
Dialer Switcher (ダイヤラのスイッチ)	11-2
GPS Assist (GPS アシスト)	11-2
GSM	4-5
Lock Switch (ロックスイッチ)	11-2
Phone Network Setup (電話ネットワークのセットアップ)	11-2
Remove Programs (プログラムの削除)	11-3
Wi-Fi	11-2
wireless manager	11-2
暗号化	11-3
エラー報告	11-3
オーナー情報	11-2
外部 GPS	11-3
カスタマ フィードバック	11-3
加速度計	11-2
キーライト	11-3
証明書	11-3
スクリーン	11-3
接続	11-2
地域	11-3
電源	11-1
電話	11-2
ナビゲーションパッド	11-2
バックライト	11-3
ビーム	11-2
ボイス コマンダー	11-2
ボタン	11-2
ホルスタ	11-2
メモリ	11-3
ロック	11-1

た

ダイヤラ	
切り替え	11-8
ダイヤラを切り替える	11-8
タイル バー	2-10
タスク	2-12
タスク トレイ アイコン	C-4
タスク マネージャ	2-12
短縮ダイヤル	C-8

ち

着信への応答	3-4, C-8
--------	----------

つ

通話のミュート	3-5, C-9
通話履歴	3-6, C-11

て

ディスプレイ	xv
適応型周波数ホッピング	9-1
テキスト	2-12
テキスト メッセージ	4-7
テキスト メッセージの送信	6-2
テキスト メッセージの表示	6-2
デジタル カメラでのスキャン	7-1
データ収集	
スキャン	7-1
データ接続	4-4
デバイス管理	2-13
デュアル ネットワークの使用	4-3
電源プロファイル	
作成	11-9
電子メール	2-11
電子メールのセットアップ	11-21
電子メール メッセージの作成	6-1
電子メール メッセージの表示	6-1
電卓	2-10
電話	2-11
3 者通話	3-7, C-16
キーパッドの使用	3-1, C-5
スピードダイヤル	
エントリの削除	C-11
エントリの追加	C-10
エントリの編集	C-11
通話	C-8
着信への応答	3-4, C-8
通話の切り替え	C-14, C-15
通話のミュート	3-5, C-9
通話履歴	3-6, C-11
テキスト メッセージング	6-2
電話会議	3-7, C-16
連絡先	3-3, C-6
電話会議	3-7, C-16
電話の使用に PIN を無効化	4-6
電話の使用に PIN を有効化	4-6
電話のセキュリティ	4-6
電話の設定	4-5
電話用に PIN を切り替え	4-6

と

動作環境	A-1
特殊文字	2-2
特殊文字キー	2-2, B-4
トラブルシューティング	13-5

な

中黒	xvii
ナビゲーションバー	
アイコン	2-6
ナビゲーションパッド	11-2

ね

ネットワーク	
GSM WAN の設定	4-4
ネットワーク アクティベーション	1-7
CDMA	1-7
GSM/UMTS	1-7
ネットワークの自動セットアップ	4-1
ネットワークの手動セットアップ	4-1

は

パスフレーズ	5-5
パスワード	11-4, 11-7
ヒント	11-4
パスワード ロックの解除	2-21
バックライト	11-3, 11-10
パッケージの開梱	1-1
発信者番号通知	4-7
バッテリー	
充電	1-2, 2-19, 12-3
取り付け	1-2, 1-5
バッテリー アイコン	2-7, 2-20
バッテリー カバー	1-2
バッテリー カバーの取り外し	1-2
バッテリーの充電	2-19
シングル スロット USB クレードルの使用	12-3
バッテリーの取り付け	1-5
パノラマ写真を撮る	8-2

ひ

ビデオ	2-11
ビデオの設定	8-5
ビデオの録画	8-5
非表示文字	5-5
表記	xv
表記規則	xvii

ふ

ファイル エクスプローラ	2-11
プログラムのショートカット	2-9

へ

ヘッドセット	3-5
--------	-----

ほ

ボイス コマンダー	2-12, 3-10
設定	11-28

ま

マイ アプリケーション	2-10
マスタ リセット	11-3, 11-15

む

無線	xv
インターネット	4-4

め

メッセージング	2-11
メモ	2-11
メンテナンス	13-1

ゆ

有線ヘッドセット	3-5
有線ヘッドセットの使用	3-5
指のスイープによるロックの解除	2-22

よ

予定表	2-10
-----	------

り

リセット	2-21
リチウム イオン バッテリー	1-1

れ

連絡先	2-11
連絡先アプリケーション	3-3, C-6



MOTOROLA

モトローラ・ソリューションズ株式会社 <http://www.motorolasolutions.com/JP>

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目8番7号 アーク八木ヒルズ

TEL. (03)6365-7000 FAX. (03)3582-5673

MOTOROLA、Stylized M ロゴ、Symbol、Symbol ロゴは、米国特許商標局に登録されています。
その他のすべての商品名とサービス名は、該当する各所有者が権利を有しています。
© Motorola, Inc. 2010